

にある川内市である。川内と書いて「せんだい」と正しく読んでくれる人はあまり多くない。ほとんどの人は「かわうち」と読む。また人に「生まれはどこですか」と尋ねられた時などは、「鹿児島県のせんだい」と答えるければ、宮城県の仙台と間違えられてしまう。

川内市は人口約六万七千人、東に紫尾山、西に東シナ海と自然に恵まれた静かな町である。これといった産業はないものの、最近では原子力発電所や火力発電所が建設され、産業都市へと変わりつつある。

川内は神話の町でもある。悠々二千年の歴史を秘めた川内川の流れと共に育まれてきた古い史跡の町だ。

市街地を貫流する川内川は、九州三大河川の一つで、遠く源を熊本県白髪岳に発し、その豊かな水と沿岸の肥沃な土地は生活を支える好適な条件を備えていた。

川内は、天孫降臨の神話によって皇孫降臨の地とされ、ニギハヤヒの神の降臨する可憐山陵を始め、ミコトの御関係の陵墓とされる中陵、端陵及び川合神を祀る新田神社がある。それと神話に由来して「千台」と称されたということが、享保五年、ときの藩主島津吉貴が、記録係に命じて「川内」と改めさせたというのである。

昭和十五年に市制を施行し、鹿児島市に次ぐ第二番目の市として発足。現在は北薩郡の中心として躍進している。

毎年九月の終わりに、川内名物の大綱引きが行われ、多くの人で賑わう。この綱引きは、今から約三百年前、藩主島津義興が藩士の士気鼓舞のために始めたといわれ、川内川に堤を築き、下方の二手に分かれ、直徑約四十センチ、長さ約五百メートルの綱を引き合ひ、私も幼い頃から、家族と一緒に見物に行ったり、サラシ、はら巻姿で参加した。

親元を離れて始めての親のありがたさがわかるように、ふるさとを離れてみて、改めてふる

さとの良さというものがわかるようになった。

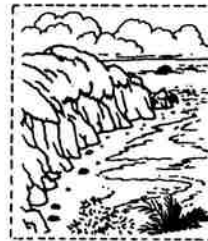
高知 大月

私の田舎は、高知県の西端端大月町弘見、台風シーズンになると、いつも一つや二つの台風が通過する。私も台風には敏感で、情報を見て耳にするという食料を多めに買い込んでしまう癖がついた。

弘見という所は、大阪から飛行機を利用して六、七時間かかる程、交通の便はよくないが、昔、連合艦隊の砲台場所であった猪毛湾や豊後水道などが、大月町弘見で、国定公園に指定されている場所が多い。

その中で、大宮海岸は、足指や電車という観光地と比べても見劣りしない所だ。交通の便が悪いため、県外の人で訪れる人は少ない。また来客人があっても主に釣り客が目的である。このメインは通称釣客と、この高知三十三ヶ所、モートルの岩が海中から突き出て、その姿は観音様が合掌している姿に似ていることから、昔から参拝者がある。その場所から山の頂上へ上り階段があり、それを登っていくと、訪れる人の目を惹きつけ、時のたつのを忘れさせる。頂上の展望台から眺める景色は雄大で、海岸を流る荒波、数万トンのタンカーから小さな漁船まで行きかう光景が手に取るように見え、遠くは九州の島影を望む事ができる。

見るころばかりでなく、酒や料理では土佐の地酒、少し辛いめだが、土産物があり、それに血餅料理があれば、夜中までじっくり寝をあるし、口から泡を吐き出して議論する人が多い高知県人の気質がわかると思う。

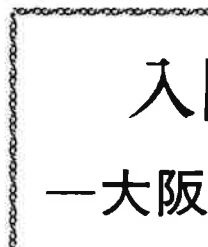


徳島日和佐 特務係 橋本秀人

「阿波の日和佐は南をむいて春を待たすに豆が咲く」この頃でおわかりと思うが、私の故郷は徳島県の南部に位置する日和佐町という半農半漁の小さな町である。

町の西側には四国二十三番札所兼王寺があり、春になれば白葉菜に身を固めた八十八ヶ所参りのお遍路さんで賑わう。東側には大浜海岸は、夏になれば海鳥が黒潮に乗って上陸し、砂浜の中にピンポン玉程の卵を生む。このとき海鳥は目をかた大粒の涙を流し、涙かどうかは不明、その様子は神秘的なもので皇太子殿下もこの産卵の様子をご覧になった。

町にはこれといった産業はなく、町と同年代の者はほとんど大阪など近畿に働きに出ている。私の実家は農家で、子供の頃、学校が終わっても肉牛の草集めなどで遊ぶことができた。友達



入隊時の思い出 大阪府警察第二機動隊

各機動隊に大きな夢と希望を持った新隊員がこの春、入隊した。厳しい新隊員訓練を経てこれからは本番入りである。ようこそ機動隊へ！先輩達は精強部隊づくりを目指して経験と技術を継承していくが、その中でも優しい思いやりを忘れていない。諸先輩のアドバイスを聞いてみよう。

五中一小隊 植田満男

私が第二機動隊に入隊したのは、昭和五十二年十一月であった。当時の年間最大の出動事案は、成田現地勤務であった。機動隊に転勤するまでは、浪速署で警備係員としており、管区機動隊の経験もなく不安な気持ちで、第二機動隊の門をくぐった。

入隊したその日の午後、体刀測定、翌日からは、警備学校以来久し振りの大検を持って、新入隊員訓練で汗を流し、新入隊員訓練が終わった次の日には、早速成田へ出動するといつたようになまことに目まぐるしい毎日であった。

成田出動に際しては、予備知識として幹部や先輩達から事前の教養を受けた。ある程度自分では分っていたつもりだが、実際に成田に到着してみて、想像していた以上の緊迫感で改めて心を引き締めたものだ。

一週間ほどの出動であったが、その期間中、毎日のように勤務と非番日には、宿舎周辺の道路を使用して行われる小隊対抗(〇〇メートルの練習、宿舎横の小隊のレクリエーション等)スケジュールはびっしりである。

この成田出動に始まった機動隊生活を振り返ると、結果的には同じ事の繰り返しのようにも思えるし、又、新鮮なものにも思える。行事出動等は、ほぼ同じような内容だが、新隊員のうちには何事も目新しく、覚えるのに必死であった。しかしひと通り経験し、新隊員がくれば、経験者としての指示も与えなければならぬ立場になるのが現実で、内容的には同じでも、立場によっては新鮮なものとなる。

私は一人ひとりが考えることのできる、効果的に動ける機動隊員になるよう自覚することが必要だと思ふ。前向きな姿勢で臨めば有意義なものとなるが、指示されたことだけをやっていては、不満が残るからである。

元六中三小隊 内原 学

和五十年三月で、隊歴九年にたった。

警察社会に入って十一年が過ぎ去り、そのうち九年を男の中の男の職場である機動隊で勤務ができたことを、誇りに思っている。

入隊時の思い出であるが、入隊当初、デモ規制の中隊と言われる六中隊での猛訓練の毎日が続いていた。

先輩、後輩の言葉が厳しく、朝早く出動して待機室の清掃や湯沸しに始まり、座る位置、お茶を出す順番まで細心の注意を要したが、その反面、非番日になると先輩達から笑の聲、いやそれ以上に可愛がってもらったものである。

このような厳しさと後輩を思う優しさ、うまくかみ合っていたからこそ、うまく出現現場に臨んで、小隊長の指揮のもとに分隊長、隊員が一丸となって一糸乱れぬ万全の備え実施ができたと思っている。

機動隊歴九年になり、現在は六中三小隊の室長として頑張っている。また、昨年度の巡査部長昇任試験に優良合格すると先輩が喜ぶのを、良き上司と先輩同様に思えた。また、先輩の指導に感謝して、元七中隊 伝令長 元七中隊 伝令長 宮田幹雄

リリン、リリンと電話が鳴り、「はい、富田林署直轄、宮田です」と受話器を取上げると、電話の向こうから、「君は走れるか」と森内警部の心配そうな声がかた。小生は、心配してない、少くも走れると思いが、と答えた。

そして、五十五年四月一日、住み直した前任者の富田林警察署を後に、ほのかな不安と期待を胸に、第二機動隊へ入隊した。

第二機動隊の女関係に入隊したと、福沢諭吉先生の言葉が掲げ

られていた。

これらの言葉が、第二機動隊の基本方針であり、また人生訓であり、一日も早く第二機動隊員として恥ずかしくないよう頑張ろうと心に誓った。

「泣く子も黙る」と言われる第七中隊は、入隊の頃はよく走ったものである。(現在も相変わらずよく走っているが)

特に、入隊の翌日から行われた新隊員訓練と、入隊後にも開始されたレンジャー訓練の際は、体力の限界への挑戦のような訓練であったが、厳しい、また優しい先輩や上司の激励によって、無事乗り切ることができた。

「歳月人待たず」というがあっという間に四年間が過ぎ去り、漠然とはあるが、人間警察官として成長したような気がしている。

これからは、「進取」「克己」(団結)を座右の銘とし、日々努力を重ね、より強く頼もしく信頼される機動隊づくりに一生懸命貢献していく覚悟である。

会計係 岡本修二

今から六年前になるが、二機に入隊した当時のことを思い浮かべると、それは、待機室の活気あふれた雰囲気と礼儀の正しさにこれに尽きると思う。

私はこの社会に入る前に、同僚に公務員関係の仕事の経験があったが、そこはごく普通の事務所勤務を過ぎた入隊となつたのだが、機動隊についてのイメージが皆無に等しかった。

体育クラブ同様先輩と後輩のケジメがはっきりしており、部屋には、先輩が隊歴の順に並



んでいたことを忘れたい。部屋に入るたびに、先輩への挨拶等「挨拶」の厳しさを覚えた。一挙手一投足に先輩の目が光っていた。新隊員訓練は落伍者もなく無事終了から、先輩の目が暖かい。まさしく「変わっていったように思える。

入隊時は、デモ警備や成田出動が現在よりもはるかに多かった。警備現場という実戦の場では、先輩が目に見えないところで、先輩が目を凝らしている。

出動を終え帰隊の途中、伝統的な新隊員恒例の「歌の時間」というものがあり、私は、ほとんどもう歌ばかり歌っていたので「ええい、おれに新曲を歌え」とよく言われた。た。ワンパタンなところが、かえって笑いを誘って、その場をやらせていたかと思う。やっていた本人は必死であったが、これも先輩が産卵をつげさせるために誰かが考えた伝統だと思つている。

今一つの印象だが、それは花を大切にすることである。最近ある新聞に掲載されたが、男だからと言って花に関心がないわけではない。今でも隊員が、隊舎前の花壇で水をやって、風景を目にするが、花壇の前を通ると、新隊員の頃をちらちら思い出す。

最後に、特に新隊員の皆さんに参考にしていただきたいことは、それは部屋の中で大いに恥をかきとすることである。そうすることによって、今以上に、と隊員同志がうちとけ、自分も成長していくのではないかと考えている。

お知らせ

▽岩井百合子様より五月十五日付で五十万円の寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

今月の言葉

フランスの文筆者モンテランは「生涯において、何度も読み返し得る一冊の本を持つ人はしあわせである」といっているが、私も、若し皆さんには是非「枕頭の書」を持っていたらいいと思う。枕頭の書とは、文字通り、枕許において繰り返し読む本のことである。

吉田茂元首相が亡くなられた時、その枕許には、手垢で黒くなったフランス語の辞書があった、ということであるが、おそらくフランスの古典を、毎夜寝床で読みふけられたのではないだろうか。

別子銅山の再建に命をかけ、住友の基礎を固めた伊藤貞副翁の愛読書は「臨済録」であった。翁が大坂を

枕頭の書

去り別子へ向かうにあたり、天龍寺の岨山和尚から贈られたのがこの本である。翁は、古びた和土の臨済録をふところにして別子の山に飛び込み、争議に荒れ狂う中で、ついに読みふけられたという。たしかに、夏に軽井沢へこもるとき、いつも語を携帯されたという。また、今は故人となられた藤介石総統も、重要な会議に臨む前には、ひとり臨済録を読みふけられたという。たしかに、

論語は読めば読むほど味わい深く、死生の考え方に教えられるところが多い。まさに人生の生きた指導書であると思う。

枕頭の書は、もちろん臨済録や論

語に限らない。明末の大儒、呂新吾の語録「呻吟語」や元の名臣、張養浩の「為政三書」なども好適の書物であると思う。

こうした書物を古典というならば、これらの古典には、宇宙の真理を説き、人々の心奥をとらえて離さない魅力がある。繰り返し何度読んでも新鮮味を覚え、考えさせられる何物かがそこにあるからである。

話は変わるが、足利尊氏の師であり、天龍寺を開山した名僧夢窓疎石が、「われ尊氏にかなわざるもの三つあり」といったという。

その一つに「耐宴爛酔の余といえども、一坐の工夫をなれば眠らず」というのがある。酔眼朦朧となるまで痛飲し、いかに泥酔しても、家に帰れば必ず坐禅を組んで無念無想のひと時を持たねば寝なかつたということをいっている。これは大変なことであり、誰にもできることではない。

私達も床に就く前、坐禅はともかく、無念無想のうちに良書で心を洗って、快い眠りにつきたいものである。

隊員達が感謝と決意

中国支部と千葉支部総会

当励ます会が発足してから十周年を迎えた。今では機動隊員等と国民のかげ橋として、着実にその成果をあげてきている。東京本部と全国八つの支部は、それぞれが年一回の総会並びに懇親会を開き、隊員達との交流をはかっているが、去る六月に、中国支部と千葉支部で心の輪が二つ大きく咲いた。

◇ 中国支部 会の五十九年度総会が六月十四日、機動隊員等三百二十名を招き、会員百七十名の出席を得て盛大に開かれた。

柳本武一世話人代表は「励ます会が十年経ち軌道に乗ってきた。支部活動もこれからさらに充実していくように努力する。隊員各位はこれからは強し、弱しを精進してほしい」と励ました。

来賓として、鈴木善晴中国管区警察局長と柳館栄広島県警察本部長はそれぞれ「現在は一見



発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都中央区八重洲2-4-14
 104 ミツヤビル3階
 発行人 鈴木 實
 TEL 03(272)2050
 購読料 年間1200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)

平穩に見えるが、治にいて乱を忘れずの気持で頑張っている。今後とも治安の中核として訓練

に励んでいく」と力強く挨拶した。

大内俊司理事長が当励ます会の発足経過を説明、励ます会の地道な定着で隊員達を励ましていく、と乾杯の音頭をとり、懇親パーティに移ったが、終始熱気に包まれて名残残きぬまま幕を閉じた。

◇ 千葉支部 会の五十九年度総会が六月十四日、千葉ドラッグホテルで開催さ

れた。支部の中では一番若い千葉支部は、今年で第四回総会を迎えたが、隊員等関係者、それに会員を含めて二三百五十名の盛会であった。

石井栄世話人の開会宣言、国歌斉唱、隊員殉職者に対し黙祷を捧げて内田順夫世話人代表が歓迎の挨拶、鈴木善晴理事長が励ます会を代表して、励ましの言葉を述べた。

来賓として沼田武千葉県知事は「一五百万県民が平和な日々を

過しているのは機動隊が治安の核となっているためであり、深く感謝する」と祝辞、三島健郎千葉県警察本部長は「支援に感謝し、今後とも期待に応えていく」と決意のほどを語った。

鈴木善晴理事長が励ます会から記念品を贈呈、三井善政空港警備隊長は「空港警備で常に緊張して勤務している。隊員は

二十歳台の若さで張り切っており、いかなる事態にも対応できる」と謝辞を述べた。

次郎丸善本部長世話人の乾杯音頭で懇親会に移り、岡部善理事の万歳三唱、井上金次郎支部世話人の開会の辞で滞りなく終ったが、心の交流は深く刻み込まれている。

県民の海上自衛隊で、また五十六年から海洋科学技術センターで実施してきたが、ちなみに本年は第一期が六月五日(十六日)の三十八人、第二期は六月十九日(三十日)の三十八人、五十四年からの受講者は計二百六十四人となった。

訓練参加者の資格は「機動隊に勤務する警部補、巡査部長または巡査の階級にあるもので、潜水技術に優れ、かつ指導者として適正を有するもの」と「身体的要件を備えた者」として

警察庁主催の潜水訓練

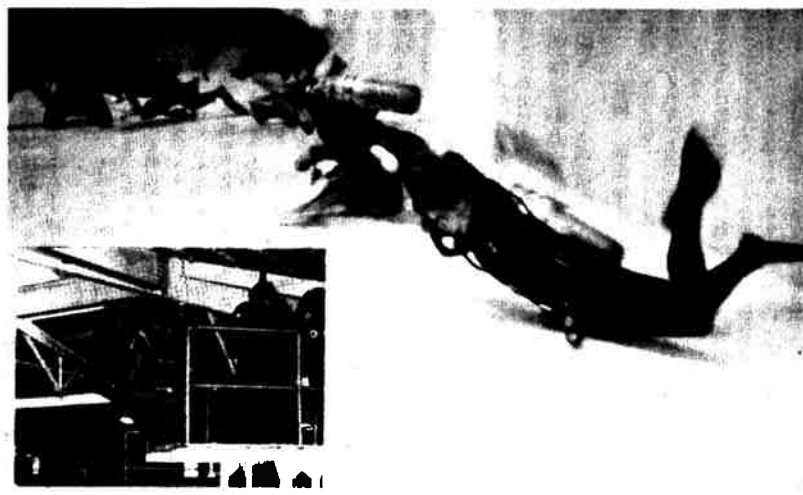
警察庁主催による機動隊員を対象とした昭和五十九年の潜水技術訓練が六月末で無事終了した。海洋科学技術センター等の協力を得て、今年も六十八の受講者がより高い技術を習得した。

我が国は地震的や気象的条件から台風、豪雨、洪水等による災害が多岐、例年大きな被害を被っている。

さらに近年は、人々や産業の都市集中、モーターリゼーションの進展、都市における危険物の設置や超高層ビルの建設等、社会的・経済的環境の急変で、災害の態様も複雑多様化している。

このような現状をふまえて、警察庁では全国的な潜水技術の向上を図り、人命救助活動等を

なまアクアング部隊の出動状況は、五十八年だけでても回数三百二十五回、人員延べ四千二百三十一人、救出人員九人、遺体収容七十八遺体となっており、隊員達がより高度な技術を修得することによって、災害救助のより一段の活躍が期待されるものである。



我ら本部員 警視庁機動隊

それぞれが与えられた持ち場を確実に守っての全体連携が必須条件となる。各隊員の任務は異なるが、共通するのがプロとしての意識である。きょうも訓練の積み重ねに余念がない。

機動隊が治安の中核としてその真価をフルに発揮している。しかし、この集団警備力は一朝一夕にして培われたものではない。輝かしい伝統を引継いだ隊員達が自らさらに切磋琢磨し、

警備の裏方さん 特務係

一機 須藤正雄

私は、警備隊の裏方係員であった頃、デモ警備や常駐警備に従事する機動隊員を、常に真近で見、接することができた。制服の胸に黄金色に輝く紋のバッヂをつけた機動隊員。男らしくきびきびとした動作。真剣に任務に取り組み緊張感あふれる顔。真の男の魅力を感じたものである。そのよきよきことから絶対的に機動隊員となり、男の集団の中で活躍することを夢見たものだ。

あれから数年、夢にまでみた機動隊の一員になり、現在は特務係員として機動隊生活を送っている。機動隊の輝く伝統は、過去、幾多の先輩方の血と汗で築き上げられたものであり、こ

れが、現在に至るまで連続として受け継がれている。現在の警備は、静である重防警備と動であるデモ警備等いろいろの場合にも実力を内に秘め、威厳をもって完遂している。不断の訓練を積み、不法行為者に対しては鬼神のごとく躊躇することなく、自信をもって現場検挙等の任務を行っている。特務係員の任務は、集会やデモ等においての事前情報収集は勿論のこと、規制検挙等に際しての現証活動等重要な役割であり、現場が活躍の場である。華やかなものはないが、警備の裏方としての立場に徹することが必要である。苦勞は、自慢したり表面に出すところではないが、特務係員に入ってから、集会在が午後六時というのに、午後〇時には現場にゆき、警備環境を見た後、集合人員等対象の実

態把握や事前情報の収集に立ちつくめになる時もある。また、仕事だからと理解していても、寒さで全身が震えたり、動がスローモーションに感じたり、時には突然の雨に全身が濡れることもある。誰も経験することではあるが、その時のつらさは一口で言うことができない。これらの訓練は、日頃の訓練で強靱な体力・気力を養って、こまめに切り替えるものである。本部員としての誇りが愚痴をこぼすことなく、耐えることができることも痛感した。

これからの機動隊生活は一日一日、努力を積み重ねていくことが、本部員としての私に課せられた使命であると信じている。

広報係一年生 二機 松尾裕次

「あつ、しまつた、間違えた」
「どうい場合は、何んて言えはいいんぞう」もうイヤイヤ、ドキドキ。ジワジワ、キリキリと胃が痛んでくる。マイクを放り捨てて帰りたい気持ちで一杯である。

昨春秋、広報係を命ぜられて初めて出勤した雑踏警備現場のことだ。人前で話をすることになる。人一倍苦手な私が、なぜ広報するのかわからなくなつたんだらうと、つくづく考えた。またそれまでは、検定で学んだ案文を広報すればなんとなかなるだろうと思つてた。ところが、その状況に合った生身の広報をすることが、いかに難しいかをいやという程身をもって体験した。係員としての苦勞には、看板の作成もある。特に皇居参賀警備では、沢山の看板をセットする。これらの複製、補修には随分と手間暇がかかる。手直しするためのペンキ塗り、いろいろ注意をしても必ず作業衣がカラフルに染まってしまう。係員として一番気を遣うことは、のどを痛めないことである。常にのどには水をこまめに飲む。私生活では暴飲暴食を避けることはもちろんのこと、毎朝の

発声練習は欠かすことのできない日課である。

火花警備や西様等の雑踏警備において、見物中の群衆に向ってマイクで、見物さないように呼びかけ、群衆が整然と流れて行き、何等の事故もなく平穏無事に終了したときも嬉しうらやましい。反対に一番嫌なのは、朝の訓練の時だ。いくら旗を降ろすように広報しても、旗は掲げられたままでむなしの思いになる。おまけにこの悪い相手からの罵詈雑言である。この手にも耐えつけない怒りを抑えるのは大変である。

広報係としてまだ半年余の経験しかないが、これから先、沢山の苦しい訓練が待っていると。平素の訓練を積み重ねて、立派に広報係の職責を果たすよう努力して行きたい。

愛車精神 操車係

四機 牛山祥夫

「いさ、出勤」私達操車係員一同は、出勤前に車両の始業点検を十分に行い、「自信をつけよう」と心で示し模範運転。わずかな不注意大きな危険。慣れを無くして安全作業の唱和とともに、さつそとと部隊車両に乗り込む。

車両の中で大きくゆっくりと

息を吸い込み、気持ちを落ち着かせ、部隊員が乗車するのを待つ。そして「出勤の歌」の流れる中、在隊員に送られるこの一言はなかなか一言では言い表わせないが、して言えば、実に「カッコイイ」。

私が操車係となったのは、今から約一年前のことだが、仕事の幅の広さに圧倒されている。中隊にいた頃、私の目に映っていた操車係の仕事というのは、それこそ、氷山の一角でしかなかったと認識を新たにされた。

運転、整備はもちろん、溶接工から大工、その他、……書き切れない程内容が多い。操車係になつて初めて分かつた事だが、車両の整備などは、出勤間も残つて、車庫の中で作業をするのがしばしばだ。非番の日には目もくらみ、汗と油でドロドロになりながら、車両をトントントンと修理しなければならぬ。

それは部隊を目的地まで安全に、しかも正確に輸送し、そして無事に帰隊する。ただ、その為だけだが、それが私達の最大の任務なのだ。操車係は、車の運転が好きでただでは動まらないうち。車を愛する人でなければ……。

操車係に入ると、それぞれ担当車両を決められる。どうして自分の担当車両を特に可愛がって、念入りに磨いてやったりする。他の車両がやきもちをやいたり、ふてくれたり、私の思うとおりに動いてくれない。その様で本当の話を。

人間と違つて、口のきけない車でも、ちゃんとしたら調子の悪い所を訴えてくる。あの鉄のカマダの車が、可愛く思つてしまふのだ。なんとも不思議なものだ。車を運転しなくても乗る方へ、「車を大切にしてください。車は、それとちゃんと応えてくれるはずだ……」。

部隊活動の使命を担う 通信係

五機 前田博美

私は、全国高校サッカーを観ていて「これだ」と思った。連日、ドラマチックな熱戦が続く。盛り上がりは最高であった。各選手の判断力ができる選手は、ボールが多キープできる選手は、チームが、激戦りの中でスタミナを持ちこたえて勝ち抜いていった。サッカーは、我々警視庁にも通じるところがあるように思う。

パス、ドリブル、キック等の基本を選手ひとり一人が確実にマスターすることにより、強いチームになると思う。すなわち我々も日々の警備のために、基本を身につけて基本を守ることが必要であり、それがより強い部隊を作る源だと思ふ。

現在の私は、通信係員として勤務している。警備員は、互いに協力しあふ技術を持って、たフレイヤーがいて、ひとりひとりで得点とすることができない。自分の持ち場を確実に守り、ゴールに向つて全員で進んで行く。相互の連携がうまくいかなければ、その隙をつかれて相手チームに得点を許す原因となつてしまふ。

自分の立場をよく理解して使

たかが一円、されど一円 会計係

六機 山田 勲

昨年四月、会計係となつて早や一年を経過した。それまで会計の仕事には全く縁がなかったが、当初は戸惑うばかりだった。会計係は、中隊には全くかかけはなれていない。

正直なところ、當分先へ行って立番するわけでもなく、土曜は平日、日曜は休み、金の勘定さえしていればいいのだから……というのが会計係に対するイメージだ。しかし現実は大違い。入ってみて始めて分かつたが、中隊員の時には全く想像しなかつた苦勞がある。

会計係の仕事といふは、何となく全隊員の給金を扱うことである。沢山の給金を振り分け、一人分ずつ正確に袋に入れ、一人分ずつ正確に袋に入れ、なつて最初の給料日のことだ。生まれて一度も見たことのない大金を目の前にして、思わず手が震えたのを覚えている。結局、動揺した私の教を聞、全隊員の給金を最初から点検し直すという結果になつてしまつた。

たかが一円と思ふ人もあるか



合同訓練 — 阻止に構え

も知れないが、この一円のため
にみんなに大変な迷惑をかけて
しまったのだ。会計の仕事は針
の穴程のミスすら許されないとい
う事を痛感させられた。そして
同じ轍は二度と踏まないとい心
に誓ったのだ。

この他に会計の仕事には、
各隊員の福利厚生や隊内におけ
る施設用品の管理、信置のサー
ビスカー業務など幅広いものが
あり、常に裏方として、多くの
仕事をかかえている。

私は隊員が今、何を考え、何
を望んでいるのか、そしてそれ
を実現するために一体どうす
ればいいのかを常に考え、実行
していきたく思っている。そ
ろろすることが真に縁の下に力持
ちになる最良の方法だとも思う。

あの給料日のことを忘れず、
『九が一、一、二、三』を
モットーに、日々精進していく
ことを心に決めていく。

努力は必ず報われる

七機 郡山英彦

機動隊の任務は、治安、難路
・災害警備に限ることなく、交
通派遣や集約等オールドマイ
テイ・な性格を持っている。
その中で警備係は、各中隊の
勤務連絡、出勤可能人員の掌握
個人装備資材の管理、また警
備実施における警備計画の作成
と各種資料の作成が主な仕事で
ある。どれをとっても気をぬく
ことが出来ない仕事ばかりで、
いわば機動隊の中核部と言っ
ても、過言ではない。

ただ先壁に閉じこもって、資料を作
成していきただけだ。でもこの
資料作成が「苦勞」、例えば、
略図を書くにも必ず管内図を見
て必要なら紙をコピーしてとり
それを上白紙に拡大して書いて
いくが、目は疲れる、手は疲れ
るし、楽な仕事とはとてい言
えない。

このようにして、一つひとつ
の積みかさを繰り返して出来上
がった警備資料は、作成した
者しか感じることが出来ない感
がある。「ローマは一日にして
ならず」といふ諺がある。警備
係の仕事も同じではないかと思
う。

今この瞬間に

すべてを賭けて

八機 本間 誠

（公安第一課）

写真係の任務は、警備現場
の探証活動と各種警備記録全般
の写真撮影にある。言葉を変え
て言うならば、原用紙の代り
にフィルムを使って、警備現場
のノンフィクションを、書く作家
といふところだ。「何百枚もの
書類より、価値ある一枚の写真」
を撮るため、私達写真係員は、
常に技術の向上に努めている。
さて、警備写真が、難読写真
や趣味の写真と根本的に違っ
て挙げてみよう。第一に、被写
体が動いて、状況が刻々と変化
すること。第二に撮り直しがき
かないこと。第三に、対象の違
法性を立証し、公判を考えて撮
影しなければならぬことであ
る。

ことがあった。また、現像もそ
の色を理解しきれず、一晩のう
ち何百枚もの印画紙を没にし
たこともあった。しかし「先壁
に負けてはダメか」といふ意
につき追い越してやるぞ」と決意
し、非番や週末も関係なく毎日
暗室に入り、たとえ足が痛く
察しづらぬ時もカメラを足さず、
寝る時にはカメラを枕元に置い
た。

また、一日中車庫にこもり、
過去の警備写真を見、発露当時
のから全てを思い出して、その
テクニック、アングル、組み方
を自分なりに調べ研究した。そ
の苦行したことが、自分の血
となり肉となり、自信へとつな
がったのだと思う。

自分の撮った写真が、有効に
活用された時に覚える満足感
忘れられない。私達写真係員は
今日もカメラと脚立を持って警
備現場を走り回り、よりリアル
なノンフィクションの作家とな
るべく頑張っている。

九機 飯田忠博

技術係

昭和五十八年十二月三十一日
の宵から始まった明治神宮詣
警備は、私にとって昭和五十八
年の締めくくりであり、新たな
昭和五十九年最初の警備出勤
でもあった。

警備方針に従って事前に展張
したパイプ棚、ロープ等はど
か、広い境内を埋め尽くす多勢
の善男善女が、安全かつ円滑に
参拜させているのを見た。元
且を拜らざる大木が鳴り響く
前から、私は技術係員として幾
度となく点検し、確認した。午
前二時を回って初詣客の足は
途絶えず、本殿前にも依然とし
て部隊配置が続いた。

西神門にセットした新式のバ
イブ棚の機能を確かめ、現本
幕舎に戻ると午後一時
〇五分、「境内が全部停電した
至急、発露、ならびに投光器を
南神門に取り付け、付近を照明
せよ」との副隊長命令がUWで
入った。

私は幕舎に駆け戻り、待機し
ていた中隊員とともに発露と投
光器を急いでセットしてホッ
としたのもつかの間、「東神門か
ら北参道十字路方向も停電で、
足下も見えない状態である」と
の情報が入った。再び幕舎に戻
り、発露と投光器を搬送し、直
ちに照射した。幸い、中隊の臨
機応変な配置転換もあり、何の
混乱もなくその後もスムーズな
警備が続いた。

このことから、警備係員が
器材は、常日頃の点検整備と操
作方法のマスタリーはもち論、出
動前に必ずもう一度点検するこ
との重要性を改めて認識した。
もしあの時、もう一台の発露
を準備していなかったら、もし



乗車
訓練

エンジンがからなかつたら」
と考えると、技術係員としての
職務の重大さを感じる。
普段は何気なく使っている三
百種類にも及ぶ器材も、その
諸元性能を熟知して、扱い方を
マスターし、点検整備を怠らず、
愛情をもって扱えば、寿命も長
く、私に信じている。

そのためには、上司や先輩の
指導教育を受けるほか、時には
週休を利用して、製作業者や取
扱業者を訪ねて教えを受け、一
つひとつマスターし、プロとし
ての自信が持てるよう努めてい
る。

情操教育

特車 末永末男

わが教育係のデスクは主任以
下五名である。融和団結とひと
つ先を見越した仕事をモットー
に、日々奮闘している。教育係
は、教育訓練に関すること、体
育に関するこの二つを大きな
任務としている。したがってこ
れに伴う各種行事等を計画立案
し、その効果を最大限に発揮す
べし、隊員の実務能力の向上と強
靱な体力づくりを推進する責任
が重く、

め、隊内体力検定、皇居一周マ
ラソン、千五百メートル走、そ
してバレーボール等の一般体育
を年間を通して実施し、心身と
もに強い機動隊員をめざしてい
る。また座席や部外講師の講演
等を実施する計画がある。
勉強会の実施は昇任試験全員
合格を目標に、毎日一時間の居
残り勉強会、在隊員に対する機
関試験の実施等、あらゆる機会
を利用して勉強ムードを盛りあ
げている。今後ともより効果的
な勉強会を計画し、それを継続
することによって全員合格の目
標をめざして頑張る。

柔剣道対抗試合はこれは警視
庁全体、警備部あつての行事だ
が、限られた時間で最大の効果
をあげ優勝できるように計画を
立てなければならぬ。残念な
が特車は柔剣道対抗で優勝し
たことがない。今年には発露十五
周年の記念すべき年である。今
年こそ優勝を、と隊員一同訓練
に励んでいる。

その他の行事は隊長訓練、各
種意見発表会、講演会、視察交
渉、掲げ教育等を実施してい
る。また本隊には、バレーボー
ルのクラブがあり、この事務的
な窓口を教育係が担当している。
バレーボールクラブは、今年こ
そ実業団入りと選手一同頑張
っている。
教育係として常に社会情勢を
洞察し、一歩先を見越した仕事
に心掛け、係員一同、隊員の能
力と体力の向上、そして隊の発
展のためこれからも頑張ってい
く。

一人三、四役の精鋭揃い
鳥取県警察機動隊

一、隊の沿革
当隊は、昭和三十八年四月一
日鳥取県警察本部警備部機動隊
として発足した。発足当時は、
隊長は警備部外勤隊長が兼務し
たが、四十三年八月に専任の隊
長が配置され、現在に至ってい
る。

現隊舎は、四十九年八月に完
成し、鳥取市郊外の日本海に近
い青松に囲まれた静かな環境の
中で、元気づけ訓練に励ん
でいる。
二、日常の勤務
勤務は日勤制をとっており、
朝八時三十分隊長以下全員が隊
舎前に整列し、国旗の掲揚とい
日が始まる。体操、ランニング
等トレーニングの後、一般警備
特殊警備、爆処理、レンジャー、
潜水、舟艇、柔剣道等各種訓練
に励んでいるが、何分にも本隊
は小隊で小人数であり、分隊長
以下全員が柔剣道の将校員でも
あるので、一人が三、四役を受
け持っている。
現在、本県の治安情勢は比較
的平穏に推移しているが、警備
実施の中核部隊として、警備技
術センターとしての役割を果た
すため「治にいて乱を忘れず」
を合言葉に、隊長以下全員が一
丸となって、厳しい訓練に取組
んでいる。



神力で抑え、無心の境地で実施
した。又ヘリコプターに装備し
てある機外ホイスト装置(救助
用ウインチ)で被災者を想定し
ての吊り上げ救助訓練も実施さ
れた。

三、出動事例
成田警備をはじめ、各種の事
案に出動しているが、本県は管
内に数多くの海水浴場を有し、
例年アケララング隊の出動が多
いのが一つの特徴でもある。
最近の特異な出動事例として
は、昭和五十七年四月、本県上
空で米軍機二機が接触事故を起
こし、二機とも中国山脈の中腹
標高千メートルの地点に墜落し
た事案が発生し、この捜索救助に
活動したことがある。
四月末といえ、標高千メー
トルといえ何メートルもの積
雪があり、また現場は崖あり谷
ありの山跡未踏の地で、さすが
の機動隊員も捜索救助活動には
非常に困難をきたしたが、平素
の厳しい訓練の成果を発揮して
目的を達成することが出来、こ
の時ほど「備えあれば憂いなし
」といふことを痛感したことはな
かった。

当励ます会の谷本隆夫
理事が去る六月十九日逝
去されました。当会発足
時からの発展に貢献さ
れた、ここに改めて生前の
ご尽力に感謝すると共に
謹んでご冥福をお祈り申
上げます。

読者の広場



オリンピック随想

高嶋 四郎雄

第二十三回オリンピック、ロサンゼルス大会は七月二十八日から十六日間、半世紀ぶりに再びメモリアルコロシアムに聖火をともし開催される。

ソ連、東欧圏等の不参加で五輪に暗影をかきたたせられたものの、これまでの最高だった一九七二年のミュンヘン五輪の百二十ヶ国を大幅に上回る史上最高規模の百四十二ヶ国の参加が、五輪組織委員会より発表された。

近代オリンピックが復活してから今年八十八年目にあたるそうである。第九回アムステルダム大会（一九二八年）で、三段跳びの織田選手、平泳の鶴田選手、金メダル、人見絹枝選手の八百米二位入賞から早くも半世紀余、わが国のスポーツが急速に発展し、その後のオリンピック大会における日本選手団の活躍は目を見はる成果をあげている。

先日、ロサンゼルス・オリンピックの日本選手は柴田勝治団長を含め、二百九十三名が発表された。この選手団の中に警察関係者は十数名の多きを数え、(警視庁、大阪府警、兵庫、福岡、神奈川県警)ライフル射撃、柔道、近代五種、レスリング等五輪の有望種目、メダル獲得の宝庫と期待される競技に参加することになっている。

振り返れば、一九六四年、九千万余の日本人の心を十五日間に亘って強烈にゆきぶり続けた

東京オリンピックは、なにもか素晴らしい大会であった。世界の心が一つに合った開会式の緊張から、三十三会場に分かれた二十競技、六百三十三種目の熱戦、そして夕やみのなかに繰りひろげた閉会式など印象深い、今も私達の心に刻みこまれている。

今回は、先のモスクワ五輪ボイコットから四年、空白を越え、た八年ぶりの五輪参加であり、ほとんどの選手が五輪初出場であり、初出場のプレッシャー、独特の雰囲気には包まれるオリンピック祭典より平平常心を保ち、五輪の舞台でスポーツマンシップを発揮し、踏ん切った力を出し切って、競技場の大観衆を沸かせてほしいものである。

ソ連、東ドイツを含む共産圏諸国の不参加は残念であり、日本のメダル獲得のチャンスは増えたものの、東西強力両陣営のモスクワ、ロサンゼルス両大会の綱引き、五輪を政治に巻き込み、利用されたことは重ね重ね残念の極みである。

警察関係者を含む参加選手の皆さんのご健闘を祈る。



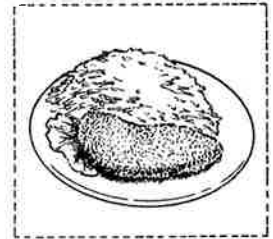
雑食の徒 トンカツとカレー

麻生 博

先程の日経文化の欄に、「私説カツカレーの美学・ジャパネスク料理賞」と題して、米国人留学生の長文がのって、米。そして、「外国のものを取り入れて、日本独特のものに仕上げ、てしまおう日本文化の象徴的事例であり、この秘密はカレーの辛さとトンカツのカチカチした部分とのバランスである」といっている。

私は、七人兄弟の真中で育ったため、生来食べ物には極めて無頓着である。昭和十七年四月第二種種であった私は、補充兵として神宮外苑の近衛歩兵第四連隊に召集された。朝食は沢庵と汁だけの味噌汁、夕食はワシの煮つけが多かった。炊事場からアルミの桶で運び、古兵の順に配ると、新兵の皿には骨とわずかな煮汁だけになっていった。馬鹿の岩塩を付けて食べる者もいた。

昼弁当は、沢庵をはさんだ麦半分のにぎり、を竹の皮で包んだものか、飯盒に麦飯をナカゴにカラシ漬を入れたものが多かった。飯盒に入れた麦めしは、背囊につけて早朝から演習場を駆けまわると、昼頃にはくじしゃくじしゃくって暑い日本には異様な臭いを発した。水筒の湯で洗って食べたものだ。でも旨かった。そして、まるまる私達は肥った。



日頃、私はトンカツは日本人の開発したすばらしい食べ物だといっている。欧州に数年住んだ時、ウイナー・シュニッツェルというのが多量に食べられて、肉は薄く、ぐにゃぐにゃとして日本のトンカツに比べてもな。コレットという似ているドイツ料理があるが、これには衣がない。

カレーにしても、マレー、マトレー、タイ、インドと歩いたが、日本のような旨いカレーライスに接した事がない。

まして、カツ丼・カツカレーに至っては、複合の味まで出して、外国人からまさに美食品であるといわれても、当然であるように思える。

今日、日本の子供が最も好む食物はカレーとハンバーグといわれている。ハンバーガーはハンブルグと書き、欧州ではトイップルアと呼んでいる。後進の貧しかった時代のドイツ人が開発した食物であろうか。今日、テレビで料理の放送が非常に多い。フランス料理その他、段々高級な繊細な味へとエスカレートしているようだ。居住も家具も衣料も一応ゆき渡った日本で、料理に対する関心が深まるのは当然であり、また大満足な食事であると思ふ。しかし、マスコミでこれが定型化され、定着させることは反省しなければならぬ。料理は、

あくまで個人の好みを基礎として個性的であるべきだろう。私は、「刺身」は酒の肴より、温かい米飯と共に食べる方が遙かに旨いと思っている。

料理に対する望みが限りなく高級化・流行化するなか、今一度、自分の舌に最も合った合理的な料理で、日々の私達の食卓を豊かにすべきでないだろうか。

フランスの諺に、「コニヤックで身土つおす」というのがあ

群馬の富岡市は、東京から百キロメートルの位置にあり、中曾根総理、福田元総理の生地と隣接しており、三方を山に囲まれ、西南に扇状地展開している段丘地帯であった。

明治五年、日本で最初の官営製糸場がこの地に創設され、西欧技術導入のさきがけとなり、一躍富岡シルクの名声を世界に高らしめた。現在も明治時代の建築の面影に魅せられて訪れる人が絶え間ありません。

このようにして、次男の剛は小学校から高校まで学び、親としては教育者としての将来を歩見たものだが、幼少より抜群の体力に恵まれ、東北の体育大を周囲の反対を押し切って選択し、何とか卒業しました。

警視庁への希望も、周囲には全く相談もなく独断で決めた。一々試験の合格に初めて知りた。この時に息子から意外な言葉を聞かされ、親の立場として、息子の心が見えず、今更のように反省させられました。

行動には責任を持つて

矢島 辰 男

それは息子が小学三年の時に、家から小学校への途中に、富岡警察署がありまして、学校の往復に必ず「お巡りさんになるぞ」とお巡りさんへの羨望に足を止めたそうでした。この頃から幼な心に警察官への憧れが積り、親の心をよそに本人の人生コースは着々と計算されていったと思えます。

二人の息子がそれぞれ家を離れ、初老の夫婦だけでは広すぎる家に、時には一抹の不安も覚えますが、息子の帰省に、年毎に心身の旺盛さが見られ、心が安らぎます。

公務員として退職目前のわが身ではありますが、同じ公務員として、息子に誠実な人生を歩んでほしいと望んで止みません。名も知らぬ、路傍の地蔵に深くかこ

警官の息子の 難なきをいのる

(警視庁・四機 矢島剛隊員の父親)

戦後の混乱期に家庭の事情で満足な教育を受けなかった父の「子供にはせめて最高の教育」という願望を無償にも打ち砕いて、お前が高校を卒業しただけで警視庁の警察官として巣立っていった早や五、二十歳の誕生日をこの二月に迎えて、四折思い出したらよけに胸が痛む。話や手紙話、さらには寮生活の模様を得意げに話している。子供だと思っているうちに、自分の選んだ道で一杯生きていくんだと少しも感じ、最近になって警察官になってくれて本当に良かったと思うようになってきた。

お前が高校生の頃、父が終戦直前に親元を離れ、じ来戦後の混乱期で、父流に言うところの「雑草の如く生きてきた」その体感を話し始める。「親父さんは古い古い」と言っては耳をかそとしまかた。

ところで父親として、また警察官の先輩として、心しておもいたいことが二つある。

一つは、警察組織、警視庁の組織の一員であることを時時忘れてはならない。そして世間は公的のもより、私的な分野を含め、すべての言動を警察官の言動として受け取り、評価するものであると言おうと肝に銘じておいてもらいたい。

もう一つは、私が口癖に言う「本を讀め」ということだ。終戦前後の混乱期に、小学校での授業すら満足に受けられなかった父が、現在の立場で曲りなりに職責を果たし得るのは、生来の「読書好き」によることだ。大きな力と思っている。自分の目で活字を追うことが、急速に進歩する時代の波に取り残されなただけの知識を身につけ、また理解力、判断力を養う原動力になったものとして信じて貰わねえ。

つい、いつのまにぞで説教になっちゃったが、嫁いだ二人の娘と、その孫からの電話や便りを楽しみにしながら、あと数年は現役で頑張るつもりでいる。お前も身体に十分留意して頑張ってくれ。父より(警視庁・三機 榎本広報隊員の父親)

息子への便り

静岡県静岡市 榎本 正 一

群馬の富岡市は、東京から百キロメートルの位置にあり、中曾根総理、福田元総理の生地と隣接しており、三方を山に囲まれ、西南に扇状地展開している段丘地帯であった。

明治五年、日本で最初の官営製糸場がこの地に創設され、西欧技術導入のさきがけとなり、一躍富岡シルクの名声を世界に高らしめた。現在も明治時代の建築の面影に魅せられて訪れる人が絶え間ありません。

このようにして、次男の剛は小学校から高校まで学び、親としては教育者としての将来を歩見たものだが、幼少より抜群の体力に恵まれ、東北の体育大を周囲の反対を押し切って選択し、何とか卒業しました。

警視庁への希望も、周囲には全く相談もなく独断で決めた。一々試験の合格に初めて知りた。この時に息子から意外な言葉を聞かされ、親の立場として、息子の心が見えず、今更のように反省させられました。

戦後の混乱期に家庭の事情で満足な教育を受けなかった父の「子供にはせめて最高の教育」という願望を無償にも打ち砕いて、お前が高校を卒業しただけで警視庁の警察官として巣立っていった早や五、二十歳の誕生日をこの二月に迎えて、四折思い出したらよけに胸が痛む。話や手紙話、さらには寮生活の模様を得意げに話している。子供だと思っているうちに、自分の選んだ道で一杯生きていくんだと少しも感じ、最近になって警察官になってくれて本当に良かったと思うようになってきた。

お前が高校生の頃、父が終戦直前に親元を離れ、じ来戦後の混乱期で、父流に言うところの「雑草の如く生きてきた」その体感を話し始める。「親父さんは古い古い」と言っては耳をかそとしまかた。

ところで父親として、また警察官の先輩として、心しておもいたいことが二つある。

一つは、警察組織、警視庁の組織の一員であることを時時忘れてはならない。そして世間は公的のもより、私的な分野を含め、すべての言動を警察官の言動として受け取り、評価するものであると言おうと肝に銘じておいてもらいたい。

もう一つは、私が口癖に言う「本を讀め」ということだ。終戦前後の混乱期に、小学校での授業すら満足に受けられなかった父が、現在の立場で曲りなりに職責を果たし得るのは、生来の「読書好き」によることだ。大きな力と思っている。自分の目で活字を追うことが、急速に進歩する時代の波に取り残されなただけの知識を身につけ、また理解力、判断力を養う原動力になったものとして信じて貰わねえ。

つい、いつのまにぞで説教になっちゃったが、嫁いだ二人の娘と、その孫からの電話や便りを楽しみにしながら、あと数年は現役で頑張るつもりでいる。お前も身体に十分留意して頑張ってくれ。父より(警視庁・三機 榎本広報隊員の父親)

- 書さしに負けず 励む機動隊
- 鈴木 実
 - 栗田工業(株)
 - 高周波熱錬(株)
 - 石原 幸男
 - 木村 利秋
 - 橋山 和正
 - 国見山(株)
 - 東海レラー鋼業(株)
 - 中京製線(株)
 - 東海鋼材工業(株)
 - 田島鋼材(株)
 - 広島シヤリ(株)
 - 内外運輸(株)
 - 日鐵ポルテン(株)
 - 金廣鋼材(株)
 - 秋田ドラム工業(株)



発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都中央区八重洲2-4-14
 〒104 ミツヤビル3階
 発行人 鈴木 實
 TEL 03(272)2050
 購読料 年間1200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)

隙のない警備で 重責完遂

北から南から

わが国の治安は世界で最も安全である、との高い評価を得ている。これは機動隊員を始めとして、各種警備に従事する警察官全員の血の汗にむよる地道な努力によるものである。

近年来の警備は、「動」から「静」へ移ってきたという。しかし警備事象は政治社会情勢を敏感に反映する。国内外に紛争や対立の火種が数多くあるだけに予断を許さないし、その警備も複雑かつ困難の度合いを増してきているようである。

こうした中で、警備のプロとして全国の機動隊員は、一段と飛躍していくための目標を掲げ、それに向かって自らを律している。これまでの成果に驕ることなく、きょうも訓練の積み重ねで万端の体制を構築している。

装備品取扱い修得制度を設定

昭和二十七年八月四日、非常設部隊として創設された、隊員は各署から体力強健、柔・剣道有段者をもって選抜していたと記録されている。その後、幾多の変遷を経て、四十四年四月、現隊合である「機動センター」が前橋市に新築され、四十五年四月所屬として独立、現在に至っている。

五十七年十月には、創設二十

「修得制度」を設定して、隊内検定を行って、隊員を育成している。

○治安警備訓練は、短時間訓練を積極的に採り入れ、基本訓練の徹底を図ると共に、出勤前の想定訓練、或は図上訓練を重視しており、これら機動独自の訓練に加えて、毎週一回警備と、毎月一回機との合同訓練を実施している。

隊員が格闘のうえ逮捕、総括者十一人の死体発掘、四十八年七月「日教組第四十三回定期大会」五十六年三月「県下水処理場建設反対運動」等がある。

昨年県下で開催された「第三十八回国民体育大会」及び「身障者スポーツ大会」に伴う警備隊では、爆発処理隊・警備遊撃隊として活動し、その成功の一翼を担った。

最近県内では、殺人・強盗等の凶悪事象が多発しており、その都度機動隊も派遣されている。昨年発生した「外国入女性殺人死体遺棄事件」の検案では、レンジャー技術を活用して二十〜三十メートルの崖道中から遺留品多数を発見し、担当検事ら、現場検証の際「こんな危険な所をよく捜索してくれた、公判維持に大変役立った」と感謝されたこともあった。

二、職務執行能力の向上(自信づくり)

三、強く、正しく、明るく親切で人間性豊かな隊員の育成(人づくり)を、を強力に推進している。

治安警備訓練面においては、月一回の全隊訓練と、在隊勤務(対銃撃、爆発処理、レンジャー、レスキュー、アクアラング)として月一回の県機、管機の合同訓練を定着化させているほか、県外出動の際には、特別訓練と、毎年実施される自衛隊開式警備の集中訓練を行っている。

また、毎年二月に県機・管機二機による総合警備訓練を行い、いかなる警備事象にも迅速・的確に対処できる強靱な部隊づくりに努めている。

本県における過去の主な警備事象としては、昭和四十年代の「学園紛争に伴う警備実施」、昭和四十八年三月「鹿野旅客船争奪騒動」、昭和四十八年十月「自衛隊開式警備」(今年度十二回目)、昭和五十二年一月「教育研究集会に伴う警備実施」、そして維新警備として日本一の三上山山祭りとして有名な秩父夜祭り警備等がある。

有事即応の体制で万全を期す

埼玉県警察機動隊の歴史は、昭和二十七年八月二十六日、国家地方警察埼玉本部機動隊の発足から始まる。

二十九年七月一日、新警察法施行に基づいて、警備部警ら交通機動隊となり、その後幾多の変遷を経て、四十四年三月、警備部機動隊として独立し、同年十二月、現在の庁舎に移転して、今日に至っている。また、五十九年十一月移転を目標に、新庁舎及び寮を朝霞市内車基跡地に建設中であり、現在の

狭隘、老朽化が解消される予定である。

本県機動隊の勤務は日勤勤務であり、年間・月間・週間の出勤及び就業訓練計画により活動している。本年の当隊の重点として、治安維持の万全を期し、隊員の期待と信頼に応えるため、隊員一人ひとりの士気を高揚し、警備技術の練度向上を図り、集団警備力の中核として、真に機能する機動隊を確立するため、

一、集団警備力の充実と練度の向上(精強な部隊づくり)

二、職務執行能力の向上(自信づくり)

三、強く、正しく、明るく親切で人間性豊かな隊員の育成(人づくり)を、を強力に推進している。

千葉県警察機動隊は、戦後間もない昭和二十五年に発足した。その後社会の進展に伴う警備事象の急増に加え、新東京国際空港建設の反対闘争激化に伴う警備事象の確立に対処すべく、昭和五十二年三月に第二機動隊が誕生し、今日に至っている。

第一機動隊は千葉市磯町に位置し、隊員の理想像である「スマートで機転がきいて几帳面、負けじ魂、これぞ隊員」を目指している。

第二機動隊は千葉市長沼原町に位置し、隊訓である「融和団結」を基本に、隊員の理想像を「強く、正しく、スマート」に求め、それぞれ県民に信頼され、愛される機動隊づくりに努力している。

二機の舟艇に隊員が四名ずつ乗り込み、二メートル余の鉄パイプに特製のフック針を向本もつけた器具を湖底に落とし、それをロープで引っ張り、遺体をひっかける方法をとった。

十一時頃から開始されたが、器具が折れたり曲つたりした悪戦苦闘を重ねた午後二時三十分頃ついに遺体を引き上げた。殺された時のままの服装で死体を漂わせており、胴体には強く光ったタイヤチェーンが巻かれており、見るも無残な姿であった。

死体なき殺人事件と言われた本事件が、実は五十三日ぶりに解決し、岐阜県警察機動隊の實力を遺憾なく発揮した捜索活動であった。

群馬県警察機動隊

昭和二十七年八月二十六日、国家地方警察埼玉本部機動隊の発足から始まる。

二十九年七月一日、新警察法施行に基づいて、警備部警ら交通機動隊となり、その後幾多の変遷を経て、四十四年三月、警備部機動隊として独立し、同年十二月、現在の庁舎に移転して、今日に至っている。また、五十九年十一月移転を目標に、新庁舎及び寮を朝霞市内車基跡地に建設中であり、現在の

狭隘、老朽化が解消される予定である。

本県機動隊の勤務は日勤勤務であり、年間・月間・週間の出勤及び就業訓練計画により活動している。本年の当隊の重点として、治安維持の万全を期し、隊員の期待と信頼に応えるため、隊員一人ひとりの士気を高揚し、警備技術の練度向上を図り、集団警備力の中核として、真に機能する機動隊を確立するため、

一、集団警備力の充実と練度の向上(精強な部隊づくり)

二、職務執行能力の向上(自信づくり)

三、強く、正しく、明るく親切で人間性豊かな隊員の育成(人づくり)を、を強力に推進している。

千葉県警察機動隊は、戦後間もない昭和二十五年に発足した。その後社会の進展に伴う警備事象の急増に加え、新東京国際空港建設の反対闘争激化に伴う警備事象の確立に対処すべく、昭和五十二年三月に第二機動隊が誕生し、今日に至っている。

第一機動隊は千葉市磯町に位置し、隊員の理想像である「スマートで機転がきいて几帳面、負けじ魂、これぞ隊員」を目指している。

第二機動隊は千葉市長沼原町に位置し、隊訓である「融和団結」を基本に、隊員の理想像を「強く、正しく、スマート」に求め、それぞれ県民に信頼され、愛される機動隊づくりに努力している。

二機の舟艇に隊員が四名ずつ乗り込み、二メートル余の鉄パイプに特製のフック針を向本もつけた器具を湖底に落とし、それをロープで引っ張り、遺体をひっかける方法をとった。

十一時頃から開始されたが、器具が折れたり曲つたりした悪戦苦闘を重ねた午後二時三十分頃ついに遺体を引き上げた。殺された時のままの服装で死体を漂わせており、胴体には強く光ったタイヤチェーンが巻かれており、見るも無残な姿であった。

死体なき殺人事件と言われた本事件が、実は五十三日ぶりに解決し、岐阜県警察機動隊の實力を遺憾なく発揮した捜索活動であった。

今月の話題

中国の古書(列子)に、「杞の国に、人天の崩れ落ちて、身を穿する所なきを憂い、寝食を廢する者あり」という項がある。つまり、この男は天地が崩壊したらどうなるかと考え込んでノイローゼになったというわけである。

白雲三千丈というくらいの大けさな国だから、こんな人も、ほんとうに居たのかも知れない。ところが、優しい男が彼のことを心配して、いろいろ慰める。その結果、天も落ちて来ないし、大地も壊れることはない、という自信が出来て、二人は

杞 人 之 憂

杞の国の男が、あり得ないような馬鹿らしい心配をしたというので、杞憂という言葉が出来たわけだが、これは、よほど特殊な部類の人でなければ考えない。つまり一般的に懸念しないことも正確ではない。正確にするためには、杞憂を杞憂で済ませようとする努力が、われわれ自身に必要なものである。

それはいまでもなく、われわれ国民の生命財産の安全保護策をより充実させる努力であり、われわれは「はげまし」も、単なる娯楽ではない。実はわれわれ自身のためであることを忘れてはなるまい。

千葉県警察機動隊

戦後間もない昭和二十五年に発足した。その後社会の進展に伴う警備事象の急増に加え、新東京国際空港建設の反対闘争激化に伴う警備事象の確立に対処すべく、昭和五十二年三月に第二機動隊が誕生し、今日に至っている。

第一機動隊は千葉市磯町に位置し、隊員の理想像である「スマートで機転がきいて几帳面、負けじ魂、これぞ隊員」を目指している。

第二機動隊は千葉市長沼原町に位置し、隊訓である「融和団結」を基本に、隊員の理想像を「強く、正しく、スマート」に求め、それぞれ県民に信頼され、愛される機動隊づくりに努力している。

岐阜県警察機動隊

昭和二十七年八月二十六日、国家地方警察岐阜本部機動隊の発足から始まる。

二十九年七月一日、新警察法施行に基づいて、警備部警ら交通機動隊となり、その後幾多の変遷を経て、四十四年三月、警備部機動隊として独立し、同年十二月、現在の庁舎に移転して、今日に至っている。また、五十九年十一月移転を目標に、新庁舎及び寮を朝霞市内車基跡地に建設中であり、現在の

狭隘、老朽化が解消される予定である。

本県機動隊の勤務は日勤勤務であり、年間・月間・週間の出勤及び就業訓練計画により活動している。本年の当隊の重点として、治安維持の万全を期し、隊員の期待と信頼に応えるため、隊員一人ひとりの士気を高揚し、警備技術の練度向上を図り、集団警備力の中核として、真に機能する機動隊を確立するため、

二、職務執行能力の向上(自信づくり)

三、強く、正しく、明るく親切で人間性豊かな隊員の育成(人づくり)を、を強力に推進している。

千葉県警察機動隊は、戦後間もない昭和二十五年に発足した。その後社会の進展に伴う警備事象の急増に加え、新東京国際空港建設の反対闘争激化に伴う警備事象の確立に対処すべく、昭和五十二年三月に第二機動隊が誕生し、今日に至っている。

第一機動隊は千葉市磯町に位置し、隊員の理想像である「スマートで機転がきいて几帳面、負けじ魂、これぞ隊員」を目指している。

第二機動隊は千葉市長沼原町に位置し、隊訓である「融和団結」を基本に、隊員の理想像を「強く、正しく、スマート」に求め、それぞれ県民に信頼され、愛される機動隊づくりに努力している。

夏場の体力作り

スポーツクラブ員が語る

連日うだるような暑さが続き、踏警備に出勤した。不快指数もうなぎ登りに上がるところで、暑さを避けてごろごろしている頭も体も鈍る。適度な運動は心身ともに爽快になる。迎える秋に備えた隊員達の鍛錬を、警視庁スポーツクラブで垣間見た。



炎天下における完全武装でのデモ警備等は強靱な体力を必要とする。日頃からの鍛錬が、夏に負けないための最大の方法と考へる。また、その暑さに耐えてこそ人間としての成長があると思ふ。

試合では、自分との闘いに勝つてこそ初めて相手に勝てる。警備においても同様、自分の体調を崩すようなら、それは、準備の不全を期すことはできない。

「忍耐」という言葉をモットーとして、常に努力すること。私も夏は体調を崩すことのないように「努力」を続け、乗り切りたい。第一機動隊員として、又、警視庁卓球クラブ員として活躍していきたい。(中隊員)

横綱隆の里は、「人間辛抱」

ス」での練習が始まる。夏の練習は、冬の間培った基礎体力と基本的な警備技術を試合で勝てるよう磨きあげていく実践的なものでなくてはならない。試合では千メートルから二千メートルを過ぎきらなくてはならない。フル全体の体力と技術の他に、ペース配分、相手の駆け引きが問題となってくる。そのため前半のスタートダッシュ、中盤のコンスタント、そして後半のラストスパート等各部分の細かな練習が要求され、繰り返して、気が遠くなる程続けられる。

また、ある時は試合形式によりタイム計測をする等、一日に漕ぐ本数は千本を超え、距離は三と三十キロメートルにも達する程である。日差しの強い夏はこれらの練習をタラタラと長引かせるようにしてきかきとるのがコツである。

練習が終ると喉はカラカラである。しかしジュース、コーラの清涼飲料水は禁物。胃腸への負担が大きいためである。選手達は各自、今流行のアルカリイオン飲料を飲んでいる。酒の飲み過ぎ、夜ふかしが翌日の練習に耐えられない。選手自身、身をもって知らされている。加えて大敵は、水分の取り過ぎからくる食欲不振である。スポーツの中でもカロリー摂取量の多い選手は、この点に注意を払っている。

我々の夏バテ防止三原則は、一、厳しい練習、二、旺盛な食欲、三、十分な睡眠である。我々クラブ員は、団体優勝を最高の目標として、これに厳しく、一日一日の練習に励んでいる。(中隊員)

暑さに負けない体力作り

ラグビーは、警察官の表芸たる剣道とは別に、機動隊員に最も適したスポーツである。しかも練習や試合を通じて親しく都民と接し、広く警察を理解してもらえらる。



昭和三十三年三月に「警視庁ラグビー部」が発足し、第二機動隊に置かれた。それと同時に関東社会人ラグビーフットボール連盟に加盟し、猛練習を重ね昭和四十一年には早くも東京代表として全国社会人大会に出場する等、著実に成長し、警視庁の名を日本ラグビー界に高らかに示した。

当庁ラグビー部の歴史も、今年で二十二年目を迎えた。その間全国大会に九回、東日本大会に十一回出場し、優勝一回準優勝三回の実績があり、現在も関東社会人連盟の一部リーグに定着している。

今年度は、春のビッグゲームである東日本大会に出場した。今回は、岩手県下で実施され、一回戦秋田県役所を破るすえ、破り、準決勝に進出し、六年連続日本一の新日鉄釜石と対戦した。

我がチームは、強い当たりと果敢とで奮闘して健闘。前半は六対十と善戦した。地元ファンは対して大きな拍手を送らた。結果は九対二十八と破れたものの、日本一の退の好ゲームができたことは、遺憾深かった。

ラグビーには春と秋のシーズンがある。秋のシーズンに向けて七月からトレーニングを開始し、八月の合宿訓練でチームの仕上げをしている。ラグビーは格闘技の特殊性から常にトレーニングが必要で、秋に備えるためには、盛夏時にスタミナを養成する必要がある。

一 夏に向けての体力作り
七、八月の猛暑の中では、グランド面での長時間の練習は健康面で問題があり、練習は筋力トレーニングとマラソン等による持久力の養成を行うこととしている。その気候に対応できる体力作りが最も大切である。

二 食事の工夫による栄養補給
ラグビー選手は運動量は普通人とは比較にならない程大きい。そこで日頃の訓練が、それと合わせた栄養補給が必要となる。運動により消費されるカロリーを補給するだけでは脂肪の沈着を招き、かえってマイナスとなってしまう。従ってカロリ以外の蛋白質、ビタミン、ミネラルといった栄養素をその位摂取すべきなど、毎日の食生活に工夫を凝らすことが大切である。

この夏も、秋のシーズンに向け、厳しいトレーニングを積み、強靱な体力と暑さに負けない強い気力の養成を図る。そして「たぐいましき」を増すとともにも来たるべき試合に万全を期すためエネルギーを貯えている。(小隊長)

夏本番 近代五種
四機 太田敏範
私が高校一年の八月、東京の国立競技場に於て全国高校総合体育大会が行われ、八百メートルと千六百メートルリレーに出場した。東北出身の私にとって競技とは暑さと戦いでもあった。

現在近代五種の訓練をしているが、その中でもウェンシングは、マスクやユニフォームを身につけて激しく動くため、多量の汗で刺々しい電気気が体伝わってくる程である。私はこうして夏の暑さに対処するために、次の二点について日頃から留意している。

第一は、体を常にベストに維持することである。特に夏の夜は寝苦しく、睡眠不足になりがちなので、普段より早く目に床に落ちるようにする。寝冷えによる腹痛等を起こさない様注意を払っている。また、昼食後は短時間であるが睡眠をとるようにしている。暑い日の訓練方法は、日差しの強い時には日陰で軽い柔軟体操。日中は体が疲れても効果率が上がらないので、比較的温暖な時間に陸上の練習を行っている。こうした練習への配慮と休養こそが夏の健康を維持する第一の条件ではないだろうか。

第二に栄養の補給である。夏は食欲が減退しがちで栄養不足になりやすい。私は食欲がない場合でも、無理をして一日三食は必ず食べる事にしている。また、疲れや暑さに効果があると思われる有機酸系(酢の物やみかん等の果物)と乳酸菌(ヨーグルト等)をいつも多く食べるようにしている。選手の中には、ビタミン剤等服用する者もいるが、普段の食事に合わせた補給を摂るのが望ましいと思ふ。

以上二点について述べたが、最大の対策は「夏に打ち勝つ」という強固な精神力だと思ふ。夏は体を動かすのが億劫になるが、練習の合間に海水浴や旅行をするのも楽しみの一つであり、気分転換に役立つ。日頃の疲れをこの一つの方法で、日頃の北国育ちの私も東京に来て五年になるが、上京した頃は、夏がいやでたまらなかつた。しかし、自分自身の防湿を身に付けて、自信をもって訓練に励んでいるうちに、今では夏が楽しみになった。(中隊員)

私の夏バテ防止法
一 サッカー
五機 曾我辺弘之
夏バテ防止法といっても、私自身が特別に注意していることはない。生まれこいた夏バテになつたという記憶がないのである。

もちろん私も生身の人間だから、暑い時には体調を崩すことがある。しかし、せいぜい一日の休養で回復する。これといった夏バテ防止の方策はとっていないが、日常生活の中からも注意している。それは、規則正しい食事と十分な睡眠とを述べてみたい。

規則正しい食事、それに睡眠を十分に取ればある程度夏バテは防げる。勤務上、睡眠時間は不規則だが、非番は必ず寝るよう努めている。又、食事については、朝食は必ず食べるように心がけている。食事は全面的に隊食を信頼しているのだから、一度も体調を崩したことがない。最近は一、二の普及によって、少し暑い日はクーラーで冷やす。真夏の暑い日、公園で遊ぶ子供が少なくなつてしまったように、自分達の身体をどう使うかという気が薄れてきたようである。

幸い私は、子供の頃から勉強とは無縁で、体を動かしてばかりだった。機動隊を希望したのである。私は毎日走っている。走ることに慣れていくわけではなく、自分の体を動かすことに無上の喜びを感じる。軽く汗を流していることが、夏バテ防止に結びついていると思ふ。規則正しい食事、十分な睡眠と適度な運動は、私の生活様式の中に組み込まれてきた。これが私の夏バテ防止方策と言えるだろう。この他に、機動隊員として夏を乗り越えるため、私は「忍耐、根性」をモットーに、夏を迎え撃ちたい。「さあ夏よ来い」(中隊員)

健康そのものだ。
二、適度な運動
三、涼しい服装
四、クーラーの普及によって、少し暑い日はクーラーで冷やす。真夏の暑い日、公園で遊ぶ子供が少なくなつてしまったように、自分達の身体をどう使うかという気が薄れてきたようである。

夏を乗り越える
六機 佐藤正美
例年、真夏の強い日差しの中で、警備訓練、あるいは教練等を実施している際、何名か貧血を起こし、同僚に連れて行かれることがある。都民の生命、身体、財産を守る警察官が、このようになるとは、恥ずかしいと思ふ。我々警察官は体力が必要とされる職業であるから、常に心身の鍛錬に努めなければならないと思っている。私は当時のレスリングクラブ員として、レスリングを通じて日夜心身の鍛錬に努めている。非番、週休は自主トレーニングを行っているし、マラソンをし



夏、一番 卓球
一機 桐浩二
私は警視庁卓球クラブの一員として、日々訓練に励んでいる。夏の練習は「サウナ風呂」といわれるような暑さである。練習場は、風の影響を受けないよう窓を閉めるため、十分間も白球を追いかければ、額から汗がふき出し、周囲に飛び散る状態だ。

この時期の練習は、脱水症状をにもなりかねない。そこで疲労を少なくし、夏バテを防止するために、私は次のことを実践している。

一 水は、うがいだけ
練習中の水は、うがいだけに。水ががぶ飲みすると疲労が多くなるので、練習が終了したら、栄養のある牛乳等を飲む。

二 食事は必ずとる
夏は水分を多くとりがちになるため、食事がすまなくなる。水分は控え目、食物はよくかんで食べられない場合は、体力低下の原因となるのでお茶漬等あつさりした物を食べる。

三 睡眠を十分に
睡眠を十分に、身体の疲労の回復を図る。睡眠不足は夏バテの原因となる。蒸し暑く眠れない夜は、卓球の素振りをして汗をかく、シャワーを浴びて、さっぱりとした気分になるとぐっすり眠れる。

四 一日一回は、汗をかき
練習がない時は、マラソン等を実施して、一日一回は、汗をかき新陳代謝を図る。そういふ私にも、夏場の仕事はとて苦しいものがある。特

二 食事は必ずとる
夏は水分を多くとりがちになるため、食事がすまなくなる。水分は控え目、食物はよくかんで食べられない場合は、体力低下の原因となるのでお茶漬等あつさりした物を食べる。

三 睡眠を十分に
睡眠を十分に、身体の疲労の回復を図る。睡眠不足は夏バテの原因となる。蒸し暑く眠れない夜は、卓球の素振りをして汗をかく、シャワーを浴びて、さっぱりとした気分になるとぐっすり眠れる。

読者の広場



ストレス人間 会社人間

南保夫

長い不況のせい、各企業のハイテク志向があまりにも加速度的に過ぎるせいなのか、最近サラリーマンの「うつ病」や「心身症」が急増しているとい

可もなし、不可もなしといつた、ごく平均的なサラリーマンが、ある日、まったく突然、なんの罪もない上役がボカリと突くわせる。周囲のあ然とした視線を尻目に、ニヤリと無気味な笑みを残して夢遊病のように立去ってしまう。

「うつ病」も「心身症」も「うつ病」患者らしい社員は、どこの会社にも大抵一人や二人はいるらしい。こんな話は近ごろでは、当り前の社会現象で、もう珍らしくもなんともないのかも知れない。だからといって決してひとりで



はない。

こうした現代病は誰でもが罹患する可能性があり、しかも仕事一筋の会社人間ほど罹りやす

いとなれば、身に覚えのある方は、とくに要注意である。会社とくくって注意である。会社とくくって注意である。

「うつ病」も「心身症」も「うつ病」患者らしい社員は、どこの会社にも大抵一人や二人はいるらしい。こんな話は近ごろでは、当り前の社会現象で、もう珍らしくもなんともないのかも知れない。だからといって決してひとりで

八月、台平和祈念式

柳本武一

梅雨明け後の広島地方は、連日三十度を超える猛暑が続いています。想えば被爆三十九年を迎える、八月六日が今年も又やってきました。

今日の広島市は、平和都市広島、水と緑と文化の街として、平和な日常生活の中に、清らかに流れる六つの川、そして緑のしたる樹木も大成し、本場に美しい街として、よみがえっています。

八月六日、地元広島市民にとっては、決して忘れることは出来ません。多くの遺族、そして市民が早朝より慰霊碑に参拝し、二度と繰り返してはならない惨事、その悲願を込めて、世界に向けての平和宣言を訴える日でもあります。このキラキラと照りつける太陽の光をうけながら、三十九年前を想起し、それは廃墟と出発の日でもありました。

人間の生命の尊さ、そして生きることに對する努力は、人それぞれ考え、且つ頑張っているわけですが、健康なことが、如何に幸福であるか、私達人生に於いて、病める人々の不幸を想う時、健康こそ宝であり、財でもありません。

「うつ病」も「心身症」も「うつ病」患者らしい社員は、どこの会社にも大抵一人や二人はいるらしい。こんな話は近ごろでは、当り前の社会現象で、もう珍らしくもなんともないのかも知れない。だからといって決してひとりで

「うつ病」も「心身症」も「うつ病」患者らしい社員は、どこの会社にも大抵一人や二人はいるらしい。こんな話は近ごろでは、当り前の社会現象で、もう珍らしくもなんともないのかも知れない。だからといって決してひとりで

「うつ病」も「心身症」も「うつ病」患者らしい社員は、どこの会社にも大抵一人や二人はいるらしい。こんな話は近ごろでは、当り前の社会現象で、もう珍らしくもなんともないのかも知れない。だからといって決してひとりで

「うつ病」も「心身症」も「うつ病」患者らしい社員は、どこの会社にも大抵一人や二人はいるらしい。こんな話は近ごろでは、当り前の社会現象で、もう珍らしくもなんともないのかも知れない。だからといって決してひとりで

「うつ病」も「心身症」も「うつ病」患者らしい社員は、どこの会社にも大抵一人や二人はいるらしい。こんな話は近ごろでは、当り前の社会現象で、もう珍らしくもなんともないのかも知れない。だからといって決してひとりで

「うつ病」も「心身症」も「うつ病」患者らしい社員は、どこの会社にも大抵一人や二人はいるらしい。こんな話は近ごろでは、当り前の社会現象で、もう珍らしくもなんともないのかも知れない。だからといって決してひとりで

息子にかける夢

上越市直江津

中田博重

三人の子供を持つ親として、安定した職業につかせることが一番の夢である。長男が大学入試に失敗し、親として恥かいた話であるが経済力に乏しいので、国立が公立でなければ許さないので強く言いわれた。どうして一年浪人して学校に入るのか、出来たのであるが、親の望む学校でなく、受験した中から東京理科大を選び入学した。

一方、次男は五十五年春高専を卒業、自分の希望である警視庁一本にかけ受験した。第一次合格、第二次は新潟市で県立試験と同時に受けた。三月に入り卒業式も終り、同級生が次々と

進学や就職の知らせにつけ、我が子の採用の安否が心配で妻と毎晩口論となり、他の方法を考えねばと先生のとくりに相談に行くと仮入校の通知が舞込んだ。親子一体でこの上もない喜びである。四月十四日付仮入校に私が付き添い、十日後の入校式には妻が出席し、その後入校式に我が子が無事卒業出来るか不安であった。八月に一週間の休暇で帰郷した。

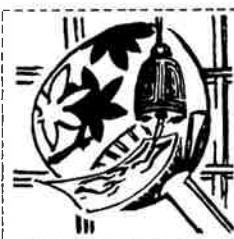
その時の我が子の大きく成長して行く姿が頼もしく思えた。一年も過ぎ去り卒業となる。家族全員で卒業式に参列し感動した。種々卒業式に参列したがる

この八月六日を迎える度に、人類の永遠なる平和を願うことは、広島市民のみならず、全人類の希求でもありますが。全世界の中で、数多くの人々が、不幸な生活を営んでいることを私達は、現在の日本に於ける知識は、本日に幸福であり、豊かでもあり、感謝する心を持つべきでしょう。

しかし、広島市は、八月六日という日に、静かに静かに祈りをいたすべきだが、市民の心を打破るような行動も多く見受けられます。私達は余り外部から原子爆弾禁止についてのイデオロギーの活動をすることについては、一考を要する点があります。願わくば、此の日こそ、静かな祈りであって欲しい、この願ひのみであります。

機動隊員の方にも、此の猛暑の中で警備に当られることは、本当に言葉で表現出来ませんが、感謝の気持ち一杯です。全国会員の諸兄も、八月六日前八時十五分には、平和の祈りを捧げていたごくことを、お願いいたします。

機動隊員の方にも、此の猛暑の中で警備に当られることは、本当に言葉で表現出来ませんが、感謝の気持ち一杯です。全国会員の諸兄も、八月六日前八時十五分には、平和の祈りを捧げていたごくことを、お願いいたします。



中田博重中隊員の父親

事務局より

▽五十九年度会費納入が遅れている会員の方、御多用のところ恐縮ですが、お早目に振込みのほどをお願いします。不明の点は事務局までお問合わせ下さい。電話〇三(二七二)二〇五〇

▽転勤など住所変更の際もお手数ですが、事務局へ御一報いただければ幸いです。当機関誌の宛先変更手続を一緒にさせていただきます。

▽残暑厳しい折柄、職員諸氏と会員各位の一段のご自愛をお祈り申し上げます。

- 残暑お見舞い 申しあげます
- 大内俊司
- 東鋼業(株)
- 杉尾榮俊
- 谷本鉄鋼(株)
- (株)スチールセンター
- 大東港運(株)
- 高周波熱錬(株)
- 木村政次
- 高島浩一
- 黒田一
- 村上益一
- 丸定産業(株)
- 明鋼材(株)
- 伊勢湾海運(株)
- 中村是一
- 三和鉄構建設(株)
- 高橋重廣
- 飯田産業(株)
- 中條鋼材(株)
- 新潟鋼機(株)
- 三福商事(株)



発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都中央区八重洲2-4-14
 〒104 ミツヤビル3階
 発行人 鈴木 實
 TEL 03(272)2050
 購読料 年間1200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)

訓練成果をフルに発揮

ご苦労さん 韓国大統領警備



韓国の全斗煥大統領夫妻の警備は史上空前の大規模なものになったが、そこはまた機動隊を軸とする日本警察のプロに徹底した警備No.1の評価を高めらしめることともなっていた。

清算 新時代に向けて第一歩を踏み出すが、来日に反対する中、革派、革労協、戦旗派らの集会、デモなどの抗議行動、またラングーン事件など過去二回も生命を阻まれたVIPだけに、警備は昨年のレーガン米大統領訪日をはるかに大きく上回った。

警視庁はこのために特別総合本部を設置、大統領が滞留した六日から八日までの三日間、連日中の三日間で警備に動員した警察官は機動隊員を中心に一日当たり二万三千人。総合警備本部を設置した来日二週間前

日二万三千人の警察官を動員、羽田や都心に重点配備して厳戒体制で臨んだ。
 全斗煥韓国大統領の離日に伴い、警視庁の特別総合警備本部(本部長・柴田善憲副総監)は八日午後解散されたが、「韓国大統領の訪日が成功したこと、警備面の輝かしい実績を世界に示したもので、とくに警視庁の威信を国内外に高めた」というのが一般的に評価であった。複雑な政治背景から、世界で最も警備を必要とするVIPといわれるだけに、去る六日から八日までの滞在三日間の厳戒警備を振り返ると――

警視庁の威信を高めた大警備



の特別厳戒態勢から数えると延べ二十万三千人上った。
 七、八日、会場の始まる八日前から機動隊員八十八万人、レーガン大統領は訪日の前日から始まって延べ十万人である。
 今回の警備は、空港、迎賓館、首相官邸、皇居と狭い区域に集中、その警備の密度もかつてないものであった。

これは、人の心は様々なものごとを線として微妙に揺れ動き、うつろいやすいものなので、人は依り処とはならない。要は法を根本とする事が肝要であるとの大意であり、「心の師とはなる」と心を師とせざれ」のように、また「事実と真実とは違ふ。見抜く心と眼が大切である」と解釈している。

九月一日に行われた一都九県にまたがる大がかりな総合防災訓練は、今年で六回目になった。大正十二年の関東大震災から六十年の記念日にもなる。警察、警視庁も国、地、公共団体その他関係機関と緊密な連携の下に、常日頃鍛えてきた訓練成果を発揮した。

訓練に千四百万人が参加、昨年の日本海中部地震の津波被害を教訓に、津波警報の伝達や住民の避難等津波対策訓練を重点目標とした。

防災 機動性発揮の隊員 訓練 住民が全面的信頼
 九月は風水害の月といわれる。しかし、近年の自然災害を見ると人命の損失は著しく減少している。これは被害を最小限にとどめるための備えが進められたこともさることながら、突然襲ってくる災害時における機動隊員等の的確ですばやい救助活動が大きな役割を占めている。



家屋の下敷きになった人や土砂崩れで生き埋めになった人を救出する訓練も行われたが、習熟した機動隊員の機動力に、地域住民は全面的な信頼を寄せられている。

依法不依人

前京都大学学長岡本道雄氏の臨教審会長就任インタビューを流んだ。まず「はからずも真正銘思いがけない事で当惑しているが、大変大事なことから広い気持ちで意見を聞き、真剣に考えてまわりたい」とと謙虚に抱負を述べられている。

「心の問題で大変難しいが、社会と国家の方向を決める大事な問題であり、小先先を憂えるだけでは解決しない。今の日本は第一に国際社会への貢献を求められ、二にこれからの技術導入から独自の基礎科学振興による創造性の必要、そして第三は、生命科学が人間を直

撃しており、人間を大切にすること、を決定的に意識しなければならぬ。この一つ一つが二十一世紀を生きる若者の教育にかかわりあり、

り、今日この頃は、心の荒廃が論議されないうちには一日として云々でも過言ではない状況である。しかし一方では、暑い夏を更に沸かした



せむ高校甲子園球児の母校愛・郷土愛に燃えた情熱の炎がなまらぬ、また心の一面のあらわれに他ならない。私典に「依法不依人」と云う教文である。



遊ぶと、気分がスカッとしてスレスレ解消になる。ゴルフに行く前の気持ちは、小学生の遠足のときみたいなものである。わが意志と異なる結果が出るのも、意思と反対の結果が出るものはない。目の前に池があると、入ってはいけぬ、そう思えば、思えば結果はボチヤン。谷あり山ありの山岳コースでは、ボールを一ダースも用意して、アッという間に無くなるからであり、大変メンタルなスポーツである。だからと面白くない。ゴルフほど人が教えたがるスポーツはないと、下手な人に習うといつても一〇分。しつかりしたレッスンプロに習われることを心からお勧めして、終りとす。

七機(操車係員) 谷合忠男

私が登山を始めたのは、先輩に誘われて丹沢に出かけた時からである。「塔ノ岳」に登り、頂上から望む富士山や南アルプス連峰の雄姿に魅せられて以来よく山へ出かけるようになった。それ迄の私は、山に対する知識も興味も全くなかった。しかし山を知ってからは、今迄に八ヶ岳、白馬岳、穂高、槍ヶ岳等を登った。その中で一番好きな山は穂高である。穂高は北穂高、奥穂高、西穂高からなる穂高連峰と呼ばれている。穂高は何度行っても飽きることはない。穂高連峰は井上靖の小説「氷壁」の舞台にもなっており、ロッククライマーにとっては、一度は必ず登る山を持って上らなければならない。私は、山登りまで到底できない。クライマー達のクライミングを眺めながら、肩に食い込む重いザックを背負い、体から吹き出る汗をぬぐって、一步一步上を目指す。頂上に立った時の最高の気分を味わいたくして登山する。

また、長い冬の間、深い雪の下で春の来るのをじっと耐えていた高山植物が、一斉にピンク色や黄色の花を咲かせる。その美しさは、花屋で見る花の色と



八機(操車係員) 高平一郎

私は初対面の人と話をすると、その人を知る方法として、まず、趣味について尋ねることにして、趣味は、その人の人間性や性格がよく現れるものの一つだと思ふ。しかし、質問に対して「特に趣味というものはありません。しつてあげればテレビを見るくらいです」という答えが返ってくる。会話がときどき、その人の人柄も現れず、さみしい思いをする。

そこにある。樹木に囲まれ森林浴をしながら、水の中に透けて見える岩々は、大古の昔からの美しさをとどめ、その一つ一つの岩が、まるで性格があるかのよう。静寂な自然の中で釣り糸を垂れ、一つひとつの岩と会話をしてみよう。山の中にいれれば人間など小さなものなのである。平地で歩き回るのでなく、時には自然に接して快い汗を流し、明日への英気を養うことも必要であると痛感する。

夏目漱石の「草枕」の一節に「山道は登りをたがへ、私はこう考へた。登りはたがへれば角がたつ、情にさおさせば流される」とかくこの世は住みにくい」という文章がある。その住みにくい世の中に、潤いを生み出すのが趣味だと思ふ。趣味を生かし、明日へのエネルギーを生み出し、仕事に勤めに励みたくしと思ふ。いま無趣味の人は、渓流釣りに入門してみたいかかだるうか。良い指導者を得て沢に入れば、あなたもたちまち渓流釣りの虜になることまちがいない。

私は最初、K先輩と打ったときは、九子局(聖目ともいう)で教えていただいたのである。終つてみた自分の陣地が一つもなかったり、取りかた先輩から「全然駄目だぞ」といふ言はれか、目が一ツ以上あること、まだわかつていない。よければ強くならないぞ」と言われ、本を読みあさった記憶がある。

「けいし」から審判、何時も分、特車第一報...」毎日スライドやビデオ向かい、何日間もの特訓の末、今年二月に審判無級中級検定に合格することができた。

「道道を登りをたがへ、私はこう考へた。登りはたがへれば角がたつ、情にさおさせば流される」とかくこの世は住みにくい」という文章がある。その住みにくい世の中に、潤いを生み出すのが趣味だと思ふ。趣味を生かし、明日へのエネルギーを生み出し、仕事に勤めに励みたくしと思ふ。いま無趣味の人は、渓流釣りに入門してみたいかかだるうか。良い指導者を得て沢に入れば、あなたもたちまち渓流釣りの虜になることまちがいない。

放課後、日が暮れて外が暗くなるまで無機機に向かつて、ひたすら練習をする。夕方はヨーロピアンやアメリカ等の局との交流だ。私はまだ、海外旅行をしたことがない。しかし私の声は電波に乗って世界を旅した。コアラやカンガルーの国、オーストラリア、南太平洋の島々、地球の裏側アルゼンチン、ピラミッドの国エジプト等、色々な国との交流をした。

「運転守則」を全隊員で唱和し、士気の高揚と事故防止の喚起に努めている。

(二)訓練は柔道、剣道、駅伝、けん銃の特長にあっては、それぞれ訓練を行い、一般隊員にあっては、教養訓練計画に従い、治警備訓練、災害警備訓練、真面目訓練、柔剣道、教養等を実施し、練度の向上に努めている。

三 出動事例

(一)新島地震警備(昭和三十九年) ニッポン七・七の地震は、各地に甚大な被害をもたらした。体験者として、忘れ得ぬ災害となった。

(二)第一回小西公判警備(昭和四十一年) ニッポン七・七の地震は、各地に甚大な被害をもたらした。体験者として、忘れ得ぬ災害となった。

(三)二、四柏時原発「第一次公断ヒヤリング」警備(昭和五十五年) 新制制定における全国初のヒヤリングとして注目を集め、他県からの応援出動を得て行われた。

なお新島は、山岳や河川が多くあるため、レンジャー隊の出動が頻りにあり、また原子力発電所事故防止阻害警備を控え、総力をあげて万全の警備に備えている。

「けいし」から審判、何時も分、特車第一報...」毎日スライドやビデオ向かい、何日間もの特訓の末、今年二月に審判無級中級検定に合格することができた。

「けいし」から審判、何時も分、特車第一報...」毎日スライドやビデオ向かい、何日間もの特訓の末、今年二月に審判無級中級検定に合格することができた。

空陸一体の合同災害警備訓練

岐阜県機動隊は、去る七月九日羽島市泉原町内の長良川河川敷で、神川武利本部長出席のもと、警察航空隊及び機動通信隊との合同による総合災害警備訓練を実施した。

この訓練は、水害や水難事故が発生しやすい時期を前に、今春発足した航空隊との連携による救助活動をスムーズに行うという趣旨で、初の大がかりな合同訓練となった。

この日の訓練には機動隊、方

昭和三十八年四月一日、特別



昭和三十八年四月一日、特別

昭和三十八年四月一日、特別

昭和三十八年四月一日、特別

昭和三十八年四月一日、特別

北から南から

総力をあげて万全の体制

新島警察機動隊

一 沿革

昭和二十七年十月一日、国家地方警察新島機動隊として発足。国家地方警察新島本部署に所属し、新島警察本部署に属する。現在に至っている。

二 日常の勤務及び訓練

機動隊を機動隊に合併、更に警備二課の設置から切離して独立所屬とし、新島警察本部署に属する機動隊として現在に至っている。

状況

(一)隊員は、午前六時三十分起床。体操やグラウンドをかけ、元気な声と車両のエンジン音(運行前点検)で隊の一日が始まる。朝礼は午前八時三十分。毎朝は愛唱歌「この世を花にするために」を、毎土曜日は「運転守則」を全隊員で唱和し、士気の高揚と事故防止の喚起に努めている。

(二)訓練は柔道、剣道、駅伝、けん銃の特長にあっては、それぞれ訓練を行い、一般隊員にあっては、教養訓練計画に従い、治警備訓練、災害警備訓練、真面目訓練、柔剣道、教養等を実施し、練度の向上に努めている。

三 出動事例

(一)新島地震警備(昭和三十九年) ニッポン七・七の地震は、各地に甚大な被害をもたらした。体験者として、忘れ得ぬ災害となった。

(二)第一回小西公判警備(昭和四十一年) ニッポン七・七の地震は、各地に甚大な被害をもたらした。体験者として、忘れ得ぬ災害となった。

(三)二、四柏時原発「第一次公断ヒヤリング」警備(昭和五十五年) 新制制定における全国初のヒヤリングとして注目を集め、他県からの応援出動を得て行われた。

なお新島は、山岳や河川が多くあるため、レンジャー隊の出動が頻りにあり、また原子力発電所事故防止阻害警備を控え、総力をあげて万全の警備に備えている。

愛知県機動隊はこの六月、隊員の中から自然発生の同好者が集まって「綱引き同好会」が誕生した。「綱引きは全日本選手権に出場だ」と大きな目標を掲げ、約三十名の会員は、週休一日を非番を利用して厳しい訓練を重ねてきた。

去る七月十五日には、第一回東海綱引き選手権大会に初出場。名古屋消防局、東海電気ターミナルなどの強豪をなぎ倒して決勝戦に進出した。昨年の全日本選手権第三位の静岡代表「竜原体育会」と対戦したが、惜敗した。

しかし、初陣で堂々準優勝を遂げ、東海綱引き界の話題をさらう大活躍することが出来た。

愛知県機動隊はこの六月、隊員の中から自然発生の同好者が集まって「綱引き同好会」が誕生した。「綱引きは全日本選手権に出場だ」と大きな目標を掲げ、約三十名の会員は、週休一日を非番を利用して厳しい訓練を重ねてきた。

去る七月十五日には、第一回東海綱引き選手権大会に初出場。名古屋消防局、東海電気ターミナルなどの強豪をなぎ倒して決勝戦に進出した。昨年の全日本選手権第三位の静岡代表「竜原体育会」と対戦したが、惜敗した。

しかし、初陣で堂々準優勝を遂げ、東海綱引き界の話題をさらう大活躍することが出来た。

愛知県機動隊はこの六月、隊員の中から自然発生の同好者が集まって「綱引き同好会」が誕生した。「綱引きは全日本選手権に出場だ」と大きな目標を掲げ、約三十名の会員は、週休一日を非番を利用して厳しい訓練を重ねてきた。

去る七月十五日には、第一回東海綱引き選手権大会に初出場。名古屋消防局、東海電気ターミナルなどの強豪をなぎ倒して決勝戦に進出した。昨年の全日本選手権第三位の静岡代表「竜原体育会」と対戦したが、惜敗した。

しかし、初陣で堂々準優勝を遂げ、東海綱引き界の話題をさらう大活躍することが出来た。

愛知県機動隊はこの六月、隊員の中から自然発生の同好者が集まって「綱引き同好会」が誕生した。「綱引きは全日本選手権に出場だ」と大きな目標を掲げ、約三十名の会員は、週休一日を非番を利用して厳しい訓練を重ねてきた。

去る七月十五日には、第一回東海綱引き選手権大会に初出場。名古屋消防局、東海電気ターミナルなどの強豪をなぎ倒して決勝戦に進出した。昨年の全日本選手権第三位の静岡代表「竜原体育会」と対戦したが、惜敗した。

しかし、初陣で堂々準優勝を遂げ、東海綱引き界の話題をさらう大活躍することが出来た。

愛知県機動隊はこの六月、隊員の中から自然発生の同好者が集まって「綱引き同好会」が誕生した。「綱引きは全日本選手権に出場だ」と大きな目標を掲げ、約三十名の会員は、週休一日を非番を利用して厳しい訓練を重ねてきた。

去る七月十五日には、第一回東海綱引き選手権大会に初出場。名古屋消防局、東海電気ターミナルなどの強豪をなぎ倒して決勝戦に進出した。昨年の全日本選手権第三位の静岡代表「竜原体育会」と対戦したが、惜敗した。

しかし、初陣で堂々準優勝を遂げ、東海綱引き界の話題をさらう大活躍することが出来た。

愛知県機動隊はこの六月、隊員の中から自然発生の同好者が集まって「綱引き同好会」が誕生した。「綱引きは全日本選手権に出場だ」と大きな目標を掲げ、約三十名の会員は、週休一日を非番を利用して厳しい訓練を重ねてきた。

去る七月十五日には、第一回東海綱引き選手権大会に初出場。名古屋消防局、東海電気ターミナルなどの強豪をなぎ倒して決勝戦に進出した。昨年の全日本選手権第三位の静岡代表「竜原体育会」と対戦したが、惜敗した。

しかし、初陣で堂々準優勝を遂げ、東海綱引き界の話題をさらう大活躍することが出来た。

愛知県機動隊はこの六月、隊員の中から自然発生の同好者が集まって「綱引き同好会」が誕生した。「綱引きは全日本選手権に出場だ」と大きな目標を掲げ、約三十名の会員は、週休一日を非番を利用して厳しい訓練を重ねてきた。

去る七月十五日には、第一回東海綱引き選手権大会に初出場。名古屋消防局、東海電気ターミナルなどの強豪をなぎ倒して決勝戦に進出した。昨年の全日本選手権第三位の静岡代表「竜原体育会」と対戦したが、惜敗した。

しかし、初陣で堂々準優勝を遂げ、東海綱引き界の話題をさらう大活躍することが出来た。

愛知県機動隊はこの六月、隊員の中から自然発生の同好者が集まって「綱引き同好会」が誕生した。「綱引きは全日本選手権に出場だ」と大きな目標を掲げ、約三十名の会員は、週休一日を非番を利用して厳しい訓練を重ねてきた。

去る七月十五日には、第一回東海綱引き選手権大会に初出場。名古屋消防局、東海電気ターミナルなどの強豪をなぎ倒して決勝戦に進出した。昨年の全日本選手権第三位の静岡代表「竜原体育会」と対戦したが、惜敗した。

しかし、初陣で堂々準優勝を遂げ、東海綱引き界の話題をさらう大活躍することが出来た。

愛知県機動隊はこの六月、隊員の中から自然発生の同好者が集まって「綱引き同好会」が誕生した。「綱引きは全日本選手権に出場だ」と大きな目標を掲げ、約三十名の会員は、週休一日を非番を利用して厳しい訓練を重ねてきた。

去る七月十五日には、第一回東海綱引き選手権大会に初出場。名古屋消防局、東海電気ターミナルなどの強豪をなぎ倒して決勝戦に進出した。昨年の全日本選手権第三位の静岡代表「竜原体育会」と対戦したが、惜敗した。

しかし、初陣で堂々準優勝を遂げ、東海綱引き界の話題をさらう大活躍することが出来た。

愛知県機動隊はこの六月、隊員の中から自然発生の同好者が集まって「綱引き同好会」が誕生した。「綱引きは全日本選手権に出場だ」と大きな目標を掲げ、約三十名の会員は、週休一日を非番を利用して厳しい訓練を重ねてきた。

去る七月十五日には、第一回東海綱引き選手権大会に初出場。名古屋消防局、東海電気ターミナルなどの強豪をなぎ倒して決勝戦に進出した。昨年の全日本選手権第三位の静岡代表「竜原体育会」と対戦したが、惜敗した。

しかし、初陣で堂々準優勝を遂げ、東海綱引き界の話題をさらう大活躍することが出来た。

昭和三十八年四月一日、特別

昭和三十八年四月一日、特別

昭和三十八年四月一日、特別

昭和三十八年四月一日、特別

昭和三十八年四月一日、特別

読者の 広場



キリギリス時代の到来

S・T生

八十二年労働者の統計によれば、日本人は労働時間で例えれば西独に比べ年間四百四十一時間、またアメリカに比べても二百五十四時間も多く働いているのだ。この勤働さゆえに、いまや日本は世界有数の経済大国となり、物質的な豊かさは既に飽食の時代を迎えたと評して過言ではない。

ここまで豊かな時代を迎えた背景には、むしろ遊ぶことしか知らなかった、むしろ働くことしか怖感を抱く世代(「アリ世代」)の人々がいた。ただし、先進諸国に達している「肌え」からの解放が達成されるや多く働く意味を失った人々が多くなって、「先進諸国」に言われていた。そして時代は今や「アメリカ消費社会」が終わり、代わって最先端技術を駆使した高度情報化社会を迎えようとしている。その視点は「重厚長大」から「軽薄短小」へ、「モノ」の価値から「ソフト」の価値へと移り代わりつつあり、ゆえには価値の相対化、多様化を招いている。この時代の担い手として、新しい生活様式を持つ遊んでくるとの得意な現代の若者世代(「キリギリス世代」)が登場して来



今後ますます技術革新のテンポが早まり、先端技術による生産性の向上は人々を長時間労働から解放し、余暇を増大させる傾向にある。現に西独では週三十五時間労働が見られ、日経新

高度情報化社会と教育

杉尾 榮 俊

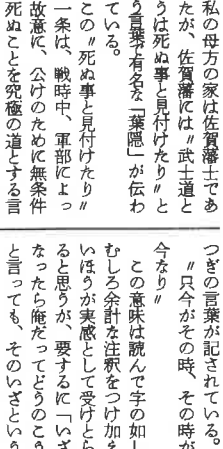


冷夏と予報された今年の夏は、記録的な猛暑となり、日頃第一線で奮闘に当たってられる隊員の皆さんは、さぞ大変であったろうと思つて。人工衛星、情報機器を駆使した最先端の科学技術と優秀なスタッフを持つとしても、予測が当たらないのは気象庁の怠慢ではなく、自然現象の予測というものは、かまも困難な業であると天が教えてくれたものと考える方がよいのだろう。

自然現象の予測は困難だが、人間が創り出す社会の変化については、ある程度見通せるのではないかと、対策は立てられるのではないだろうか。近頃のマスコミに、通信・情報・ハイテクノロジーといった言葉の登場した日はなく、EIN S・VAN・デル・ヒューク等々、初めは意味不明で首をかしげていた言葉も、耳なじみ、どうやら多少理解出来るようになってきたというが、私達の平均的現状認識だと思ふ。近頃は米見テレビ画面を見ながら、銀行口座の残高照会、支払い、振り込みが出来、百貨店の買い物から日常の惣菜までボタンひとつで購入出来る。調理方法はパソコンに尋ね、コンピュータ内蔵の電化製品が調理主婦は家事から解放されて自宅でカルチャーセンターとオンラインで結ばれた教養講座を視聴。新聞は通信衛星から内外のニュースがいつでもフタクソミリで入ってくる。在宅勤務も、一部の職種では可能になると思われ、現にワープロの作業等は、在宅勤務のパイロットの手によって行われる様になっている。そして在宅勤務が拡大すると、朝夕のラッシュは緩和され、都心中心の交通体系の見直しが必要とされる。

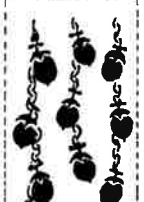
非常心

上田 俊 二



私の母方の家は佐賀藩士であったが、佐賀藩には「武士道」という言葉も有り付いた。この言葉も有名で「葉隠」が伝わっている。この「死ぬ事と見付けたり」の一条は、戦時中、軍部によって故意に、公けの為に無条件に死ぬことを究極の道とする言葉として利用された嫌いがあるが、「葉隠」の真意はそうではない。このあとに続く文句から解釈すれば「生きることにこだわって失敗するより、死を覚悟して事に当たったほうが武士道(を完うし易い)」というほどの意味である。

さて、この「葉隠」は元禄時代、佐賀藩に仕え、二代藩主光茂の歿後出家通世した山本神右衛門常朝の口述である。この書を著すの田代陣基が七年前にわたり聞書して全十一巻三十四三十三項目にまとめた。この文書は旧幕時代は公けにされること無く、明治三十九年になって、ようやく一部分が印刷公刊された。だから一般に知られていない。旧幕時代の佐賀藩士の教育に用いられたものではなく、いわゆる葉隠武士と呼ばれる人々のほんとは、実際には「葉隠」の存在すら知らなかったわけである。何故公けにされなかったかという点、「葉隠」の中には「事によりては、主君の仰けりをも諸人の愛相を忌みかして、だてを踏み回して打破のければ成らぬ事あり」といった、危険思想とも受けとられかねない部分もあるからだとされる。そのように、この文書には満腔自在なものの考え方が、随所に含まれている。その「葉隠」の関書の中に、



地震のときはこうしよう
警視庁が小冊子配布中
警視庁が「地震のときはこうしよう」のパンフレットを作成した。地震に対するあなたの心がまえ、地震のときはこうしよう、警戒宣言が発表されたらこうしよう、あなたの避難場所を分かりやすくイラスト入りでまとめている。またほかにも「ドライバーのため」と題する地震対策、さらにこれを英文でまとめたパンフレットも目下配付中である。ご希望の方は最寄りの警察署まで、無料。

発足十周年パーティー開催のご案内
昭和四十九年三月に発足した当励ます会は、今年で十周年になりました。この間、会員数も飛躍的に増え、全国的な規模に成長してまいりました。このことは、ご同慶の至りです。

来る十月二十九日に「発足十周年記念パーティー」を開き、次の十年間へ向けての決意を新たにすまいりたいと思っております。会員各位多数のご参加をお願いいたします。

なお当日は、来賓として警察庁長官、警視總監を始め浅間山荘事件等の殉職者のご遺族の方々もお招きしており、合わせて「十周年記念号」を配布する段取りになっております。

一、開催日時 十月二十九日(月) 十七時三十分～十九時三十分
一、会場 東京都港区虎ノ門四一ー一虎ノ門パステラル東京農林年會館 TEL〇三ー四三二一七二六一

- 社会正義実現
前進の機動隊
- 新東運輸(株)
 - 周東商会
 - 学嘉悦学園
 - 岡部
 - 光洋商事(株)
 - 日誠総業(株)
 - 東南貿易(株)
 - 高周波熱錬(株)
 - 姫田清美
 - 西戸榮一
 - 橋本尚吾
 - 加納保成
 - 松田鉄鋼(株)
 - 野口直志
 - 堀口海運(株)
 - 豊鋼材工業(株)
 - 大川鉄工所
 - 金森藤平商事(株)
 - 三星金属工業(株)
 - 柴田鉄店
 - 北海鋼機(株)

今月の言葉

「十年一昔」といわれ、世の中や人の移り変わりが、大体十年を一区切りにして著しい変り方をする、とき々、それ世の中の変化のテンポが緩かった「昔」の話。今日のより、年々、目まぐるしい変り方をする時代は、もはや通用しない。今の世の中の変り方は、まさに「一年一昔」と言ってもよいほどである。

人の変りよりも、今では昔のよう、単純に十代、二十代……と、世代ごとに区切ってみるわけには行かなくなつたようである。

最近、マスコミの注目を浴びて

ちなみに代表的な例を挙げれば、今年の新人社員は「コピー食品」型で、昨年は「麻雀牌」型であったとか。事実、これは若い人に直接間接いた

一年一昔

話だが、大学等や学年が違つると、同じ世代の学生でも、もの考え方がある。これは、毎年の新人社員の特徴をエッセンスに表現したものであるが、一年ごとに、明らかに異なる。たパターンのあることがうかがえる。

なり、変化は、「一日一昔」ということにもなりかねないであろう。もっとも、それは言つても、言葉として通用するのは、せいぜい

「一年一昔」ぐらいまで。「一日一昔」となると、もはや「昔」の概念は失せてしまふことになるが……。

それにしては、長年に亘つて「十年一昔」の古き良き時代を享受することのできた老生の、愚にもつかぬ懐古癖とも申すべきか……。

それはともかく、万事激しく揺れ動き不安定な今の世の中であつて、わが国の治安が世界一平穏に保たれていることは、何としてもありがた

▼ 発足十周年記念パーティーを十月二十九日(十七時三十分)十九時三十分、東京都港区虎ノ門四一―一虎ノ門バスター東京農林年金会館(TEL〇三三四三二七二六一)で開催します。会員多数のご参加お待ちしております。

▼ 北陸支部総会十一月二十八日(水)十七時より新潟湯グラントホテル・ピカデリ―宴会場で開催致します。ご参加のほどを。

▼ 寄付金谷本隆路氏より九月十八日付で百万円頂きました。当励ます会の運営に有効に役立たせて頂きます。厚くお礼申しあげます。

▼ 内田順夫氏心不全のため九月十九日逝去されました。故人は当励ます会の理事で、千葉支部の発足以来世話人代表として当会発展に並々ならぬ貢献をされました。改めて敬意を表すると共に御冥福をお祈り申し上げます。

平和への挑戦許さない

大衆の支持得て厳戒態勢

テロ多発化の懸念

九月十九日起こつた自民党本部放火事件は、民主主義に対する許せない挑戦である。テロ攻撃の再来とも言われているが、治安第一と評価されているわが国の、しかも首都でこの種の放火テロとなる、まさに平和主義への正面からの挑戦というほかなない。

中核派を名乗る犯行声明があつたが、こうした新左翼の過激的な暴力闘争は、これからは多発化の傾向あり、しかもゲリラ技術は高度化してきている。とくに目先は、成田空港二期工事反対に組織の存命をかけて中核派以外の各セクトの動きも活発化しており、八月から一ヶ月半余の間に起きたゲリラ事件は十二件にも達した。

警備の強化は当然のことであり、警視庁では新東京国際空港公団や警備施設などほか、過激派が攻撃の対象にしてきた「政府・公団」施設の幅を広げ、警備強化を決めたが、こうした警備は機動隊が軸になる。

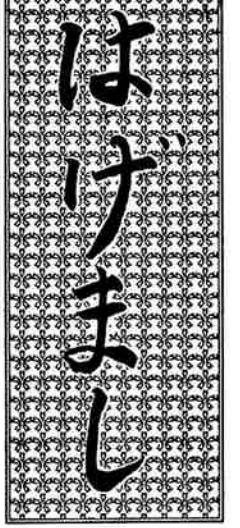


井筒警察庁長官と下柳耕吉警視總監が九月二十一日、勇退を決め、政府、国家公安委員会に辞意を伝え、承認を得た。

三井長官は在任三年四月余り、下柳警視總監は二年四月に及び、それぞれ警察庁、警視庁のトップとして現在の警備公安体制を築き上げた。とくにこの任は水も濡らさぬ厳戒態勢で成功させ、内外の評価は極めて高いものがあつた。

☆ 十一代目警察庁長官 鈴木貞敏氏(すずき さだとし) 東大卒。昭和二十三年警察庁に入り、官房長、刑事、警備、警務局長などを経て五十七年五月から警察庁次長。五十八歳。

七十四代目警視總監 福田勝一氏(ふくだ かついち) 東大卒。昭和二十五年自治庁に入り、警視庁副總監、内閣調査室長などを経て五十七年五月から警察庁警務局長。五十八歳。



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
千104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

成田用水工事着工で厳戒

九月末の成田用水着工も緊張した空気に包まれた。成田空港建設による騒音地区への見返り事業として千葉県などを進めている成田用水着工のくい打ち、測量が二十五日に始まったが、三里塚反対同盟に中核派など支援セクトを加えて連日、数百人が

集会・デモ・シュプレコール等で反対した。

千葉県警は警視庁の応援も含めて機動隊員等六千人の警官を動員する厳重な警戒態勢をとり、二十五日から三十日までの工期中に、機動隊員に泥を投げつけたり、公道を阻害する反対派五十六人を公務執行妨害の現行犯

で逮捕した。

今回の成田用水着工作業を見守っていた地元住民は「この用水は空港が出来る前から農民の悲願だった。反対するのはおかしい」と語っていたが、いざこれにしても機動隊員は大衆の支持を得て黙々と治安の維持に励んでいる。

警察二首脳が交代 引続き治安に万全

後任の警察庁長官に鈴木貞敏氏、警視總監には福田勝一氏が発令され、長官は九月二十五日、総監は十月一日に交代となった。

折からの自民党本部放火事件でみるように、過激派のテロ、ゲリラ事件は多発の傾向にあり、不透明、混沌とした時代は続きそうだが、国民の願ひとする平穏な生活は、両氏の治安における手網さばき、さらに機動隊員の日夜を問わない精励によって、しっかりと守られることが期待されている。

レンジャー訓練

七機 武田和彦

陸上自衛隊習志野駐屯地。そこは約一週間の教育課程を終了した隊員が、約一週間の教育課程を終了した隊員が、約一週間の教育課程を終了した隊員が...

合気道

八機 栗城光喜

財団法人合気道連盟本部道場において、館長先生を始め諸先生を講師として、日々厳しく訓練に励んでいる事に変わりはなく...

警護専科

九機 木津豊志

昨年九月五日から約一か月間警護専科に入学した警護員として必要を法知識の教授を受けることになり、連日、柔剣道・合気道・マラソン等汗を流した。

白バイ

特車 郷田恵司

昭和五十八年八月二十一日から十月一日までの間、第六十三期自動車二輪乗務員免許科講習のため、自衛隊朝霞駐屯地内に警視庁白バイ訓練所へ派遣された。



相は車に乗せず、そのまゝ反対側歩道上の一般歩行者の方へ向かって歩き始めた。この予想もしなかつた出来事、一瞬の遅れに首相の前方五十六メートル先に配置換して一般歩行者の整理誘導に当たり任務を遂行することになった。

白バイと共に地面に倒れないだけでも良い方である。体力を使えば果たした体で、二百五十キロもある白バイを起すのは容易である。

北から南から 関西国際空港着工にも備える 大阪府警察第一機動隊 一 沿革 大阪府警察機動隊は、昭和二十三年一月三日、第二次世界大戦後速やかに治安を回復するための強力な集団警備力として...

超人的隊員の養成に努力 山梨県警察機動隊は、昭和三十三年四月一日に山梨県警察機動隊として独立した。隊舎は、中巨摩郡竜王町の山梨県警察学校隣に建設され、現在に至っている。

山梨県警察機動隊 流れる釜無川の土手に集まっては、ランニングを中心とした体力づくりの汗を流している。三 出動例 昭和四十四年十一月の「大菩薩山荘事件」をはじめとして、北富士闘争、恒常的となつた北富士闘争にかかわる出動や...



「空中で活動する事は、人間にとって一番恐怖心を抱くものである。それ故に、恐怖を乗り越えて行く訓練が必要である。又現在の治安情勢から、悲しい事だが近い将来必ずレンジャー部隊が必要とされ出動する日が来る事は間違いない」との事である。

「我が命は綱であり、綱は生と死の境界線である。しかしその綱の行手には、もう一つの命が我々を待っている。この言葉の通り、ザイルは私の命であるだけでなく、ザイル一本一本に多くの尊い人命がかかっている事がある」とも、ザイルとともに歩んで行く。

ことし、臨機応変、いくつかの単調な基本技を組み合わせた。その中、正確さとスピードとパワーが要求される。基本技の組み合わせとては、逆に言えば、合気道には無数の技があるといえる。小さな小さな力で、無駄なく安全に最大限の力(効果)を発揮することが、合気道の目指す理想像だ。

昭和五十八年八月二十一日から十月一日までの間、第六十三期自動車二輪乗務員免許科講習のため、自衛隊朝霞駐屯地内に警視庁白バイ訓練所へ派遣された。

状況 日常の勤務 (1) 大阪府警察機動隊、関西国際空港連絡施設、関西国際空港連絡施設、領事館等防衛警備 (2) 治安警備全般及び雑務、災害警備等に従事している。

訓練状況 一 訓練状況 精強な機動隊づくりを目標に治安総合警備訓練を実施して本部長との合同による災害警備訓練を実施して、また特殊警備訓練として、レジャー、アクアラング、対銃器及び爆発物処理訓練を計画的に実施している。

二 日常の勤務及び訓練 隊の一日は、訓練(正面玄関横に設置された隊列訓練(誠実、勵励、精進)に散礼して、隊員を自らの心に刻み一日が始まる。勤務は日勤制であり、各種警備活動するほか治安警備訓練を中心に、災害警備、爆発物処理、レンジャー、特殊銃、山岳救助、柔剣道等の訓練に励んでいる。

三 出動例 過去に主な出動事例は、(昭和二十三年四月)朝鮮人学校閉鎖をめぐる騒擾事件、(昭和二十七年六月)日共の武装闘争指令による吹田騒擾事件、(昭和二十四年九月)伊勢湾台風来襲に伴う約一ヶ月に及ぶ災害警備応援出動、(昭和三十六年八月)西成(あいら心)第一次騒擾事件警備、約五千人の群衆が暴徒化し、延べ九万二千人の警察官を投入、(昭和四十五年四月)天六ガ三爆発騒擾事件、七十九名死亡、(昭和四十五年)三月から九月万国博覧会警備、(昭和四十七年五月)千日デパートビル火災警備、百十八名死亡、(昭和五十四年一月)三菱銀行北島支店強盗殺人並びに入質たてこもり事件、殉職二名、(昭和五十九年)二月十日、関西国際空港関係協議会で新空港第一期工事内容が承認され、昭和六十一年度着工、昭和六十七年第一期完成に向けて、今後本格的な反対闘争が予想される。

読者の広場



ラグビーの思い出

加納 保成

旅に疲れた膝をシートにうめ心地よい睡魔に襲われている。目はもうろうと、機窓より遠く富士山を眺めながら、飛行機は左翼を下げて左旋回をしながら、早くも高度を下げていた。

眼下はあざやかな緑におおわれ、波うつ山々の中になつかしく煙立つ機間を見つけた。この連山の近くに菅原高原があるはずである。菅原は、学生時代に毎年ラグビーの夏合宿で、ポロ雑布のようになるまで鍛えられた思い出多き場所である。

心臓は今にも破れんばかり、すねは生傷が絶えず、筋肉は疲労し、自分の膝であるのに手も足も思うようにはならない。

トイレの大きい方は、座る時には引力のお陰で容易であるが、立ち上る時は一苦勞であった。天井より下げた粗織を頼りに立ち上ったのだが、今思えばふき出す思いである。

夏の菅原は、午後三時頃になるとほぼ定期的な濃霧がやってくる。この霧は都会では想像が出来ないくらい深い。一寸先が見えないので、練習は体力作りの走行練習となる。

疲れ切ってやっと立っている

体育の日に想う

南川 義宣



「短期盛夏」の予想から一転し、雨なし、長い酷暑となった今夏の日本列島は、連日(連夜)三十度を超す暑さがつく太陽の下、海や山はスポーツに、涼を求め、都会を脱出した人々の波で、列島全境は記録的な人出で沸きかえった。

又、盛夏のさなか、ロサンゼルス五輪は八月二日、メダル獲得三十二個、まずまずの活躍で幕を閉じた。傷つきながら超人ダルの輝いた柔道の山下、超メカール・ルイスの四冠達成、メアリデッカーの涙の転倒、そして女子マラソンでは、アルデルセン・シーヌの壮絶な完走、SBE YOU IN SPOULの電光石火で消えたさようならロスの閉会式等、数々のドラマは多くの人に深い感動と興奮を与えた。

さて十月十日は「体育の日」である。昭和三十九年東京で開催されたオリリンピックを記念したものと記憶している。

体育とは「健全な身体の発達を促し、運動能力や健康で安全な生活を営む態度等を養うこと」を目的とする教育」と広辞苑に記されている。東京オリリンピックを記念するに、「スポーツの日」とか「オリリンピック記念日」とか、「体育の日」と名付けたのは、この日を機に、運動と健康に関心を深めるようにとの願いを強く感じる思いである。

およそ体育は、学校にいる間は盛んに行われるが、学校を出て社会人ともなると、とかく無関心になってしまいう人が多くなる。

自分は健康であるからその必要がないとか、関心はあるが運動する場所がない、施設がない、あるいは仕事が忙しくてとても運動する時間がないというのがその理由である。

運動は肥満を解消し、糖尿病の治療効果を上げる両輪の機能があるという。健康ならバスや地下鉄に乗っても一駅手前で歩くとか、エレベーターを使わずに階段を上り下りするよう心掛けることである。

健康管理の先進企業では、専属トレーナーによるトレーニング機器による運動の取入れ、社内健康診断でチェックされた肥満や成人病傾向の社員にマンツーマンで運動を指導している。

「体育の日」を契機に、あれがないこれがない、というのでなく、それぞれの身体条件に合わせて「歩く」「走る」「体操する」など身近なところで、創意工夫をこらして健全な身体づくりに努力していきたいものである。

歳月

長崎市南ヶ丘町 塩田 光男

長崎を語ると、遠い昔四百年の歴史があり、現在の長崎は造船、水産、観光産業で県・市の行政は成立していると思えます。長崎の町は御承知と存じますが、地形が「ち」となっており、港は四方の山に取り囲まれておりますので、その夜景は素晴らしいもので、港に浮かぶ本船の光、山なみの街の光が港面に



円を越えるという大惨禍を受け、市民が一体となって復興に努力した結果、今年三月には眼鏡橋の復興工事も完了致しました。

巡は、観光と人情の街で育ちました。昭和五一年三月に高校を卒業して警察官採用試験に合格。四月二日に中野の警察学校に入校しましたが、入校日の思い出を私は今だに忘れる事が出来ません。

高校を卒業してやれやれと思った矢先に、規律の厳しい生活に入るといふ心構えを身につける余裕がなかった面があったからなあさらです。

讃歌

長野県佐久市 小池 敏夫

五月晴の澄み渡った空
信濃の春は遠く高冷地故か佐久の平は
桜桃と一度に咲き出す草木
各地より遅れ乍らにも終わった花見
いよ山菜採りや川魚と賑やかな季節
雄大な山々
北に浅間山 東に荒岳
南に八ヶ岳連峰 西に葦料中央を千曲川の清流が流れる
文字どうりの山菜水明の地
四季あふむ自然がおりなす讚歌の中で育んで来た日々
一人二人と三人の男の子供達が
一人だけでも家と思いつら
男子一度他人の飯を云はれ
離れて行く姿 今は成人して

人口急増県に的確な対応

奈良県警察機動隊

奈良県機動隊は、昭和三十一年四月二十七日に発足した。創立時は警部を長とし、旧奈良県警察学校の一隅を借借する極小規模な組織であった。

現在は、執行隊合同庁舎として新築され、奈良市に所在する奈良県警察本部第一庁舎が隊本部であり、勤務の本拠である。

二 日常の勤務状況
隊の編成は柔剣道及び一般隊に大別され、若干名のけん銃特員のみ一般隊に編入されている。

勤務は日勤制をとり、毎朝八時三十分庁舎前に集合し隊長点呼の後、国旗掲揚で一日が始まる。

日課の大半は警備訓練に時間を割き、特に治安警備を主眼として、災害、雑路警備、山岳遭難救助、レンジヤ等を行う。また、爆発物処理訓練にも力を注いでいる。

一方、警備出動や警備訓練以外では、各署への支援活動も行っている。各分隊単位で各署へ派遣し、巡回連絡、警ら、交通取締り、周辺み捜査等を行う。

三 出動例及びエピソード
奈良県は、県北及び中南部を中心に宅地開発が進み、大阪、京都、神戸市のベッドタウンとして全国屈指の人口急増県である。これに伴って犯罪発生率も高く、その内容は日増しに都市型犯罪の模相を呈している。

このため機動隊が出動する機会も極めて多く、警備部門に限らず刑事、交通、保安の各部門にも及んでいる。出動回数は、毎年ゆうに百回を越えている。

最近の出動事例を挙げると、
(一)大淀町立旭ヶ丘小学校における「差別発言」問題に伴う警備
(二)勝共連合総一評議会(右翼)の街宣活動に伴う警備
(三)沿道徳仁親王殿下お成り及び槍突傷
中国首相来県に伴う警備警備
(四)台風十号による災害警備
(五)山口組系暴力団対立抗争事件に伴う警備
(六)真正爆発物発見に伴う爆発物の処理(処分)食肉流通センター建設反対闘争に伴う警備など各部門に及んでいる。

果ては肉流通センター建設反対闘争でエピソード。警備出動する前に隊長から特に「相手は女性や子供が殆どである。実力行使に藉口して手荒なことは絶対するな」と厳命された。警備実施が始まると、どうしたことかスマートな女性が優先して排除され、比較的重量の女性だけが排除されたに似ていた。このため、中には「私も運んで!!」という婦人が現れた。

今後とも全隊員が一致団結し、警備警備の万全を期すべく、鋭意精進していく決意である。

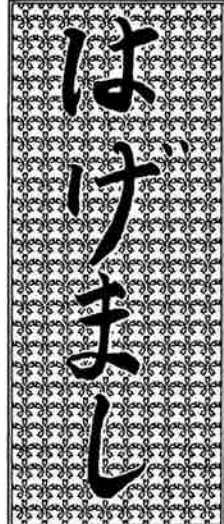
- 鍛える機動隊
- 山陽特殊製鋼(株)
 - 小川運輸(株)
 - 津田鋼材(株)
 - 東鋼業(株)
 - 山鉄商(株)
 - 関東鉄鐵(株)
 - 上野百貨店(株)
 - 高周波熱練(株)
 - 廣慶太郎
 - 浅田弥三郎
 - 光洋商事(株)
 - 谷本鉄鋼(株)
 - 宮崎精鋼(株)
 - 広畑海運(株)
 - 豊田通商(株)
 - 岡谷鋼機(株)
 - 丸橋正彦
 - 自見産業(株)
 - 早達運送(株)
 - 北越メタル(株)
 - 佐藤製線所(株)

これからの10年へ決意新た

はげましの輪を拡大



機動隊員等が励ます会は今年で満十年になった。いままでの十年に甘んじることなく、これからの十年へ向けての決意新たに...



発行所
社団法人 機動隊員等励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

にといった意味合いを含めて、発足十周年記念パーティが十月二十九日十七時三十分から東京・農林年金会館で開催された。現職および歴代の警察庁長官、警視總監、また浅間山荘事件等殉職者の遺族や励ます会の発展にご協力頂いた政界の実力者を招き、北海道から九州までの全国各地から参加した会員等合計六百人以上の大盛況である。



さらに充実の決意
大内俊司理事は、満十年をひと区切りとしてこれからも励ますの輪をさらに大きく発展させていくと挨拶した。
—感謝状を頂いて会員一同嬉しく思っており、お礼を申し上げる。当会が発足したのは昭和四十九年三月だが、その前に有志がこの会の発足に尽力してきた。世情騒然とした時代で、火災びんや石を投げられながらも、じっと耐えている機動隊員の治安一筋の姿に、立ち上がる市民が少なくなかった。
十年過ぎた現在、会員数は三百八十五名から一万二千名に増え、組織も社団法人として東京本部と全国で八つの支部を数えている。

感謝と敬意を表す
来賓祝辞として鈴木貞敏長官は、励ます会が警察の精神的な支えになっていることを次のとおり語った。
—励ます会はこの十年間で立派に軌道に乗った。機関誌の発行、本部・支部総会および懇親会での励み、また殉職者や自傷者に対する弔慰、慰問など活動の輪を拡大、感謝状だけでは言い尽くせない。改めて厚く謝意を表す。
内外情勢をとり巻く環境はいぜんとして厳しく、治安は樂觀を許さない。機動隊員など警察関係者は有事即応の態勢で、精神的・肉体的に訓練を積み重ね、期待に応えていく。

記念号を発行・配布
なお十周年に当たって「はげまし十周年記念号」が発行配布された。
副理事長の閉会の辞で幕を閉じるともあれ、次の十年間へ向けて会員一同の努力で、警察と国民を結ぶかけ橋となる当会の今後の益々の拡がりが見込まれている。



励ます会へ感謝状
励ます会鈴木貞副理事長の力強い開会の辞で始まり、鈴木貞敏警察庁長官から励ます会への感謝状を大内俊司理事長が代表して受けた。—貴会は昭和四十九年三月以降十年余りの長期にわたり、積極的に機動隊員等の激励および警察活動に対する国民の理解増進と道法精神の普及高揚に尽くされた。ここにその業績をたええ深く感謝の意を表します。
機動隊員等の警察治安によって国民が平穏に暮らしているが、空気の大事さと同じように、平常時はやますれば感謝の念を忘れがちである。このため各支部でも支部総会を開いて、励ますの精神をその都度かみしめている。基礎固めの十年間から次の十年間をさらに充実していきたい。



機動隊の姿を見て、不条理な一部世間の風潮を憤る国民の声が、今日の励ます会の背景となっているが、理事長を始めとする会員の熱意溢れる励ましには感謝あるのみだ。
懇談は和気あいあいとして最高潮に盛り上がり、励ます会佐々木喜朗理事の発声による「日本の法秩序維持のため、励ます会が一段と発展していく」ことを祈願しての万歳三唱、鈴木貞

副理事長の閉会の辞で幕を閉じるともあれ、次の十年間へ向けて会員一同の努力で、警察と国民を結ぶかけ橋となる当会の今後の益々の拡がりが見込まれている。

今月の言葉

孫十三巻、計篇に「これを経するに五校の計(はかりごと)を以てす」という言葉がある。戦いに臨むに当り、一に道、二に天、三に地、四に料、五に法の五要素を検討すべしとある。
「道」とは指導者の志と民心の一致。「天」は季節のすべて。「地」とは地形・地理。「将」とは指揮者。「法」とは軍隊の編成、規律であるという。この五要素を敵味方比較検討し、いずれの要素も敵に優るとき戦いに勝つ、いずれが劣れば負けると論じている。(諸橋轍次著、中国古典名言事典)
機動隊は、自衛隊とは区別される

五校の計

べきと思うが、治安を乱す犯罪者とりわけ優秀な知能と組織力・統率力を持つが、狂信者と思われる集団との戦いに備える心構えとしては、

を利用・計算して大勝を得た信長の桶狭間の戦いを鑑とするまでもなく、戦いには必須の合理的要因である。民間企業経営においても、公的機

もらいたい。
これらの要素を常に敵より勝るものに維持し続けることが、世の指導者に求められるべき道である。一瞬の油断も許されぬ苛酷な道である。
第一に「道」の正しからざる者、民心の一致を得られず、第二に「天」を読み得ざる者、運に見放され、第三に「地」をわきまえず、泥沼に足を滑らせ、第四に「将」を育て得ぬ者、前線の指揮官に人材を得ず、第五に「法」を軽視する者、軍規は乱れる。
機動隊幹部諸兄並びに会員諸兄共々に、以て鋭すべしと考える次第である。

続いて、江崎真澄警務院議員が、励ます会の発足に至るまでの経緯とともに会員の熱情に感謝と敬意を表するとして祝辞を述べ、乾杯の音頭をとった。
—励ます会発足十周年記念おめでとうと同時に、ここまで成長したことに対しては会員の皆様に、「苦勞無き」とくに申しあげたい。
自分は防衛庁長官も務めたが、自衛隊よりも警察は毎日が問題を抱えており、それだけに大変だ。機動隊員は若い優秀な人材が揃っていて心強い。
当時の過激派の暴力に耐える

大内俊司理事長
あめでとらうございます
秋の叙職で、勲三等旭日重光章を受章された。喜ばしい限りである。
大内理事長は昭和十三年に日本製鐵へ入社、新日本製鐵常務専務、副社長、常任顧問を経て五十五年六月から山陽特殊製鐵社長、鉄一筋に歩まれ、鉄鋼業界の実力者であることは周知のところだが、当励ます会の生み

機動隊生活を振り返って 退隊にあたり

警視庁機動隊

隊員の異動期である。新入隊員を迎えるとともに、ベテランは満期で退隊していく。在隊期間中のことも、思いを胸に、それぞれが新天地へ赴くが、今月号は見事昇任試験に合格し、晴れて退隊を迎える方々に、その感想を綴

って頂いた。「機動隊は男の職場であり、全力を燃焼する場所である」と語り、青春の真つ只中を機動隊で過ごせたことに誇りを持っている。これからは各部署で機動隊魂が生き続けていく。

近衛の一機に誇り

一機 矢野高弘

「近衛の一機」と称せられる一機に就任してから四年になる。私が退いた機動隊は、まさに男の仕事である。「二十代に何をなすべきか」と問われれば絶対に「機動隊生活です」と断言する。「鉄は熱いうちに打て」という諺があるが、機動隊は、若い力を発揮し自分の限界に挑戦する場所として、最高の条件を備えている。私の青春も機動隊そのものであり、沢山の思い出が溢れた。

管区入校のため、機動隊の在隊生活はまもなく終ろうとしている。思い出せばこの六年間に、成田警備、サミット警備、新潟、香原警備等の大警備を経験できたことは、私の血となり肉となつて、これからどのような警備にも適切な対応ができるという自信がついた。

「本庁舎警備」警視庁の顔である。誇りを持って「一言」を合言葉に、毎日多くの市民が警視庁を訪れる。最初に都民が警視庁を訪問する。四万四千人の職員を代表しているのだと自らに言い聞かせ「勤務態度は明るく元気にキキキ」をモットーに、都民に接している。

管区入校のため、機動隊の在隊生活はまもなく終ろうとしている。思い出せばこの六年間に、成田警備、サミット警備、新潟、香原警備等の大警備を経験できたことは、私の血となり肉となつて、これからどのような警備にも適切な対応ができるという自信がついた。

「本庁舎警備」警視庁の顔である。誇りを持って「一言」を合言葉に、毎日多くの市民が警視庁を訪れる。最初に都民が警視庁を訪問する。四万四千人の職員を代表しているのだと自らに言い聞かせ「勤務態度は明るく元気にキキキ」をモットーに、都民に接している。

管区入校のため、機動隊の在隊生活はまもなく終ろうとしている。思い出せばこの六年間に、成田警備、サミット警備、新潟、香原警備等の大警備を経験できたことは、私の血となり肉となつて、これからどのような警備にも適切な対応ができるという自信がついた。

「本庁舎警備」警視庁の顔である。誇りを持って「一言」を合言葉に、毎日多くの市民が警視庁を訪れる。最初に都民が警視庁を訪問する。四万四千人の職員を代表しているのだと自らに言い聞かせ「勤務態度は明るく元気にキキキ」をモットーに、都民に接している。

管区入校のため、機動隊の在隊生活はまもなく終ろうとしている。思い出せばこの六年間に、成田警備、サミット警備、新潟、香原警備等の大警備を経験できたことは、私の血となり肉となつて、これからどのような警備にも適切な対応ができるという自信がついた。

「本庁舎警備」警視庁の顔である。誇りを持って「一言」を合言葉に、毎日多くの市民が警視庁を訪れる。最初に都民が警視庁を訪問する。四万四千人の職員を代表しているのだと自らに言い聞かせ「勤務態度は明るく元気にキキキ」をモットーに、都民に接している。

管区入校のため、機動隊の在隊生活はまもなく終ろうとしている。思い出せばこの六年間に、成田警備、サミット警備、新潟、香原警備等の大警備を経験できたことは、私の血となり肉となつて、これからどのような警備にも適切な対応ができるという自信がついた。



「中隊員」

克己心

四機 関 正夫

私が、四機に就任したのは昭和五十五年十月である。早いもので、四年の歳月が流れた。数多くの大警備を経験したり、新東京国際空港警備隊の一員としての出向等、この四年間は、私の警察人生において充実したものであったと確信する。

「永遠の今」という本であった。そうである。それは、一瞬一瞬を充実して生きることは永遠に生きるという意味である。

「本庁舎警備」警視庁の顔である。誇りを持って「一言」を合言葉に、毎日多くの市民が警視庁を訪れる。最初に都民が警視庁を訪問する。四万四千人の職員を代表しているのだと自らに言い聞かせ「勤務態度は明るく元気にキキキ」をモットーに、都民に接している。

「永遠の今」という本であった。そうである。それは、一瞬一瞬を充実して生きることは永遠に生きるという意味である。

「本庁舎警備」警視庁の顔である。誇りを持って「一言」を合言葉に、毎日多くの市民が警視庁を訪れる。最初に都民が警視庁を訪問する。四万四千人の職員を代表しているのだと自らに言い聞かせ「勤務態度は明るく元気にキキキ」をモットーに、都民に接している。

「永遠の今」という本であった。そうである。それは、一瞬一瞬を充実して生きることは永遠に生きるという意味である。

「本庁舎警備」警視庁の顔である。誇りを持って「一言」を合言葉に、毎日多くの市民が警視庁を訪れる。最初に都民が警視庁を訪問する。四万四千人の職員を代表しているのだと自らに言い聞かせ「勤務態度は明るく元気にキキキ」をモットーに、都民に接している。

「永遠の今」という本であった。そうである。それは、一瞬一瞬を充実して生きることは永遠に生きるという意味である。

「本庁舎警備」警視庁の顔である。誇りを持って「一言」を合言葉に、毎日多くの市民が警視庁を訪れる。最初に都民が警視庁を訪問する。四万四千人の職員を代表しているのだと自らに言い聞かせ「勤務態度は明るく元気にキキキ」をモットーに、都民に接している。

「永遠の今」という本であった。そうである。それは、一瞬一瞬を充実して生きることは永遠に生きるという意味である。

「本庁舎警備」警視庁の顔である。誇りを持って「一言」を合言葉に、毎日多くの市民が警視庁を訪れる。最初に都民が警視庁を訪問する。四万四千人の職員を代表しているのだと自らに言い聞かせ「勤務態度は明るく元気にキキキ」をモットーに、都民に接している。

「永遠の今」という本であった。そうである。それは、一瞬一瞬を充実して生きることは永遠に生きるという意味である。

「本庁舎警備」警視庁の顔である。誇りを持って「一言」を合言葉に、毎日多くの市民が警視庁を訪れる。最初に都民が警視庁を訪問する。四万四千人の職員を代表しているのだと自らに言い聞かせ「勤務態度は明るく元気にキキキ」をモットーに、都民に接している。

「永遠の今」という本であった。そうである。それは、一瞬一瞬を充実して生きることは永遠に生きるという意味である。



「中隊長の一言に燃ゆ」

二機 小川 進

「再来を念じて」

三機 大谷 聖

「克己心」

「負け魂」

「六機 高橋 弘」

先遣団首脳会議（東京）... 警備では、当隊は羽田空港...

「機械は力なり」と言うのが... 締めないで最後まで頑張れば...

昭和三十七年二月二十八日... 当時昭和警察署で勤務していた...

がとうござい、ました。この隊長の... 謝辞が聞かされた時は、無事やり...

ばいであるが、今後の警察生活... 自信を持って行動できるよう...

完遂しなければならぬ。従って... 無事終了し、万全の警備が...

山岳遭難救助も主要任務... 長野県警機動隊は、昭和二十...

長野県警機動隊... 昭和四十七年の「連合赤軍機...



退隊に思う... 昭和三十四年八月二十六日、...

この四年余りの機動隊生活を... 振り返り、昇任試験合格とでき...

一、沿革... 長野県警機動隊は、昭和二十...

一、沿革... 昭和三十七年十月一日に特別...

昭和三十七年四月... 五十五年四月着隊以来、満四...

機動隊は、時代の流れとともに... 重要な任務を背負っている。

警備事象に迅速的確な対処... 昭和三十七年四月に新築...

滋賀県警察機動隊... 全員が治安、災害、雑務警...

男の舞台... 大崎清孝... 五十五年四月着隊以来、満四...

機動隊は、時代の流れとともに... 重要な任務を背負っている。

警備事象に迅速的確な対処... 昭和三十七年四月に新築...

滋賀県警察機動隊... 全員が治安、災害、雑務警...

北から南から... 昭和三十七年四月... 五十五年四月着隊以来、満四...

機動隊は、時代の流れとともに... 重要な任務を背負っている。

警備事象に迅速的確な対処... 昭和三十七年四月に新築...

滋賀県警察機動隊... 全員が治安、災害、雑務警...

やる気を持つ... 七機 石川精治... 私は、昇任し配置になったら...

新隊舎の思い出... 八機 後藤邦彦... 昭和三十七年四月... 五十五年四月着隊以来、満四...

北から南から... 昭和三十七年四月... 五十五年四月着隊以来、満四...

北から南から... 昭和三十七年四月... 五十五年四月着隊以来、満四...

読者の広場



誤差の範囲

曾根 貞雄

私が、中学生の頃であったと思ふ。あまり定かではないが、確か算数の科目の中に「誤差の範囲」というのがあった。計算に関連した数字のどれかに誤差がある、計算した答えは必ず誤差が生じるので、その誤差の範囲、即ち有効数字の範囲を計算する方法であったと思ふ。

我々の企業も、ある意味ではこれに似たものではないか。いくら汗水たらして働いても、適正な利益を得なければ企業として成り立たず、又、折角適正な利益を得ても、無分別に費つてしまえば同じことである。

ところが算数と企業とは、本質的に計算数値のとらえ方が違つてゐるため、計算するにしても経営方針等によつて数値に変動をきたす場合が多く、又企業の各要素は複雑多岐で必ず誤差を伴つており、その範囲も不確定な場合が多いので、単純な算数の誤差の計算とは全く異質なような気がするが、そうとばかり云えない面もある。

一時期各企業が盛んに採りあげられたTQC活動は、まさに企業としての誤差の計算を外さないのではなからうか。

このようになかなか捕まへにくい企業の誤差も、なかか突出したものであれば必ずどこかで発見され、殆どものは企業内部で処理されてしまふ。一部の内部処理不可能なものは何億円



つまみ食い事件等として新聞の社会面を賑わし、又は倒産の憂目を見ることになつてしまふ。広く社会全体を見渡した場合も、全くこれと同じようなことに気が付いてくる。戦後四十年、経済大国・平和大国として躍進し、世界各国から羨望されてゐる我が国にも、依然として暴力行為やその他色々な無法行為が後を絶たないからである。

これら一般社会の突出した誤差を、できるだけ小さいうちに身を凝して、しかも黙々と適切に処理してゐるのが機動隊の活動ではなからうか。

大が人を噛んでもニュースにならないが、人が犬を噛んだらニュースになるとよく云われる。それを背負つた者には、たとえそれが正義の行為であってもあらゆる角度から批判されることも多い。一面、これが平和と自由のシンボルであるといえない時代もたまたまレレで、機動隊の活動の場面を見ることがあるが、思わず「苦勞さま」と口走つてしまふことが多い。機動隊の背後には、沈黙の声を送つてゐる多くの者がいることを意識して欲しいものである。

北方領土を思ふ

滋岡 長平

有吉佐和子さんの計報を聞いて間もなく「日本の島々、昔と今」と云ふ著書を買求めて通読した。五十五年頃我が国をめぐると十二の離島とその周辺を調査したルポルタージューで、此の作家のジャンルの広さと真識に深い感銘を受けた。

その中で竹島、尖閣列島、千島列島は共に今日の問題を含んで居るが、特に解決困難な国民的課題は云ふ迄もなく最後の所謂北方領土である。

最近ある必要から、近世史を勉強して居る私に取つて興味があつたのは寛政、化政期、天保から維新にかけて幕藩制の崩壊を内政面で食ひ止めようとする為政者達に断絶して重くのしかかつて来た色々々北辺の出来事を、簡潔に整理して居る点である。

千島及び樺太は特に十八世紀以来、最上徳内、近藤重藏、間宮林蔵、高田屋嘉兵衛、松浦武四郎等の勇敢な先覚者達が先達となつて探検し開拓して来た地域である。

従つて安政元年(一八五四年)十一月の日露和親条約では、エトロフ以西は日本領土と規定され、明治八年(一八七五年)日露間で締結された樺太千島(北千島)交換条約では、平和裡に全千島は日本領と決定されて居る。

然し一九四五年一月のヤルタ會議では、米英ソ間にソ連の対日参戦を条件に樺太は勿論、千島もソ連に與えるとの密約があつた上、敗戦直前に我が国に対しては中立国であつたソ連は全千島を占領して今日に及んで居る。

一九五二年効力のサンフランシスコ講和条約では、日本は千島を放棄することを宣言させられた。ソ連はこの条約に参加せず、一九五六年に漸く結ばれた日ソ共同宣言では領土問題に就いてはハバロマイ・シコタンに就いてのみ規定して居る。

日ソ間の領土問題は未解決である。我々は認識して居り、第二次大戦中暴力に依る領土の侵略は認めないと云ふ連合国の諸宣言にも拘はらず、ソ連は占領以來南北千島を戦略拠点として基地化し、領海二百哩の唱導と共に漁業基地等を建設して既成事実を積み上げて居る。

我が国は這般の複雑な情勢から一九五六年の交渉以來、南千島即ちエトロフ・クナシリ・礼島と、北海道の属島であるシコタン・ハボマイ諸島の返還を主張して来た。

この四島の地誌に就いて、有吉さんは数名の各島出身者の口から語らせて居るが、驚いた事には予想と異なつた案士と云ふ印象である。

海洋性気候で北海道より温暖であり、冬も雪は積らず根柢は青々として牛馬は放牧で越冬が可能であり、清水にも恵まれ野菜の栽培も出来る。紅藍の嶺上する川もあり、海草貝類等の海産物は豊富であり、強制退去させられた数方島民の望郷の念を絶つことは出来ない。

ソ連が領土問題に解決済と如何に強弁しても、固有の領土である南千島の返還は、国民一致して、中断することなく要求して行くべきであると思ふ。

最近、一八四二年米英が不当な手段で獲得した香港を、今日約定期末に中国に返還することが約定された。裏に一五〇年の歳月を閉して実現されることであり、北方領土問題に取つても他山の石と有るに足る。

以上が有吉さんの淡々たる報告を讀む中に到達した私の所感である。残された我々に、有益な示唆を與えられた才女の実福を心から折る次第である。

還曆に想う

西野 公庸

昭和九年九月二十一日、室戸台風が関西を襲来しました。風速六十メートルをこす超強風と高潮が大坂港に近い地域に風水害をもたらし、私の住んでいました大正区鶴町は、まともに被害を蒙りました。

私は小学校四年で十歳でした。五がカラスのように飛ぶのを見、家が風で地震のように揺れた事の恐ろしさ、子供心に吃驚しました。風・雨・高潮の勢が陸の上に船腹をみせている、もう少して家が押しつぶされる処であつた事を今ははつきり記憶しています。

当社の近くの九条東小学校的木造校舎が倒壊し、その下敷きになつた児童等が若い女の先生の手で守られ無事で済んだが、この先生はその後で亡くなられました。今もこの記念碑が、地下鉄中央線九条駅前南西寄りの前記小学校の入口にあります。

五十年の歳月を刻みましたが、昨今はすっかり忘却の彼方に時の流れと共にある事は残念です。その後何回も台風に会いましたが、あの時の風の方が強かつたに恐ろしかった事を今も思い出します。

あれから半世紀の月日が流れ、紅顔の美少年も還曆になりました。二十年前の昭和十九年、東京オリピックの年に東海道新幹線が開通し、東京・新大阪は当時ひかり号で四時間、これは号で五時間、十一輛編成の列車が運行を始め、今日では一列億人余の人を無事故で安全に運んだ事は、世界に誇る「SHINKANSEN」として、我が国民の大きな財産です。

丁度、新大阪駅も開業二十周年を迎えましたので、国鉄さんにお祝いとしてS.Lの動輪の贈呈を申しました処、在来線から



管機が月四回の合同訓練を実施して居るほか、毎年一月に本部長査閲の総合警備訓練を実施し、いかなる警備事象にも迅速的確に対処できる精強な部隊づくりに努めている。

三、その他

「氣はやさしくて力持ち」の桃太郎魂を隊風として滋賀県機動隊の伝統を受け継ぐべく日夜努力して居る。五十八年二月に歴代隊長出席のもとに機動隊三十周年祭を実施し現隊員の士気を鼓舞した。また本年七月七日には父兄懇親会を開催し、独身隊員で他府県出身者は郷里へたびたび帰れず父兄もいろいろと心配して居るのでないかということで今回初めて実施したわけである。

滋賀県の治安情勢は比較的平穩に推移して居るが「治外に於て乱を忘れず」を合言葉に、精強な部隊と若くは警察官の育成をはかるため、今後も精進努力していく。

一、案内

励ます会支部総会が下記のとおり開催されます。会員多数奮つてのご参加をお待ち申しあげます。

▽北陸支部総会 十一月二十八日(水)十七時より新潟グラウンドホテル

▽大阪支部総会 十二月十日(月)大阪市東区内本町橋詰町五十八大坂商工会会所ビル六Fにて

▽寄附金 匿名氏より十一月六日付で五十万円頂きました。当励ます会の運営に有効に役立させて頂きます。厚くお礼申しあげます。



- 有事即応で備える機動隊
- 芝本龍平
 - (株)三榮商会
 - 奥村武正
 - 村山文雄
 - 大野興業(株)
 - 大洋製鋼(株)
 - 栗田工業(株)
 - 高周波熱錬(株)
 - 西野公庸
 - 竹之上誠剛
 - 橋山和正
 - 国見山(株)
 - 東海レバー鋼業(株)
 - 中京製線(株)
 - 東海鋼材工業(株)
 - 広島シヤーリング工業(株)
 - 内外運輸(株)
 - 日鐵ボルテン(株)
 - 藤田金属(株)
 - 近藤与助工業(株)
 - 金森藤平商事(株)



はげまし

発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都中央区八重洲2-4-14
 〒104 ミツヤビル3階
 発行人 鈴木 實
 TEL 03(272)2050
 購読料 年間1200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)

機動隊員等を励ます会も、十一年目の新年を迎えた。いわゆる「十年ひと昔」という区切りを越したわけである。

十一は英語でいうとイレブンだが、「イレブン」という言葉の語源は、「十かぞえて残り一」の意味だといふ。われわれの考え方は、「十一」を「十」より一歩上を越えたいという、東洋と西洋との感覚の違いがある。

いすれにせよ当会も、ひと昔の十年から約りがくるように年を重ねたわけ、何となく大人になつた感じの新春である。さて今年も十二支の丑年である。丑は動物では牛になぞえらるが、これは中国語で「牛」(ニ

新年おめでとうでございます。昭和六十一年の年頭にあたり、常日頃から機動隊員等に対し、深いご理解と暖かいご激励を賜つております「機動隊員等を励ます会」の皆様方に対し、感謝の意を表する次第であります。

昨年は、厳しい国内外の諸情勢を反映して、治安の面に於きましても困難な問題が多かつたのであります。なかでも全斗煥韓国大統領一行の来日に伴う警備任務は、有史以來初めてのことであり、しかも、昨年秋のビルマのラングーンでの韓国要人爆殺事件等で朝鮮半島情勢の緊張が高まつており、テロ・ゲリラの敢行が予想される極めて

謹んで新年のお喜びを申し上げます。昭和六十一年の年頭に当たり、機動隊員等に対し、平素から深い御理解と暖かい御激励を賜つております社団法人「機動隊員等を励ます会」の会員の皆様方に対し、心から御礼申し上げます。

昨年は、一連の「成田闘争準備」を始め、「全斗煥大韓民国大統領来日警備」「反原発闘争警備」等において多くの困難な問題に直面したのであります。会員の皆様方の暖かい御理解と御支援のもと、全国警察が文字通り一丸となつて対処し、所期の目的を達成することができました。

「紐(ニュー)、丑と同義」の発音が似ているためであるといふ。

中国の古書「老子」の五十五章に「次の句がある。『善く生を授ける者は、死に死んで遇わず。兎は野牛のこである。牛年に出すわけだが、『よい種生家、つまり身をよくなる人間は、山



基本に返って 平和を考える

機動隊員等を励ます会 理事 長 大内 俊 司

中に出かけても、野牛などの猛獣に出会い心配がない。それは万物に対して敬意を持たないからで、こちらが敬意を持たなければ何物も敵対するものでない。この態度が、最もよく自分の身を守ることになる」といふた意味である。

人間同士、国同士でも同じことである。『汝の敵を愛せよ』という聖書の言葉も、こういう

て厳しい情勢下での警備でありました。この重要な警備は、国民をはじめ会員の皆様方のご理解と絶大なご支援を得まして、所期の目的を達成することができましたことに、深甚なる敬意と感謝の意を表する次第であります。

新年を迎え、内外の諸情勢を展望いたしますとき、その前途は、極めて厳しく予断を許さぬ

した。

本年も、治安の底流をなす内外の諸情勢は、不安定かつ流動的な様相を呈しており、波乱含みの情勢展開になることが予想されます。極左暴力集団等は、二期工事着工をめぐる「成田」をはじめ、建設の具体化が進む「関西国際空港」、「反核・反原発」等の諸問題を中心に、強

けて済まされたいのが現実である。だから、機動隊員等の皆さんがなければ、ジャパン・アス・ナンバワンの日本の治安も保たれるものではない。

だがわれわれは、機動隊員等の皆さんが、身を挺して暴力を制止しなければならぬような敵が出て来ないよう、人間同士、国同士で敬意を持つ状況が生じないように、為政者の皆さんに強く要望したいと思ふ。

それと共に、為政者ばかりでなく、われわれ国民のひとりひとりも、平和とは何か、安全とは何か、ということを人間の基本に立ち返って、この明るい正月に考えてみようではないか。

努力と実績で 国民の信頼を

警視總監 福田 勝 一

もがおります。

特に極左暴力集団は、新東京国際空港二期工事着工阻止を最大の闘争課題と位置づけ、今後三里塚情勢によつては、大量動員を背景にした武装闘争の恒か、その手段方法も「対人ゲリラ戦」を含めた無差別かつ悪質なテロ・ゲリラ戦へと移行することが予想され、本格的なテロ・ゲリラ志向を一層強めて

暖かい支援で 責務を全う

警察庁長官 鈴木 貞 敏

力に反対闘争に取り組むものと予想されます。

特に、極左暴力集団は、組織の非公然化、軍事化を進め、「テロ」「ゲリラ」志向を強めつつあり、その手段・方法については、一層悪巧み巧妙化、技術の高度化が進んでおりますので、今後更に過激な行動に出てくるものとみられます。

また、日本赤軍は、依然として従来の「武装闘争」の戦術を堅持し、ハイジャック等の過激な犯罪を敢行するおそれがあり、その動向には十分警戒を要するところであります。一方右翼は、最近テロ等直接行動を志向する傾向を一段と強めており、今後とも厳重な警戒を要するところでありませう。

ゆくものと思われませう。

一方右翼は、最近の内外情勢に危機感を強め、北方領土問題をはじめ外交、教育、靖国神社等の諸問題をとらえ、抗議行動を強めており、情勢如何によつては、これら関係要人に対する直接行動が危惧されるのであります。

このような厳しい情勢下において、警視庁機動隊は、集団警備力の中核として、また治安維持の最後の砦としての自覚を持つて、たゆまない努力と研鑽を積み、実力を培い、毎日の諸執行務を確実に遂行し、有事に際してはその責務を全うし、社会生活の平和と国民生活の安全を守り、その負担に匹敵する決意を以て、国民の信頼を回復してまいります。

このような厳しい情勢下において、全国の機動隊員等は、いかなる事態にも迅速、的確に対処できる強靱な実力を養い、有事に際しては身を賭し、その責務を全うし、国民の負担に堪えてまいる決意であります。

会員の皆様方におかれましては、今後とも国民と機動隊員等を結ぶ「心のかげ」として、また、機動隊員等の精神的支柱として、一層の御激励、御叱正を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴会がますますの御発展と会員の皆様方及び御家族の御多幸と御健康を祈念して年頭の御挨拶といたします。

牛歩でいい、確実な警備へ向けて 年男隊員が決意も新たに

昭和60年の十二支は丑である。丑という字には「紐でしばる、しめる」の意味があって、諸事結滞しやすい。また、物事に対して守るといふ姿勢を示しているという。治安を取り巻く内外の情勢は流動的で不安定な要素が多く、さらに機動隊の警備が、以前のような華々しい“動”から各種常駐・重要防護などの“静”へと質的に変化しているのを象徴しているようでもある。

丑は、動物では牛になぞえられている。牛といえはゆったり、じっくりというイメージが浮かぶが、確実な警備のためには牛歩でいい。訓練を積み重ね、ひとつひとつの警備を基本通り着実に実施するほかはない。手抜きのない自己練習が、有事に際しては完璧な警備へとつながっていく。隊員達は新年に当たり、それぞれが目標を掲げその達成に向けて努力することを誓っている。

北海道警察機動隊



巡査部長 高橋 俊 浩

「立ち上がりは遅いが、やる時は徹底してやる」というのが彼の口癖。「どっしりと……」と比べ、似てはいるがどこか弱々しさを感じない評価でした。

今年「丑」の干支は「丑」。私は「年男」にちなんで、今年を人生の節目として、機動隊員として泰然自若にふるまえるようになりたくて決意しています。

第一は、「自信と誇りをもつ」ことです。宮本武蔵は、彼の遺作である兵法書「五輪書」の中で、「千日の稽古を練ると」といって万日の稽古を練ると」といっています。プロとしての自信をもつには、今の自分の立場を自覚し、意欲を燃やし、失敗に懲りず、成功におごらず、一歩一歩大地を踏みしめるがごとく、努力していくことが必要です。そして、その自信は、誇りにつながるものです。

青森県警察機動隊

「どっしりと構え、いざという時には頼りになる」と、これこそ年男のあるべき姿であると思いつつも、なかなか身につかない



巡査 島田 裕 幸

「立ち上がりは遅いが、やる時は徹底してやる」というのが彼の口癖。「どっしりと……」と比べ、似てはいるがどこか弱々しさを感じない評価でした。

今年「丑」の干支は「丑」。私は「年男」にちなんで、今年を人生の節目として、機動隊員として泰然自若にふるまえるようになりたくて決意しています。

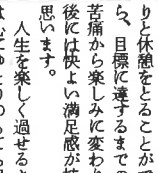
第一は、「自信と誇りをもつ」ことです。宮本武蔵は、彼の遺作である兵法書「五輪書」の中で、「千日の稽古を練ると」といって万日の稽古を練ると」といっています。プロとしての自信をもつには、今の自分の立場を自覚し、意欲を燃やし、失敗に懲りず、成功におごらず、一歩一歩大地を踏みしめるがごとく、努力していくことが必要です。そして、その自信は、誇りにつながるものです。



巡査 島田 裕 幸

「立ち上がりは遅いが、やる時は徹底してやる」というのが彼の口癖。「どっしりと……」と比べ、似てはいるがどこか弱々しさを感じない評価でした。

今年「丑」の干支は「丑」。私は「年男」にちなんで、今年を人生の節目として、機動隊員として泰然自若にふるまえるようになりたくて決意しています。



巡査 島田 裕 幸

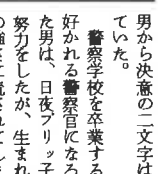
「立ち上がりは遅いが、やる時は徹底してやる」というのが彼の口癖。「どっしりと……」と比べ、似てはいるがどこか弱々しさを感じない評価でした。

今年「丑」の干支は「丑」。私は「年男」にちなんで、今年を人生の節目として、機動隊員として泰然自若にふるまえるようになりたくて決意しています。

第一は、「自信と誇りをもつ」ことです。宮本武蔵は、彼の遺作である兵法書「五輪書」の中で、「千日の稽古を練ると」といって万日の稽古を練ると」といっています。プロとしての自信をもつには、今の自分の立場を自覚し、意欲を燃やし、失敗に懲りず、成功におごらず、一歩一歩大地を踏みしめるがごとく、努力していくことが必要です。そして、その自信は、誇りにつながるものです。

秋田県警察機動隊

「どっしりと構え、いざという時には頼りになる」と、これこそ年男のあるべき姿であると思いつつも、なかなか身につかない



巡査 島田 裕 幸

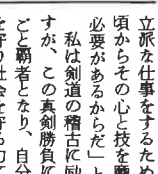
「立ち上がりは遅いが、やる時は徹底してやる」というのが彼の口癖。「どっしりと……」と比べ、似てはいるがどこか弱々しさを感じない評価でした。

今年「丑」の干支は「丑」。私は「年男」にちなんで、今年を人生の節目として、機動隊員として泰然自若にふるまえるようになりたくて決意しています。

第一は、「自信と誇りをもつ」ことです。宮本武蔵は、彼の遺作である兵法書「五輪書」の中で、「千日の稽古を練ると」といって万日の稽古を練ると」といっています。プロとしての自信をもつには、今の自分の立場を自覚し、意欲を燃やし、失敗に懲りず、成功におごらず、一歩一歩大地を踏みしめるがごとく、努力していくことが必要です。そして、その自信は、誇りにつながるものです。

山形県警察機動隊

「どっしりと構え、いざという時には頼りになる」と、これこそ年男のあるべき姿であると思いつつも、なかなか身につかない



巡査 島田 裕 幸

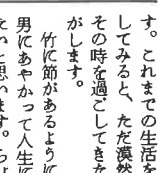
「立ち上がりは遅いが、やる時は徹底してやる」というのが彼の口癖。「どっしりと……」と比べ、似てはいるがどこか弱々しさを感じない評価でした。

今年「丑」の干支は「丑」。私は「年男」にちなんで、今年を人生の節目として、機動隊員として泰然自若にふるまえるようになりたくて決意しています。

第一は、「自信と誇りをもつ」ことです。宮本武蔵は、彼の遺作である兵法書「五輪書」の中で、「千日の稽古を練ると」といって万日の稽古を練ると」といっています。プロとしての自信をもつには、今の自分の立場を自覚し、意欲を燃やし、失敗に懲りず、成功におごらず、一歩一歩大地を踏みしめるがごとく、努力していくことが必要です。そして、その自信は、誇りにつながるものです。

福島県警察機動隊

「どっしりと構え、いざという時には頼りになる」と、これこそ年男のあるべき姿であると思いつつも、なかなか身につかない



巡査 島田 裕 幸

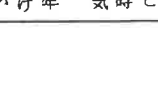
「立ち上がりは遅いが、やる時は徹底してやる」というのが彼の口癖。「どっしりと……」と比べ、似てはいるがどこか弱々しさを感じない評価でした。

今年「丑」の干支は「丑」。私は「年男」にちなんで、今年を人生の節目として、機動隊員として泰然自若にふるまえるようになりたくて決意しています。

第一は、「自信と誇りをもつ」ことです。宮本武蔵は、彼の遺作である兵法書「五輪書」の中で、「千日の稽古を練ると」といって万日の稽古を練ると」といっています。プロとしての自信をもつには、今の自分の立場を自覚し、意欲を燃やし、失敗に懲りず、成功におごらず、一歩一歩大地を踏みしめるがごとく、努力していくことが必要です。そして、その自信は、誇りにつながるものです。

警視庁第一機動隊

「どっしりと構え、いざという時には頼りになる」と、これこそ年男のあるべき姿であると思いつつも、なかなか身につかない



巡査 島田 裕 幸

「立ち上がりは遅いが、やる時は徹底してやる」というのが彼の口癖。「どっしりと……」と比べ、似てはいるがどこか弱々しさを感じない評価でした。

今年「丑」の干支は「丑」。私は「年男」にちなんで、今年を人生の節目として、機動隊員として泰然自若にふるまえるようになりたくて決意しています。

第一は、「自信と誇りをもつ」ことです。宮本武蔵は、彼の遺作である兵法書「五輪書」の中で、「千日の稽古を練ると」といって万日の稽古を練ると」といっています。プロとしての自信をもつには、今の自分の立場を自覚し、意欲を燃やし、失敗に懲りず、成功におごらず、一歩一歩大地を踏みしめるがごとく、努力していくことが必要です。そして、その自信は、誇りにつながるものです。

警視庁第二機動隊

「どっしりと構え、いざという時には頼りになる」と、これこそ年男のあるべき姿であると思いつつも、なかなか身につかない

警視庁第三機動隊



井上 義生

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...

庶務係員は警備現場で脚光を浴びる華々しい活躍は少ないが、常に隊全体の動きを見て仕事を進めていかなくてはならないので、自分の担当する仕事だけをやっていれば...という訳にはいきません。範囲の広い仕事は要求される係です。

私は昭和三十六年八月八日生まれの卅年です。二十一歳で五機に配属して早や二年、二十歳を過ぎてからの年月の早きに驚く今日この頃ですが、年男として、六十年はより一層の飛躍の年にしたいと思っております。牛のように一步一步着実に前進し、チャンスのときは、わき目もふらさず目標に突き進む男に自分をなりたいと思っております。しかし、勢い余っていいことにならないよう、適度にブレーキのきく男でありたいと思っております。



佐藤 他主志

警視庁第五機動隊

私は昭和三十一年一月三日に生れた卅二歳です。二十一年で五機に配属して早や二年、二十歳を過ぎてからの年月の早きに驚く今日この頃ですが、年男として、六十年はより一層の飛躍の年にしたいと思っております。牛のように一步一步着実に前進し、チャンスのときは、わき目もふらさず目標に突き進む男に自分をなりたいと思っております。しかし、勢い余っていいことにならないよう、適度にブレーキのきく男でありたいと思っております。

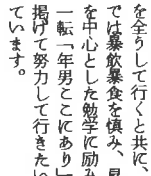


堀原 健治

警視庁第六機動隊

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...

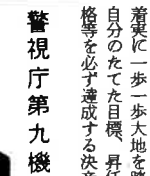
「苦しい、言いたい、不満、腹がたつ、泣きたい、これらをして我慢するのが男の修行である」という内容です。私はこの言葉を胸に、今までの仕事を続けて来ましたが、母の「男を引き締める」と、教官の「男の修行を全うして、第四機動隊の隊員として、年男として、さらに飛躍する覚悟です。



佐藤 他主志

警視庁第八機動隊

私は昭和三十一年一月三日に生れた卅二歳です。二十一年で五機に配属して早や二年、二十歳を過ぎてからの年月の早きに驚く今日この頃ですが、年男として、六十年はより一層の飛躍の年にしたいと思っております。牛のように一步一步着実に前進し、チャンスのときは、わき目もふらさず目標に突き進む男に自分をなりたいと思っております。しかし、勢い余っていいことにならないよう、適度にブレーキのきく男でありたいと思っております。

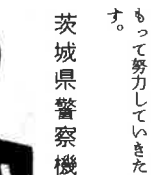


柴原 浩進

警視庁第九機動隊

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...

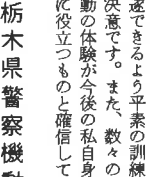
「努力に勝る天才無し」と言い伝えられてきたが、私はこの努力こそ人間にあって一番大切な事であると思っております。これからはより一層の努力を重ね、栄光ある人生を勝ち取っていきたくと思っております。第二は、「苦難を乗り越えて行くこと。苦を避けて楽のみを得ることは、できるはずがありません。私は眼前に立ちかまざる壁を、歯をくいしばりながら乗り越えたいと思っております。我々機動隊の仕事は、ますます厳しくなっています。自分自身を鍛錬し、充実に機動隊生活を送っていくつもりです。



柴田 康二郎

茨城県警察機動隊

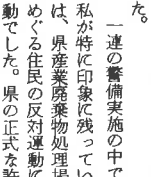
私は昭和五十八年、かねてから希望していた茨城県警察機動隊に入隊しました。また機動隊生活二年の経験しかない私ですが、他の所属では味わうことができない貴重な体験をしました。二つの目標を掲げました。一つは、「団体出場」することです。けん銃指名選手となつてから三年になります。訓練を重ね、県代表として団体に出場したいと思っております。二つ目は、レンジャー技術の習熟と向上です。三つ目は、「健康増進」を掲げました。有事の際にも体力が資本です。有事の際にも体調で当てる確率にすることが必要です。



柴原 浩進

栃木県警察機動隊

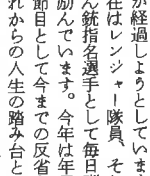
私は昭和五十八年、かねてから希望していた栃木県警察機動隊に入隊しました。また機動隊生活二年の経験しかない私ですが、他の所属では味わうことができない貴重な体験をしました。二つの目標を掲げました。一つは、「団体出場」することです。けん銃指名選手となつてから三年になります。訓練を重ね、県代表として団体に出場したいと思っております。二つ目は、レンジャー技術の習熟と向上です。三つ目は、「健康増進」を掲げました。有事の際にも体力が資本です。有事の際にも体調で当てる確率にすることが必要です。



佐藤 他主志

群馬県警察機動隊

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...



柴田 康二郎

埼玉県警察機動隊

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...



柴田 康二郎

埼玉県警察機動隊

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...



柴田 康二郎

埼玉県警察機動隊

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...

警視庁第四機動隊



柴山 孝幸

「年男」ということについて、昨年までは他人事にかかっていたが、先日もよく決意です。



佐藤 他主志

警視庁第七機動隊

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...

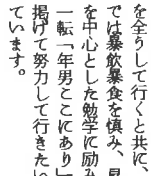


柴田 康二郎

警視庁第八機動隊

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...

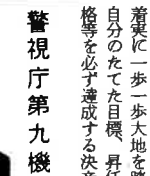
私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...



佐藤 他主志

警視庁第九機動隊

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...

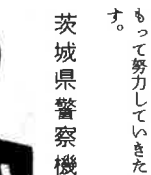


柴田 康二郎

警視庁特科車両隊

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...

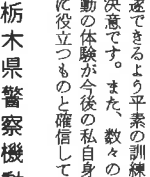
私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...



柴田 康二郎

警視庁特科車両隊

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...

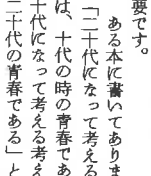


柴田 康二郎

警視庁特科車両隊

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...



柴田 康二郎

警視庁特科車両隊

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...



柴田 康二郎

警視庁特科車両隊

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...

私は現在、第三機動隊の庶務係員として勤務しております。昨年八月に係員となった新米で...

昨年、金額の奈良国体で、舵付フオア優勝、ナックルフオア準優勝をすることができました。先輩が築いてきた伝統はもちろんなこと、ボート部員が心を一つにして、勝ちつた成果であります。これによって「やればできる」という強い自信をもつことができました。

このような自信の上に立て、今年は、まず第一に、充実した日々を送りたいと思います。時に流されることなく、常に目的意識をもち、前向きの姿勢で邁進していきます。

第二に、巡査部長昇任試験に挑戦したいと思います。ボート部で培った強靱な体力と精神力を生かして勉学に励み、今年度は「年男としての華」を咲かせたいと思います。

最後に、ある本に書かれてあった「いかに見るよりも、いかにかにかを心配しよう。いかにかにかを見るよりも、いかにかにかに心しよう」という人生訓を糧として、常に主体性をもって、自分で掲げた目標に向かっていきたいと決心しています。



巡査 柳田 和行

千葉県警察機動隊

千葉県警察官になるべく、生まれ故郷鹿野島を後にして、早や五年有余が過ぎました。本年は、年男であり、ジャンプ一番「飛躍の年とする為に大きな目標を掲げてみました。

一、昇任試験合格 前回の昇任試験合格者の中に同期生の名を見つけた時、自分の不甲斐なさや怒りを覚えた「鉄は熱いうちに打て」を胸に、昇任試験合格を目指します。

二、文武両道の実践 二、優れた機動隊員は、常に勉強を怠ることなく体力・精神力の錬磨に励み、プロ集団の一人としての責任を担うべきである。三、結婚に向けて 無計画で過ごしてきた反省の気持ち

一杯です。今年からは、結婚に向けてきちんとした生活設計を立てていこうと思っております。本年の年男として「夢」に終わらなためにより、「有言実行」を旨として頑張ります。

私が第一機動隊に入隊して、早や三年が経とうとしていました。この間、数多くの警備実施に出動し貴重な経験をしました。昨今の警備現場は、第二次安保、成田二次執行当時の闘争形態から見ると、一見平穏なものであるに見えます。しかし、この平穏はいつまで続くという保障はありません。いつ修練場の現場に変わってもいいかもしれません。成田闘争は新たな局面を迎えている。反核・反戦の気運が高まっています。反核・反戦の気運が高まっています。反核・反戦の気運が高まっています。

私が隊は、念願であった新庁舎が昨年五月に完成し、極めて恵まれた環境になり、都県境に位置する東北の治安の守りという重要な任務を与えられています。県下には、葉山御用邸をはじめ

多多くの重防施設があり、なかでも米軍基地は沖縄に次いで多く、過去ミッドウェー闘争、原潜闘争等多くの大規模警備が行なわれました。近年は、Tホーク配備問題を中心に反核運動が激化し高まり、横須賀では何回か隊員一人として警備を実施したことがこのことを誇りに思っています。

このような中で、本年も一段と厳しくなるであろうことが十分に予想されるであろう。我が隊の隊訓に「責任を自覚し、全力を尽せ」の項目がありますが、この一年、伝統ある二機隊員として文武両道に全力で取り組み、一流の小隊長長命となるようがんばる覚悟です。

神奈川警察機動隊 第一機動隊

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊訓の一つ、「精強」の三文字は、「燃えること」、「耐えること」が最大不可欠の要素であると思います。そのルーツは合言葉となつている「訓練、訓練、猛訓練」の中から生まれることとを銘記すべきです。さらに夢を掲げて、「祝合格」の金字塔の夢を、「文武両道」これこそ治安の闘士が目指す理想像ではありません。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

新潟県警察機動隊

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

山梨県警察機動隊

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

長野県警察機動隊

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

静岡県警察機動隊

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

石川県警察機動隊

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

岐阜県警察機動隊

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

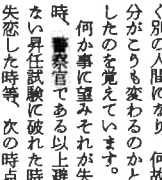
隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。

隊員は早くも、通算十年目を迎えるに至りました。この節目を契機に心気一転、激動期の貴重な体験と教訓を後輩に伝え、「騎士道、少教精神」の誇りと伝統を守り抜くため、我が隊長の片腕となつて全力を尽くす決心であります。



巡査部長 野正之

動物より優れた「心」があるからではないでしょうか。この心というのは、本人の持ち方次第によって最大の敵に味方にもなってくれるのです。私はこの心について、剣道特練生という立場から、その大切な痛感させられた。年に数々の試合をこなす私には、相手に「勝たなくては」と「勝つたぞ」と心に思うときがあります。よく似た文字ですが「なくては」と「たぞ」という唯三文字の違いで、自分が全く別の人間になり、何故同じ自分かという変な心算が湧いてきたのを覚えています。



巡査部長 川妻猛

滋賀県警察機動隊 今年、私の十五五年です。早いもので三回目の当り年を迎え「歳月を待たず」の感があります。前回の当り年、同じ機動隊で迎えたのですが、当時機動隊ではまだ「希望が多少減った」と感じながら、身は「未だ若くして青年のごとくである」と自負して、激動・不確実性の時代であっても

泰然自若として世間を見つめ、一旦事あって決した時はあわてず腰をすえ、確固たる信念で燃然と突き進む。この意味からすれば、滋賀県警察機動隊の権に刻されている「強く、優し、通し」の頭を込めたい。弁慶と通し、私自身にとっ節目である五年の今、又、弁慶を刻した権を持つ機動隊員であるから、警察官として求むる処の信念、規律を厳正に保持する、最も正しい道を進むこと、この如き盤石の信念、一貫不撓の熱烈なる誠を持って進みたいと心新たにしています。

京都府警察機動隊

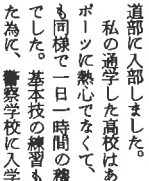


巡査部長 信房

私もいよいよ三十代後半を迎えることになりました。この人生を私の好きなサッカーの試合に例えれば、中盤戦に突入したサッカークラウチンにおいては、序盤、中盤、終盤とそれぞれ戦法が異なります。序盤は、相手チームの弱点を見出し、隙あらば先制攻撃を加え、混戦の中で戦いといえるでしょう。中盤においては、相手チームの長所と短所を知り尽くし、えでの燃烈な攻撃、いわゆるチームワーク、走り、テクニックで、かきむし等をまじえた熱戦の展開、勝負を決する戦いであります。そして終盤では、今まで積みあげた結果を土台にして、慎重にしかも自分の能力を全て出し切り死力を尽して戦い抜くので

い戦いに耐えたる者のみに勝利の女神は微笑みます。試合を終えた選手が味方爽快感を求めて私も人生での中盤の戦いに耐え抜く覚悟です。

大阪府警察 第一機動隊

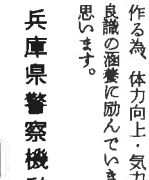


巡査部長 義幸

中学時代は田舎で育つたせいか、非常に相撲が好きで、相撲部に籍を置き将来の大相撲の横綱を夢みて、一生懸命に頑張っていました。高校に入學してからは、無我夢中で勤務していましたが、年男を契機に今まで以上に努力し、機動隊の目標である「精進」にふさわしい自分を作るため、体力向上、気力充実、良識の涵養に励んでまいりました。

私は三人兄弟の末っ子として生まれ、甘ん坊で両親には華舌に尽くし難い苦労をかかました。両親は嬉しい時、苦しい時、いつも私に励まされてきました。お陰で私は心身共に健康で成長しました。つくづく親の恩を感じています。

奈良県警察機動隊

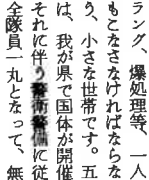


巡査部長 哲司

私は奈良県の南端、熊野川上流吉野郡津川で生まれ、昭和五十八年一月に機動隊に入隊して三年目にあたり、奈良県警察機動隊は、警備実施はもとより、レンジア、アクアラング、爆処理等、一人でも何役もこなさなければならぬといふ、小さな世界です。五十九年は、我が県で団体が開催され、それに伴う警備任務に従事し、全隊員一丸となって、無事任務を完了しました。

からず、不自由を常と思えば不足なし……」の教えどおり、丑年の「特性」を生かしてねばり強く、しっかりと大地を踏み締め、一歩一歩着実に前進していきたいと思っています。

鳥取県警察機動隊



巡査部長 明彦

五十七年春、機動隊に入隊してから三年が経過しようとしています。入隊当初は期待と不安を胸に抱きながら、常に努力を惜しまず頑張ろうと決意したことが思い出されますが、日々のつとめ、やることの全てが初めてのことばかりであり、上司、先輩の言われることをやるのが精一杯で、自分自身に進歩が見られなかつた反省をしています。

関西新国際空港建設を始め、原子力発電所建設問題等、多くの治安要因を抱え、益々機動隊としての任務が重要視されるようになっていっています。こうした事態に迅速・的確に対応するには、隊員一人一人が「治安のプロ」に徹し、これにふさわしい実力と識見を身につける事だと思っております。

岡山県警察機動隊

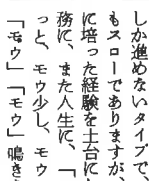


巡査部長 俊明

「光陰矢の如し」とか、月日の経つのは早いもので、私も今年十一月で二十四歳を迎えます。二十四歳になりましたが、この間、どんなことを残してきたか、六年前警視庁の門をくぐると同時に心に決めた「一日一生懸命」の座右の銘は、生来、懶惰で安逸に流れがちな私を、鞭打つ覚悟のでありましたが……。「また明日がある」、「また明日がある」の連続の日々に、さほど反省を加えずに来たことを悔い、こんな私も巡査部長試験に合格することが出来まし

の間、隊員として、また分隊長として経験した事は、災害警備や数々にわたる成田警備等、色々とありますが、その際、色々と奮闘を思い出してみますと、どの警備実施も常に未知との遭遇であり、各種訓練の積み重ねの重要性もさることながら、現場での判断力が、一番重要ではないかと思っております。

広島県警察機動隊

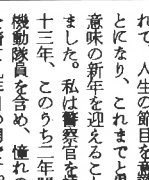


巡査部長 孝行

今年、人生の節目を感慨することになり、これまでと異なつた意味の新年を迎えることになりました。私は警察官を志して十三年、このうち二年間の管区機動隊員を含め、僅れの出動服を着て九年目の男です。十三年前、警察官を志すにあつた時に機動隊から受けたイメージに非常に強いものがありましたが、当時学生だった私は、同年輩の警視庁機動隊員が、各種の実施において、角材、火災びんはもろろのこと、燧彈や銃刀等で攻撃され、殉職、負傷者を多数出しながら、微動だにもせず使命感に燃えて、正義の橋をかざす力強い姿を見て、心を打たれたのがこの道を選ぶきっかけとなりました。

た。しかも今年は、年男です。今年、一つの節目にして、文字通り初心に返りたいと思つています。「今日という日は明日のため」、「明日という日はその次の日のため」と常に前向きに、社会のためになることとなり、小さな小さな心にも誇りを感じます。ひたすら貴重な人生を歩んで行きたいと思つています。

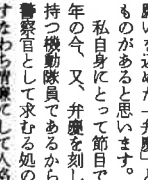
山口県警察機動隊



巡査部長 孝行

時が流れ、現在は私が機動隊員として勤務する立場になりました。節目を迎え機動隊員として、知、徳、体を備えた、最後の塔になり得る強靱な隊員になることを、隊長から常に、「平穩ズレを排せ」と言われていました。いざという時、必要とされる隊員となり、いつでも胸を張って「我が道に悔いなし」と言えるよう進歩するばかりです。

大阪府警察 第二機動隊



巡査部長 敏行

人生には、結婚、昇任といふ大きな節目があります。このように大きかたが、サッカーの試合の様に節目で考えてみると、自分の人生がどの位置にあり、また何をすべきかわかります。サッカーにおける中盤の戦いは、つらい戦いです。この苦し

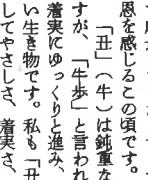
兵庫県警察機動隊



巡査部長 博

「お、今年はお前の年やぞ」「え、ほんまかいことを自問自答して来たか」そんなことを自問自答しながらカレンダーを見ました。私にとって三回目の丑年です。歳月のたつのは早いもので、レンジア訓練や各種警備訓練において、若い隊員から「分隊長は年だから……」と言われる年代になってしまいました。そんな時「何を言おうか、四捨五入したら三十歳や、同じやばいかな」と、まだまだ若い者に負けな

和歌山県警察機動隊



巡査部長 伸之

今年、人生の中間折返し地点、幸いにして五十歳警備試験に合格し、人生の節目として新たな第一歩を踏み出せる喜びを得ました。そこで私は、徳川家康の遺訓である「人の一生は重荷を負い、遠き道を行くが如し、急ぐべ

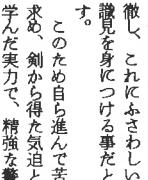
鳥根県警察機動隊



巡査部長 伸之

警察の門をくぐったのは今から五年前、現在では機動隊員として、また現任特捜隊員として、日々訓練に励んでいます。新年を迎え、厳しさを増す諸情勢の中にあつて、本県警察も

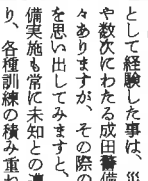
岡山県警察機動隊



巡査部長 俊明

治安情勢は今後ますます厳しくなることが予測され、警備実施の中核たる機動隊の一員として、高度な警備技術を身につけるとともに、強い精神力を養うよう一人ひとりが仕事に対して常に創意工夫して前進することが大切だと思います。

山口県警察機動隊



巡査部長 孝行

今年、人生の節目を感慨することになり、これまでと異なつた意味の新年を迎えることになりました。私は警察官を志して十三年、このうち二年間の管区機動隊員を含め、僅れの出動服を着て九年目の男です。十三年前、警察官を志すにあつた時に機動隊から受けたイメージに非常に強いものがありましたが、当時学生だった私は、同年輩の警視庁機動隊員が、各種の実施において、角材、火災びんはもろろのこと、燧彈や銃刀等で攻撃され、殉職、負傷者を多数出しながら、微動だにもせず使命感に燃えて、正義の橋をかざす力強い姿を見て、心を打たれたのがこの道を選ぶきっかけとなりました。

高知県警察機動隊



巡査 井口 司郎

今年、生まれた一度目の男です。一度目の男を迎えたのは小学校六年生の時ですが、その当時は中学入学を控えて、期待と不安で自分の将来まで考えてみませんでした。機動隊員として年男を迎えた現在、人並みの大人となつてはいるが、十一年前の年齢に似せた悩みや希望等はほとんど変わりありません。

この二十二年間で成長したのは身体と少しばかりの知識や常識だけであり、将来の目的や未来像はまだわからぬままです。なんとか未来の目的、目標を決め、それに向かって進みたいものです。思うだけで、何もしない自身を反省しています。

五年生生まれといふせいか、んびりと日々を過ごしています。これは今までと変わりないので、年男である今年を一つの節目として、これから時には怒れる猛牛の如く、時には静かなる牧牛の如く、機動隊員としての職責を認識し、自覚を持って自らの持つ力をすべてを發揮して目的を見出し、それが叶うように努力していきたいと思っています。

福岡県警察 第一機動隊



警部補 松一 孝

昭和十四年丑年生まれの子どもの青年時代に、「青春とは何だ」というテレビ映画が大変に人気でした。私も主人の公の生き方に感銘しラジカベを始め、そして今、我々は壮年と呼ばれる年代となつてしまひ、とく

に警備隊の中核として、また警察最後の砦として、常に強い心さを求められる機動隊にあって、まさしく「壮年」、「おじさん」の部類に入つてしまひました。しかし現代社会は、都市化の急激な進展に伴ひ、多くの現代病を醸成させ、無気力・無關心・無責任といつた三無主義あるいは四無主義、十三無主義なる人間像を形成しています。そこで私は現在の自分自身に再び「青春とは何だ」とを問ひかえ「夢や野心に酔ひ疲れを知らぬ若い時代」と辞典にはありますが、三十六歳の我々世代にとつても決して無縁のものではありません。

私はこれからの若き隊員とともに、情熱を注ぎ、汗を流し、体力的衰えを痛感しながらも若い者にはまだ負けられないと年頭の決意も新たに、青春の炎を再燃させていきます。

福岡県警察 第二機動隊



警部 石原 英治

二機もやがて十年を迎えます。数々の輝かしい実績を残し、新生から伝統の二機に生まれ変わりました。

前回の年男の折も、「機動隊道とは、死ぬことと見つけたり」という言葉をひきつけて東奔西走して、七十年安泰、学園闘争の騒ぎをくり返け、強い男の魅力、誇りを学びました。まさしく機動隊は、青春のふるさとであり、警察活動の最後の砦であります。

戦後、男の修養の場がなくなり人が育たなくなつたと言われ今日、今なお派々と生き続ける機動隊は、男を育てる道場であり、修養の場と言えます。そして今、再びこの道場へ出動服を着ることに無上の喜びを感じます。私に果せられた使命は、「治

佐賀県警察機動隊



巡査 今村 徹

私は現在、佐賀県警察機動隊訓練に励んでいます。昭和五十五年四月に警察官を拝命してからの四年を拝命してからの四年を思い出しています。昭和五十二年間、外勤警察官としての一年間、そして機動隊生活二年間、とても充実した青春・高揚の日々であつたと思ひます。

柔剣道以外のいわゆるB.G.隊員は原則二年満期であり、一年間長く在隊させていたが、長年念頭に機動隊三年間培った気力・体力を十分に発揮するため、機動隊OBの多い交換隊の白バイを希望しています。

二機もやがて十年を迎えます。数々の輝かしい実績を残し、新生から伝統の二機に生まれ変わりました。

前回の年男の折も、「機動隊道とは、死ぬことと見つけたり」という言葉をひきつけて東奔西走して、七十年安泰、学園闘争の騒ぎをくり返け、強い男の魅力、誇りを学びました。まさしく機動隊は、青春のふるさとであり、警察活動の最後の砦であります。

戦後、男の修養の場がなくなり人が育たなくなつたと言われ今日、今なお派々と生き続ける機動隊は、男を育てる道場であり、修養の場と言えます。そして今、再びこの道場へ出動服を着ることに無上の喜びを感じます。私に果せられた使命は、「治

ずか六回しか巡つて来ません。よく人生の節目といわれませんがこの干支の年こそが一つ一つの節目ではありませんか。社会人として立派に通用する立場となり、二回目の節目を迎えた今、丑年の男として、闘牛にみる勇猛果敢さ、役牛にみる力強さ、粘り強さ、平時におけるその目的の想や、これら牛の特徴を人生の Handbook として考へてみます。

一、至誠は信のなかりしか
一、言行に恥するなかりしか
一、気力に欠くるなかりしか
一、努力に届かぬなかりしか
一、無精に巨るなかりしか
一、「五倍」を信条に進み、たとえ牛歩であつても、歩み着き、実地を歩んでいく決意です。

現在機動隊員として、日々訓練に明け暮れています。大分県警察機動隊は、このため警備実施はもとより、潜水、レンジャー、爆処理と、すべての技術を全員がマスターしなければなりません。



巡査 平野 亨

私も機動隊員として三年目です。何人かの後輩隊員も入隊してきました。これまでは、ただ技術をマスターするべく、先輩の指導を受けてきましたが、何か一つ満足するものはありません。それは、自ら率先して行なうという実行力に欠けていたと反省しています。

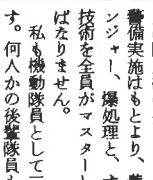
二十四歳、この「ヤンチャパワ」で、あらゆることに全力で体当たりし、青春時代に悔いを残さぬよう、新たな気持で警察官という仕事に取り組みしていきたいと思ひます。

昭和五十六年の春に警察学校の門をくぐり、一年間の派出所勤務を経験して、五十九年の四月に機動隊勤務を命ぜられました。

やることはもとより、足腰、腕力の強化、それに持久力を身に付けなければなりません。ともあれ、機動隊員として、剣道部員として、私の中にまだ寝ていて未知の可能性、年男として挑戦していきたいです。

現在機動隊員として、日々訓練に明け暮れています。大分県警察機動隊は、このため警備実施はもとより、潜水、レンジャー、爆処理と、すべての技術を全員がマスターしなければなりません。

現在機動隊員として、日々訓練に明け暮れています。大分県警察機動隊は、このため警備実施はもとより、潜水、レンジャー、爆処理と、すべての技術を全員がマスターしなければなりません。



巡査 高木 英二

私も機動隊員として三年目です。何人かの後輩隊員も入隊してきました。これまでは、ただ技術をマスターするべく、先輩の指導を受けてきましたが、何か一つ満足するものはありません。それは、自ら率先して行なうという実行力に欠けていたと反省しています。

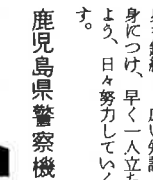
二十四歳、この「ヤンチャパワ」で、あらゆることに全力で体当たりし、青春時代に悔いを残さぬよう、新たな気持で警察官という仕事に取り組みしていきたいと思ひます。

昭和五十六年の春に警察学校の門をくぐり、一年間の派出所勤務を経験して、五十九年の四月に機動隊勤務を命ぜられました。

昭和六十一年は、私にとって、二回目の丑年であり、また機動隊勤務一年目でもあります。そこで、今までの自分を振り返り、今後の自分自身の飛躍のため、しっかりと目標を立てて前進しようと思ひます。

現在機動隊員として、日々訓練に明け暮れています。大分県警察機動隊は、このため警備実施はもとより、潜水、レンジャー、爆処理と、すべての技術を全員がマスターしなければなりません。

現在機動隊員として、日々訓練に明け暮れています。大分県警察機動隊は、このため警備実施はもとより、潜水、レンジャー、爆処理と、すべての技術を全員がマスターしなければなりません。



巡査 中村 孝志

私も機動隊員として三年目です。何人かの後輩隊員も入隊してきました。これまでは、ただ技術をマスターするべく、先輩の指導を受けてきましたが、何か一つ満足するものはありません。それは、自ら率先して行なうという実行力に欠けていたと反省しています。

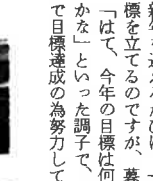
二十四歳、この「ヤンチャパワ」で、あらゆることに全力で体当たりし、青春時代に悔いを残さぬよう、新たな気持で警察官という仕事に取り組みしていきたいと思ひます。

昭和五十六年の春に警察学校の門をくぐり、一年間の派出所勤務を経験して、五十九年の四月に機動隊勤務を命ぜられました。

昭和六十一年は、私にとって、二回目の丑年であり、また機動隊勤務一年目でもあります。そこで、今までの自分を振り返り、今後の自分自身の飛躍のため、しっかりと目標を立てて前進しようと思ひます。

現在機動隊員として、日々訓練に明け暮れています。大分県警察機動隊は、このため警備実施はもとより、潜水、レンジャー、爆処理と、すべての技術を全員がマスターしなければなりません。

現在機動隊員として、日々訓練に明け暮れています。大分県警察機動隊は、このため警備実施はもとより、潜水、レンジャー、爆処理と、すべての技術を全員がマスターしなければなりません。



巡査 山和 成

私も機動隊員として三年目です。何人かの後輩隊員も入隊してきました。これまでは、ただ技術をマスターするべく、先輩の指導を受けてきましたが、何か一つ満足するものはありません。それは、自ら率先して行なうという実行力に欠けていたと反省しています。

二十四歳、この「ヤンチャパワ」で、あらゆることに全力で体当たりし、青春時代に悔いを残さぬよう、新たな気持で警察官という仕事に取り組みしていきたいと思ひます。

昭和五十六年の春に警察学校の門をくぐり、一年間の派出所勤務を経験して、五十九年の四月に機動隊勤務を命ぜられました。



訓練の積み重ねで有事に備える機動隊員



北陸支部総会

当励ます会北陸支部の第八回支部総会が、十一月二十八日十七時から新潟ランドホテルで励ます会会員百五十人、それに機動隊員等を招いて合計三百余人の出席を得て、盛大に開催された。

藤田文雄：北陸支部世話人代表が「隊員達の勇姿に接すると治平準備で心強いものを感じるが、引続き頑張つて欲しい」と力強く励ましたのに続いて、来賓が祝辞を述べた。

君徳男・新潟県知事は「富山、石川、新潟の三県にわたる機動隊員を招いて頂き感謝している。隊員等は集団準備で県民のためを身を挺して努力していることを報告するが、あわせて励ます会が国民の警察に対する理解と認識を深めていることに敬意を表する」と励ました。

齊藤隆・新潟県警察本部長は「機動隊員は自ら選択した道を力強く歩んでいる。日々精進しており、励ます会の協力と支援を心の糧にしている」と挨拶を述べ、嘉悦康人・励ます会理事の熱情溢れる乾杯の音頭で懇親会に移り、警察音楽隊のバンドやカラオケでの喉自慢など莫大の盛り上がりがあった。



読者の広場

牛にひかれて善光寺

今年も丑だが、暦をみると「草木も眠る丑は、あまりパツとしない。何となく冴えない。」「草木も眠る丑三ツ時」といふは、お化けの

樋浦忠

雰囲気である。丑は「すばめ引きしめる」意味があるようで、消極的、保守的である。中曽根さんも再選されたことだし、行政改革を続けたにはふさわしい年なのかも知れない。

丑は、動物では牛にぞらえられている。この牛がまた鈍重である。よく解釈すれば、落ちついて粘り強いともいえるが、あの顔をみてみると、どうにも知的でない。牛を馬に乗換える。牛に対して鞭を弾かず、牛の歩み、牛に力をつけて不名誉なものをかりだが、例外的に牛がいい役回りをしてゐるのは、牛にひかれて善光寺詣りである。

この諺の原典は、平安後期の今昔物語だが、今は昔、信濃の善光寺の近くに欲けり姫さんが住んでいた。ある日、隣りの牛がはなれて、さらして置いた布を角にひっかけた走っていった。老婆が追いかけてゆくと、牛は善光寺にかけ込んだ。老婆ははじめてそれが霊場であることを知り、それからにはたびたび参詣して後世を願う善女になったという。つまり初めから知ったことだから、偶然的に誘発されて、偶然に善事を行なうことになったのである。

竹内健一・新潟県機動隊長が「一層の努力を」と謝辞を述べ、松田武彦・名古屋支部世話人の万歳三唱で幕を閉じたが、こうした懇親会は隊員達の明日への活力につながっていく。

一命の重み



五十八年十一月の総選挙をめぐって、全国一選挙区のある権者が東京、大阪、広島、札幌の四高裁に選挙無効を求めて一言に提訴した。

これに対する高裁判決は、現行の家院定数配分規定全体を「違憲」と断じた。千葉四区でみると、議員一人当たりの人口数(有権者数)が最過疎区の兵庫五区に比べて四・四倍に達している。

つまり国政に關する一票の重みの極端な違いは、あまりに

人間はひよつとしたきつかけで、いろいろなことに出会う。私が機動隊員等を励ます会の設立時から会員であるのも、大内理事長のお陰である。私は申しわけないことながら機動隊の定義や役割に、最初はかたがた無知であったが大内さんが、ともかく入れてくれた。今から十一年前のことである。

大内さんは私たちにあっては心の師である。「春風や牛にひかれて善光寺」という句があるが、私の場合「大内理事長にひかれて励ます会」ということになる。しかし私の生涯で、こういう意義な会を知ったことを心から幸せに思う。だから、時間的許すかぎり、励ます会関係の会合には極力出席している。

大内さんは五十九年の秋、産業活動を中心にたくさんの功績で、勲三等旭日重光章を授けられたが、今後は励ます会御元氣で、われわれの善光寺にお引きまわし下さるものと期待している。

坂田隆造

も不合理である。平穩な日本だからいもの、地域の人種問題や宗教問題のある国や、集合国家であったら大騒ぎになるだろう。

同じ一票でありながら、...、というのと同様のことが、ほかにもあてはまる場合がある。たとえ事故死における一命の重みである。われわれは、何か変わった事件があった、それが一命にかかわると大騒ぎをする。たとえ他人の事件、発砲事件などである。しかし自動車事故

は風水害などによる事故死には、一件一件についてそれほど大きな問題視をしない。あまりにも件数が多過ぎ、日常化しているからである。

無事を祈って

宮崎県延岡市 甲斐福見



風水害などによる事故死には、一件一件についてそれほど大きな問題視をしない。あまりにも件数が多過ぎ、日常化しているからである。

黄、石川五右衛門が処刑される時、「眞の眞砂は尽きるとも世に盗人のたねはつきまじ」と言い残した。そのまじり、毎日、事故に強盗に物騒な事件の連続で、三面記事の賑やかなのは唯々驚くばかりだ。その中でも度々なる警察官の不祥事が起こる度にやりのない腹立たしさを覚え、同じ警察官の親として他人事とは思えない。

事件の当人は身から出た錆で仕方ないとしても、一瞬にして地獄の苦しみを背負った、その当人の家族の悲しみが案じられなければならない。警察官の子供を持つ親の心は皆同様で、規律を守つ親のある警察官となり、誠実に職務に励んでくれる事を望んでいるに違いない。

作には取り、息苦しと叱られるだろうが、自分で選んだ道だ。歩む道にどんな危険な障害があっても、誤つて脱線することなく前進してくれるよう無事を祈るばかりだ。

昨年は早くも、警視庁巡査を拜命して五年近くが過ぎた。職場の生活にも慣れたのか、近頃は音沙汰も少なくなり、こちら

支部総会の開催日が次のとおり決まりました。ご参会をお待ちしております。

- ▽東北支部総会 一月三十一日(木)十七時三十分から仙台市本町、レス平安にて。
- ▽名古屋支部総会 一月六日(水)十七時から名古屋市中区東横、名古屋郵便貯金会館にて。

新年のお慶びを申しあげます

- 大内俊司 木村政次
- 鈴木 實 黒田 一
- 杉尾榮俊 村上益一
- 村山文雄 加納保成
- 東鋼業(株) 宮崎精鋼(株)
- スカイコート(株) 丸定産業(株)
- (株)スチールセンター 明鋼材(株)
- 大東港運(株) 田島鋼材(株)
- 高周波熱錬(株) 伊勢湾海運(株)
- (株)周東商会 中村 是一
- 谷本鉄鋼(株) 広島シーリング工業(株)
- 亨和興業(株) 三和鉄構建設(株)
- 小川運輸(株) 自見産業(株)
- 津田鋼材(株) 不動鋼板工業(株)
- (学)嘉悦学園 豊鋼材工業(株)
- (株)上野百貨店 飯田産業(株)
- 廣 慶太郎 藤田金属(株)
- 石原幸男 三星金属工業(株)
- 木村利秋 (株)辻作次郎商店
- 高島浩一 (株)佐藤製線所
- 橋山和正 北海鋼機(株)

今月の言葉

私達は人生の道すがら、人々物又は環境など様々な「出会い」に遭遇する。進学、就職、結婚を始め色々なふれあひの中で人生の進路を徐々に修正しながら自分の人生を構築していく。

子供の時に出会った小学校の先生の人柄に引かれ、教師になった者、高校に入學した時たまたま席を隣合わせられた者誘われて野球部に入り、日本を代表するプロ野球の選手になった者、又、良き先輩との出会いがきっかけで事業をおこし、大企業に育てた実業家も沢山おられる。これが「運」というものである。

出

が、私もこの運に恵まれ、良き師、良き先輩、良き友と大勢お付き合い頂いている。今の私の商売も、終戦直後どんな仕事をすればいいのかと思案している最中、この「出会い」により、良き師、良き友との巡り合いで、アドバイスや協力を得たことにより、今日の我が社があると考えている。

会

しかし、今迄の数多くの出会いを、全て生かしてきたかと言ふと必ずしもそうとは言えない。素晴らしい方と折角お会い出来るチャンスが有りながら、私の気持ちを十分に理解してもらえず、それっきりの関係で終わってしまったことも多々あった。茶道に「一期一会」と言う言葉があるが、チャンスは一度しかない場

い

合が多く、度々あるものではないのである。素晴らしい方と会うチャンスには、後悔の残らない様に誠心誠意お付き合いすることを心に刻んでおきたい。

又、人と永く関係を保つには、自分自身を養い価値ある人間にしておく必要がある。相手にとって必要ない人間になっている、ということである。

我が社の営業の者には何時も言う言葉だが、お客様にお会いするときは「必ず何か提供出来るものを持って行け」と、情報、面白い話、何でも良いが、何もなければ手土産でも買って行く様にしなければいかん。お客様は少なくとも「時間」を提供してくれているのである。

これからは私自身が「良き出会い」を増やすことは、社員や家族の幸せに繋がることもあるが、それ以上に、自分自身の一生に「一度しかない人生の生き甲斐の為にも大切にしたいと考えている。

警備專家の完結

社会の安全と平穩のために

機動隊の出動は、例年、初詣警備でスタートする。警察庁がまとめた昭和五十年三が日の初詣客は、全国的に好天に恵まれて八千七百五十万人と史上最高を記録した。

これまでの最高は五十八年の八千六百六十万人で、これを十五万人上回り、三年連続しての八千九百万人大会集である。これは全国千二百二十カ所の神社仏閣の人出状況をまとめたもので、このうち明治神宮三百八十一万人、次いで川崎大師三百二十九万人、成田山新勝寺三百十三万人がベストスリー。

雑踏警備が順調に終り、機動隊はこれからも流動的な警備警衛專家に迅速的確に対応していくが、その他自然災害救助等にも出番が求められる。

さすが機動隊、やはり機動隊といつた高い評価が定着しているが、本年も引き続き社会の安全と平和へ向けた隊員達の集団警備を期待していきたい。

さすが機動隊



明治神宮初詣と皇居参賀警備



大阪支部総会

機動隊員等を励ます会が十一日に入った。基礎固めの十年間を経て、これからの十年間をさらに充実拡大していくべく、役員を始め会員一同は気持ちを新たにしている。

会の組織は、東京本部と八つの支部で運営され、本部・支部総会および懇親会等で機動隊員等への励ましを続けているが、昨年十二月十日(月)、第十一回大阪支部総会が開催された。機動隊員等約百五十名を招き、会員含めて合計三百五十名の会場は熱気の坩堝である。

厳粛な国歌斉唱の後、励ます会大阪支部を代表して高島浩一・支部世話人は、「ベストセラー」となっている「危機管理のノウハウ」に書かれている機動隊員事件の遺族の話を紹介、隊員の日頃の活躍に敬意を表すると共に、励ます会が「声なき声の市」

民代表である」と励ました。岩佐英才・近畿管区警察局長と四方修・大阪府警察本部長はそれぞれが励ます会の理解と支援に対する礼を述べると同時に、今後ともあらゆる事案に全力をあげて解決していくと力強く語った。

首根貞雄・世話人が乾杯の音頭をとり、いろいろなアトラクションをバックに懇親パーティーは大きく盛り上がり、隊員と会員の交流は尽きることを知らなかった。

橋山和正・大阪支部世話人の万歳三唱で幕をおろしたが、こうして暖かい励まし、隊員の心の支えとなっていることは言うまでもない。

これからもこうした懇親会等を通じて、励ます会が国民と警察とを結ぶ強固なかけ橋となっていくことが期待されている。





読者の広場

慈眼、亜洲を視る

松一本三良

標題の「慈眼視亜州」と書かれた額が、私の家の長押に掲げられています。これは昭和十二年、南京攻撃の総司令官であった松井大將が、私に書いて下さったものです。

この句のいわれについて大將にお尋ねしたところ、「慈眼」は、私の慈眼の眼、やさしい目であること、「亜州」は、アジア大陸のこと、「慈眼視亜州」としたのは、わが日本が、常にやさしい眼をもつて、アジア大陸を視まわってやらねばならないという意であると教えてくださった。

大將は中国戦線から帰還された後、日中両国の戦役者の靈を弔うため、伊豆に大観音像を建立されました。真に仏道の行者と申すべきでしょう。

その大將が、極東軍事裁判にかけられ、「南京大屠殺」といふ、ありもなかった事件の責を負って、刑死されたことは、まことに無念のきわみでありました。

「南京大屠殺」が、ありしなかつた事件であることは、従来からいろいろ書かれており、最近も文芸春秋十一月号の陸軍会の記事で、明らかにされています。二十三ページにわたるこの記事では、陥落直後の南京に入った、三人の第一機師が、自ら視た事実を正確に述べており、また中国側の史料や、極東



軍事裁判が採用した証言、資料が、いずれも伝聞(人づてに聞いたこと)に基づいたもので、憶測・誇張を加えられた虚報であるを明らかにして、いわゆる「南京大屠殺」なるものが全くなかったものであることを証明してあります。是非一読をおすすめします。

私は、家玉の額に結ばれた松井大將との御縁を誇りに思っておりますので、大將の無実が、一日も早く国内・国際の世論となつて、大將のみ霊が慰められるに到ることを心から祈つてやみません。

それに付いても思うことですが、わが機動隊が、上下を挙げ、尊い任務の遂行に邁進して来られたのだから、これに對して火焔びんを投じ、鉄棒をふるう不逞なやつらが後を断たず、成田空港の警備もますます厳格にしなければならぬとは、何と情ないことでしょうか。

これら、為にする者どもの不埒な宣伝によって、機動隊の真姿が曲げられることのないよう、盛稱「南京大屠殺」の例に鑑み、

息子二人警察官

川崎区幸区 九々寿郎

飯入校から一年、二男の卒業式に妻と長男と三人で出席した。長男は、大学を出てすでに社会人。校内の雰囲気から緊張し、会場に案内された。椅子に座っている二男の後ろ姿を見て、「頑張ったね、卒業式おめでとう」三人ともお祝いの気持ちで一杯。式は、最初から最後まで厳粛な式典で、感動と感動に酔い、心身が硬直、言葉も出ななまじく庭に吐いた。そこには、規律正しく整列した生徒の見守る中で、教官達と別れを惜しむ「ドラマ」を目の当たりに見えた私。特に長男のこの光景を見てよかったです。

私と私は妻と話をした。

やがて、二男が警備隊員となつた。二男が警備隊員に入ると言われた日、弟の卒業式、あの感動の日から人生を変える決心をしたのであろうか。受験から卒業までの二年間、息子二人が警察官になつてしまった。こんなはずじゃなかったのにと複雑な気持ちだ。

たまにま休暇が同じ日、家に帰ると二人の警察官、早速酒を飲んだ。二男は弟ながら警備隊員は先輩で、長男は、兄貴であるが警備隊員では先輩だ。「サー」この関係が非常に難しい。話がややつとして、署の話になると弟は先輩として話す。兄貴は後輩だから先輩を立てる。こういう話だけでは、後輩の兄貴は不満だから、人生の話で将来の方向に話題を変え、兄貴振りた。酒量も増え、話がだんだん難しくなる。

どっちが先輩でどっちが後輩なのか、わからなくなつてくる。もうお手上げ、妻が中心に入つて話を中断。互いに顔を見合せて大笑い。こんな日が何回かあった。今とそれは思い出だ。

昨年、長男(後輩)が世帯をもつた。寮生活の先輩(二男)が休日家に帰っても、後輩はいないのを親を相手に話す言葉には、先輩らしくと先輩官らしさが見えて来た。妻はほほえむ。最近、先輩が家に帰る日が少なくなつたと思つていたら、ときどき後輩(兄貴)の家を訪問すること。先輩、後輩の絆を大事にして、協力し合い、職務に精励できるより親としては見守つていきたい。

(警備隊員九機 九々正管中隊員の父親)

日頃から、その活動状況について、正確な記録を残すことも、時に宜しかった広報を行なうこと

が絶対必要である、声を大にして申し上げたいと思います。

自慢話二つ

福島県浪江町 天野 孟

まず故郷福島県浪江町の自慢話から筆をとります。我が故郷急列車に乗り、約三時間とち



つと、旧相馬五万石の領として県の南端に位置し、自然や山海の味覚の豊富なところ。特に秋のお彼岸が過ぎるころに「鮭」が産卵のために帰ってくるのです。この季節になり、観光客の目玉の「ヤナ場」が開設され、多くの観光客が訪れ、大変賑わいます。

「ヤナ場」では網を張り、觀光客に「鮭」を水揚げするところを見せたい。一度に百匹ほどの鮭がとれる様子はとても壮観です。「鮭の観光ヤナ場」として、東京から一番近いところであり、一度御覧になってはいませんか？と自負しております。

そして第二の自慢として、私の家庭は過去、現在を通じて警察官一家であると言つても過言ではないといふこと。そして私の父が福島県警に、そして私以下、亡妻、長男、次男の計四人が警備隊員に、それぞれ職を奉じ、今は息子二人が現役中でありませう。何よりも喜ばしいことは、子供達は何の悪

北から南から

有事に備えた警備の積重ね

青森県警察機動隊

一、沿革 昭和二十七年八月二十九日警備部警交通課として誕生した。その後幾多の変遷を経て現在の警備部機動隊となった。

二、日常の勤務 全日勤務制をとっており、午前八時三十分、隊長以下全員が隊舎前に整列し、国旗掲揚、日朝点呼、幹部の指示事項の伝達とともに一日が始まる。体境、ランニングの後一般警備、機能別、術科、学科教養のスケジュールに従い訓練主体の毎日である。

これらの訓練については、隊舎玄関に月間の訓練実践目標を掲示し、それに基づき週一回の隊長以下全隊員による全体訓練



天野技術主任の父親

五十八年五月二十六日午後零時頃、ちよとその時は春山遭難救助訓練で隊員全員が山中で訓練中のごときであった。日本海にチード七、七という大きなマグロ部地帯に襲われ、直ちに無線による招集を受けるや現場に向かった。途中道路の寸断、家庭倒壊に遭いながらつた。このことで現場に到着したときは、現場が底を見せながら打ち上げられ、手の施しようがなかった光景が今でも脳裏に焼きついている。何よりも悲惨だったことは、

一、沿革 昭和二十七年八月十三日、国家地方警察隊岐阜本部警備部から交通課所属の二特別機動隊が設置された。当時は本部各課及び地区警察署より機動隊員として命ぜられたもので編成された。

二十九年七月一日、岐阜県警察の発足に伴い独立した。その後は社会情勢、警備情勢の変化に伴い所屬、定員等幾多の変遷を経て、警備部機動隊として現在に至っている。

二、訓練状況 (一)訓練は、柔、剣道、けん銃、駅伝の各特別訓練のほか、治安・災害訓練、また爆処理、レンジャー、アクアラングなど機能別訓練を年間訓練計画に基づいて実施している。

(二)そのほか、術科訓練以外にあって、昇任試験合格を目指す計画的な学習や隊員各級幹部及び本部各課からの講師を招いての法学・実務教養を定期的に受けている。

三、出動状況 (一)伊勢湾台風に伴う災害警備(昭和三十四年) 三十五号による風水害により三十二日間、延二百四十名が出動。

(二)「ひだ川バス転落事故」 現場災害出動(昭和四十三年) 現場中豪雨による山崩れにより二台がひだ川に転落し、死者・行方不明者百四名という、バス

津波により約り人等日本海沿岸で十七人の死者(行方不明者十三名)が出たことであった。宮城、山形、岩手県機のダイバー十八名の応援を得て、青森県において延べ三千四百四十二人、うち青森県機動隊員延べ三百十名の懸命な捜索活動により幸いに発生以来十日目に全遺体を収容した。後日、警察庁長官賞を受賞したが、これも日常のたゆまざる訓練の成果と県警全体機動隊員全員が一体となって捜索救助活動に従事した結果だと思つている。

災害警備にも怠りない訓練

岐阜県警察機動隊

事故としては世界最大の惨事となつた現場に出動し、真夏の炎天下のもと一日間わたたり犠牲者の遺体捜索や収容作業にあつた。

(三)「ナイキ」配備反対闘争治安警備(昭和四十五年) 二「ナイキ」岐阜基地配備反対闘争と七十一年安保が結びつき、革新勢力の最大の闘争目標となり、連日過激なデモが繰り返され、警察官二十一名負傷、四十余名を拘捕した。

(四)「台風十七号」に伴う災害警備実施(昭和五十一年) 清流長良川が台風に伴う豪雨により堤防が決壊し、住民の避難と救助にあつた。(舟艇による救助九百八十七人)

(五)「台風十号」に伴う災害警備実施(昭和五十八年) 飛騨地方を中心に降り続いた雨により美濃加茂市を流れる木曾川が溢水し、同市及び隣接する坂祝町が水没、深夜から明け方まで徹夜での住民の避難と救助にあつた。(避難救助三百余名)

以上、主な出動事例をあげたが、岐阜県は御岳、槍ヶ岳等三千メートル級の山々を有する中部山岳地帯のほか、長良川を含む木曾三川など大小河川があるところから災害警備に関わる機会が多い。また、航空自衛隊岐阜基地が所在しているため、基地反対闘争に係る治安警備出動が多くなつてきている。

念もなく自らの判断によってその道を選んだこと。そこで私から子供達に言つて置きたいことがあります。一つは、仕事や家庭においても目標をたて、その達成のための努力を積み重ねて欲しいということ。目標に向かって挑戦する姿勢こそ人生の勝利者に共通するものではないかと思つています。二つ目は、自分を磨き成長してもらいたいということ。一人前と言われる人は、このことをいつも心に銘記している人間だと思つています。

聖職に奉ずる者として、息子達が常に健康で職務を全うすることを望んでやみません。

(警備隊員九機)

今月の重業

高度成長時代の日本では、どんな場合でも上を向いたままで全力疾走することが美徳とされてきた。経営者は、こぞって会社の規模を拡大しようと狂奔し、サラリーマンたちは、誰もが上のポストを狙ってひたすらモーレツに働いた。おやじさんは、競って店の拡張や売上げの増大をめざして、寝る時間さえも惜しんで稼ぎまくった。

そして日本列島は、昼夜を問わず、ところ狭しと建設の音が高らかに響きわたっていた。

こうなるや付和雷同は、わが日本人のお家芸である。特急列車に乗り遅れまいとする人たちのフィーバーぶり、その貴、あの公平洋戦争の「参国一致」や「億総動員」などの号令に疑いもせずに踊らされた当時の日本国民たちの、つかれたよう

付和雷同の戒め

な姿を想い出させる。他人のこと、世の急流などには一切お構いなしに、マイペースで歩いてゆく人は、変人とも、愚人も評される。少しでも事象を批判すれば、周囲の人々は一斉に睡つこの眼さしを投げかけてきたものだ。みんな

なが特急に乗りれば自分も乗らないと大損をしたような気になるわがらが御同輩たちは、敗戦日本のあの悪夢をすっかり忘れてしまったかのようだった。

しかし、世の中うまくしたもので、驕るもの久しからず、盛衰必衰の理である。世をあげてハイテク時代にも

どんな強い人でも、急な坂道を必死に走れば息切れしてしまふ。そうしなければ人間性でも休養が必要となる。次の飛躍に備えるの休憩時間というわけだ。もし休めを無視して駆け続ければ、いずれは取り返しのつかない破局が訪れることは自明の理である。それが経済という生き物の

光り輝いているピカピカの企業群の活躍ぶりが連日のマスコミを賑がしていることでも明らかである。さて、ここで諸賢にひとことご提言申上げたい。皆々の中にはすでに一年の計を樹てて、それに向って一歩進んでいっらっしゃる方も多ければ、そこで糧を得ている人でも

これからの企業は情報産業や先端技術関係であるといわれれば、それが日本経済の動き全体から見れば、まだまだこれからが問題と思われ、例外的産業であらうがなるが、重厚長大産業はもうダメだといわれれば、そこで糧を得ている人でも

えも自分の会社はもう余命いばくもないと断定してしまふ。つまりこうした自己主張のない、他人のおり見てわがふりを決める、という日本人特有の人間性にあたるも難いではないか、ということである。どうも偉そうに定めて、縮であるが、ゼロナム時代が定着した今年、あらゆる意味で日本はひとつの曲り角にきていると思われ、この厳しい環境を乗り切るために、とくに正確な情報を集め、それをしつかりと分析し、自分なりの人生に十分生かして欲しいと思ふのである。最後に、私どもは機動隊の冷静で沉着を見通しと行動をこそ、今年はとくに見習ってゆべきだと考える。

かけ橋さらに強固 東北支部総会盛況



当座ます会東北支部の第九回支部総会並びに懇親会が一月末仙台市のパレス平安で開かれた。約百八十名、会員含めて三百八十名が参加した会場は、若い熱気で汗ばんだ。

敬請な国歌斉唱で始まり、新田次男・東北支部世話人代表が隊員の日頃の任務遂行に対する精進に敬意を表すると共に励ましの言葉を述べた。

これを受けて加山文男・東北管区警察局長と高田明雄・宮城県警察本部長が来賓を代表して祝辞。励ます会の機動隊員に対する理解と支援に感謝すると同時に、今後とも治安維持に万全の体制で臨むと力強く語った。

去る一月三日に急逝した前東北支部世話人代表佐藤藤一氏に後を追って、東北支部世話人代表が「ブラジル旅行の時、ホテルの前で殺人事件に遭遇した。改めれば日本の機動隊を含めた警察の治安努力が身にしみ」と挨拶、乾杯の音頭をとった。

懇親会ではカラオケ、踊りなど多才な芸が披露され、合唱では若い隊員の列に会員が入り、肩を組んで熱唱するなど大いに盛り上がった。

三沢昭郎・支部世話人の万歳三唱で幕をおろしたが、隊員と会員の心の交流は、段々強まった。

一、沿革 静岡県警察機動隊は昭和二十七年九月一日、国家地方警察静岡県本部機動隊として発足した。二十九年七月一日警察制度の改正に伴い「静岡県警察機動隊」と名称変更され、変遷を経た上、昭和四十一年現庁舎が完成し、現在、隊長以下所要の陣容で運営されている。

所在地は国鉄静岡駅の南方約一・五キロメートルに位置し、南方近くには弥生文化の集落のたがすみに今に残る登呂遺跡があり、隊庭からは東方に富士の勇姿を望む環境下にある。

二、日常の勤務 日勤務であり、年間、月間の教養訓練計画により活動している。

本年の重点は、集団警備力の充実と練度の向上、特殊部隊等機能別部隊の質的向上、強く正しく人間性豊かな人づくりの推進とし、待つあるを待む、中核部隊として、精強な機動隊の育成に努める。

訓練は通常、治安警備訓練と機能別訓練(爆処理、特殊レスキュー、レスキュー、スクーパー等)を半々の割合で実施し、警備出動等が予定される場合はそれに向けての集中的な訓練を実施している。

特徴として、いつ起こっても不思議ではないと言われる東海地震の真只中において、地震防災対策強化地域に指定されたことから、年間を通して震災訓練を繰り返し実施し有事に備えている。

この他、警視庁について全国二番目という儀しよう隊を持っていて、これは昨年十月に発足したばかりだが、各種の儀式において活躍している。

三、主な出動事例 三・二五 新東名国際空港反対闘争警備(四・八)一〇二日 共全労働会議開催に伴う警備 六・一 使用済燃料搬出阻止警備 六・一七 トモホウ記 備反対集会デモ警備等のほか、下須崎警備隊警備二回(一)

一、沿革 佐賀県警察機動隊は、昭和三十一年一月公安部交誼課所属として発足し、当初は、隊員全員が柔剣道特別訓練員をもって構成されていた。その後集団警備力を確保するため、三十八年三月警備部の一所属として独立し、四十五年三月現在地に新庁舎を新築、五十一年三月外動課所属の管区機動隊佐賀小隊を吸収し、合同運用を行なっている。

二、訓練状況 日勤務体制で、治安、災害、維路警備等ほか、警察各部門全般の取組や捜査などの支援はもとより、レスキュー、潜水水等の特殊技能を必要とする活動を通じて、県民の信頼に応える機動隊としての向上を目指し、特別治安警備訓練では、隊独自の警備訓練は週二日以上、第一機動隊との合同訓練は月一回以上を実施している。

また、各種事件事故に対応する機能別訓練(レンジャー、レスキュー、潜水、爆処理)は週一回を原則として実施し、正週一回の一般教養訓練は、正

義と公正を守る旺盛な使命感をもつて県民の期待に応える警察活動がである、訓練「強く正しく明るく愛される」の機動隊」を定め、実務能力の向上に重点を指向した学科教育と情操教育を推進するとともに、体力・気力の向上を図る柔剣道等の術科訓練や体育練を推進している。

三、出動事例 隊の運営重点を十分反映しつつ、情勢に対応した有機的活動を推進しているところであり、出動回数は毎年増加の一途をたどり、警備部門に限らず刑事防犯、交通各部門の支援活動を実施している。

最近の出動事例としては、(一)安海原原警備、(二)エコプラパニングに伴う警備、(三)エンパラ佐世保寄港に伴う警備検問、(四)津町における豪雨災害警備、(五)暴力団対立抗争事件に伴う警備、(六)佐藤和多田支店強盗事件捜査などあり、県民の信頼と期待に応え、高い評価を受けている。

四、「肥前のくに、佐賀の紹介 肥前のくに、佐賀には「武士道」とは、死ぬ事と見つけたり」で有名な葉隠武士の居城であった。鍋島藩三十五万七千石の佐賀城跡があるが、ちなみ佐賀県機動隊のシンボルマークは、旧鍋島藩の家紋である「杏葉」を図案化し、大楯をはじめ出動ヘルメットやジャケットに愛用して、葉隠の血を連綿と受け継いだ心意を示している。

その他に肥前路の景として、玄海の自然景観を觀賞できる唐津虹ノ松原、豊臣秀吉の朝鮮出兵の城跡で有名な護国神社や情緒豊かな出湯の街、武雄雄野温泉などがあり、また清澄な磁器の産地である、陶芸美術の至宝といわれる伊万里、有田焼など県内各地の宝元めぐりを楽しむことができる。

はげまし

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

北から南から 震災訓練を繰り返し実施 静岡県警察機動隊

三、六月 総理警備二回(一、四月、海浜警備七・二〇、八・二〇) があげられる。

葉隠の血を連綿と受け継ぐ 佐賀県警察機動隊

義と公正を守る旺盛な使命感をもつて県民の期待に応える警察活動がである、訓練「強く正しく明るく愛される」の機動隊」を定め、実務能力の向上に重点を指向した学科教育と情操教育を推進するとともに、体力・気力の向上を図る柔剣道等の術科訓練や体育練を推進している。

隊の運営重点を十分反映しつつ、情勢に対応した有機的活動を推進しているところであり、出動回数は毎年増加の一途をたどり、警備部門に限らず刑事防犯、交通各部門の支援活動を実施している。

最近の出動事例としては、(一)安海原原警備、(二)エコプラパニングに伴う警備、(三)エンパラ佐世保寄港に伴う警備検問、(四)津町における豪雨災害警備、(五)暴力団対立抗争事件に伴う警備、(六)佐藤和多田支店強盗事件捜査などあり、県民の信頼と期待に応え、高い評価を受けている。

原点に返ってさらに前進 充実した年に 警視庁機動隊

先輩は、また一年ありますと。この二つの話には大変な差がある。今更なる、つくづく思っている。あと一年しかないと言え、一年しかない」と答えた先輩のあの時の言葉は、私の考えを大きく変えてくれた。

丑年の今年、昭和も六十年である。昔から六十年をもって暦は振出しに戻るといふ。いふなれば今年が昭和還暦にあたる。機動隊員は更なる飛躍と前進の

己れに克つ

一機 斎藤智三

一昨年四月に着隊以来、一年十ヶ月が過ぎようとしている。何もわからず上司や組長の言うことをきいて、ただ夢中で行動しては来たが、昨秋、炎天下での成田警備、真冬の雪が降る中で重防備など様々な想い出がある。

また一昨年はSNA C警備、そして昨年はK警備と二つの重要な警備に従事することができた。これらの機動隊生活において、あらゆる面でプラスになるものと確信している。

先輩は、まだ一年ありますと。この二つの話には大変な差がある。今更なる、つくづく思っている。あと一年しかないと言え、一年しかない」と答えた先輩のあの時の言葉は、私の考えを大きく変えてくれた。

丑年の今年、昭和も六十年である。昔から六十年をもって暦は振出しに戻るといふ。いふなれば今年が昭和還暦にあたる。機動隊員は更なる飛躍と前進の

この一年を顧みて

二機 高山光男

今年初めて、この昇任試験を受験する資格ができた。私には二つの考え方があり、一つは昭和五十九年は三度の目の新隊員訓練を受けたことに尽きる。

また一昨年はSNA C警備、そして昨年はK警備と二つの重要な警備に従事することができた。これらの機動隊生活において、あらゆる面でプラスになるものと確信している。

破れ切った眠りに落ちた。今更なる、つくづく思っている。あと一年しかないと言え、一年しかない」と答えた先輩のあの時の言葉は、私の考えを大きく変えてくれた。

丑年の今年、昭和も六十年である。昔から六十年をもって暦は振出しに戻るといふ。いふなれば今年が昭和還暦にあたる。機動隊員は更なる飛躍と前進の

言うは易し 行うは難し

三機 平川 尚

昨年の秋も入隊者があり、私も先輩と呼ばれるようになった。昭和六十年は、自分がベストを尽くした、と自分に言い聞かせるような一年にしたいと思っている。

また一昨年はSNA C警備、そして昨年はK警備と二つの重要な警備に従事することができた。これらの機動隊生活において、あらゆる面でプラスになるものと確信している。

破れ切った眠りに落ちた。今更なる、つくづく思っている。あと一年しかないと言え、一年しかない」と答えた先輩のあの時の言葉は、私の考えを大きく変えてくれた。

丑年の今年、昭和も六十年である。昔から六十年をもって暦は振出しに戻るといふ。いふなれば今年が昭和還暦にあたる。機動隊員は更なる飛躍と前進の

今年こそは

四機 今村修一

昨年は、私の人生にとって、重大かつ意義深い年であったように思っている。以下、二つの事項について、反省の意をこめて振り返ってみよう。

また一昨年はSNA C警備、そして昨年はK警備と二つの重要な警備に従事することができた。これらの機動隊生活において、あらゆる面でプラスになるものと確信している。

破れ切った眠りに落ちた。今更なる、つくづく思っている。あと一年しかないと言え、一年しかない」と答えた先輩のあの時の言葉は、私の考えを大きく変えてくれた。

丑年の今年、昭和も六十年である。昔から六十年をもって暦は振出しに戻るといふ。いふなれば今年が昭和還暦にあたる。機動隊員は更なる飛躍と前進の

操車係一年生

五機 坂本克己

「ピーピー」押し合わせ、ゆっくり前に進んで下さい」

また一昨年はSNA C警備、そして昨年はK警備と二つの重要な警備に従事することができた。これらの機動隊生活において、あらゆる面でプラスになるものと確信している。

破れ切った眠りに落ちた。今更なる、つくづく思っている。あと一年しかないと言え、一年しかない」と答えた先輩のあの時の言葉は、私の考えを大きく変えてくれた。

丑年の今年、昭和も六十年である。昔から六十年をもって暦は振出しに戻るといふ。いふなれば今年が昭和還暦にあたる。機動隊員は更なる飛躍と前進の



無線機のひとこと
六機 江田裕一
僕は、四機の無線機である。名前には四機という体格はやや太めだ。途中から入ってきた九機という小型で高性能の無線機に、七機とともに三代目として替わられようとしている。

無線機のひとこと
六機 江田裕一
僕は、四機の無線機である。名前には四機という体格はやや太めだ。途中から入ってきた九機という小型で高性能の無線機に、七機とともに三代目として替わられようとしている。

また一昨年はSNA C警備、そして昨年はK警備と二つの重要な警備に従事することができた。これらの機動隊生活において、あらゆる面でプラスになるものと確信している。

ケアーにより、怪我や病気をした者が一人もなかった。しかし、毎日頭張っている僕達も弱点がある。エネルギー不足と雨に弱いのだ。エネルギー不足だと用をなさないので、早目に電池を交換してもらいたい。また雨に濡れるとシートして話にならない。雨のときはカッパを着せてほしい。隊員の皆さん、どうかこの点を忘れずよろしくお願いする。

最後に皆さんにお願いすることは、僕を持つのをわがらないうで、積極的待ってほしいというところである。その為には係の人とよく練習してほしい。同時に彼女のように大事に扱ってほしい。(通信係員)

歳月人を待たず

七機 上田政則

機動隊の「初荷」とも言うべき明治神宮を、初詣準備で新年のスタートをきった。昨年は猛暑の中で沖日教組機動隊連日連夜の厳戒体制で迎えた。今思えば不思議と機動隊に思えてくる。

我々機動隊は機動隊の第一線にあって、刻々と変化していく多種多様な警備事象に処していかなければならない。一機動隊は生かすのであり、万が一機動隊は生かさない。そのため常に気持を新たにしておかなければならぬ。

昨年には私にあっては、例年になく厳しいものであったが、警視庁に残る大警備に機動隊の一員として従事出来たことはまさしく機動隊員冥利に尽きる満足できた年であった。さて私自身はというと、なん時間と無駄に過ごしてきたかと反省している。二年前の日記とまではいかないが、その日の出来事や感じたことをノートに書きつけているが、そのノートの右隅にマル、バツを書き入れている。一日をバツに使った日はマル、そうでない日はバツ。なんとバツが多いのか。時間は誰にも平等に与えられており、それを生かすのも本人次第。またよく言われること、二十年代の若い時の一年や二年の

ムダは取り戻すことはできないが、年代が上がるに従って時間を大切にしたい。この歴史に残る大警備に参加できなかったのは、私の警務生活において忘れられない。

機動隊員としては素晴らしい一年間であったが、個人個人にしてみると時間の浪費が反省させられる。このことを肝に銘じて、今年には時間の使い方もっと真剣に取り組む。マルの多い公私とも満足した年であると言えよう。来年に備えて

未来に備えて

八機 黒木重通

昨年を振り返ってみると、新分隊長として、着陸したばかりの一年に比べると、分隊長としての動きも板につき、自分ながら充実した一年であった。思ふ。

昨年の大きな警備と言え、六月の沖日教組機動隊、そして九月の全斗煥大統領来日警備があげられる。その他にも、数多くの警備を思い出すと、数多いが、どれをとっても、私には良い経験であり、機動隊生活を意義深いものとした。

沖日は、梅雨時ではあったものの暑さは東京とは比較にならない。高温の中で完全装備は防護衣の中を汗が流れ、脱いだヘルメットを見ると、その底に汗がたまっているほどであった。しかし、一糸乱れぬ完璧な警備を実施し、警視庁機動隊の名をより一層高めたことは、誰もが認めることである。次に、全斗煥大統領来日警備には、高速道路対策部隊として従事した。先輩が築きあげた「高速の八機」の名を汚さぬよう、排気ガスや騒音で環境の非常に悪い中で警備であったが、全神経、全精力を使い、無事この大警備を完了した。分隊長と年代が上がるに従って時間を大切にしたい。この歴史に残る大警備に参加できなかったのは、私の警務生活において忘れられない。



の大警備を完了した。分隊長と年代が上がるに従って時間を大切にしたい。この歴史に残る大警備に参加できなかったのは、私の警務生活において忘れられない。

これからの警備を無事終了した今、様々な体験から、機動隊について私は次のように考えている。第一に、強健でたくましい機動隊員であること。集団活動力が要求される機動隊の部隊活動力の基礎は、ひとり一人がたくましくなければならぬ。そのために、日頃の体力の錬磨は欠くべからざるものと思ふ。

苦しさを越えて

九機 鈴木秀樹

私が、昨年四月九機に着陸してからもう十ヶ月が過ぎようとしている。若者の集団、活気に満ちた職場、幅の広い人間関係、等々、機動隊にしかない魅力を探り、自ら希望していた私だったが、着陸直後一週間の新隊員訓練で、その厳しさに新隊員同士を固く結び、それと今となっては楽しい思い出である。(分隊長)

私が、昨年四月九機に着陸してからもう十ヶ月が過ぎようとしている。若者の集団、活気に満ちた職場、幅の広い人間関係、等々、機動隊にしかない魅力を探り、自ら希望していた私だったが、着陸直後一週間の新隊員訓練で、その厳しさに新隊員同士を固く結び、それと今となっては楽しい思い出である。(分隊長)

機動隊への異動が決まってきたら、私は二つの目標ができた。その一つは、巡査部長昇任試験に合格すること。そして二つ目は、各種の資格を取ることに。広報・無線、その他いろいろの資格を取って、特殊技能を身に付けることである。私の場合、受験資格ができるのが一年以上も

先のことなので、当面の目標は二つ目の「資格を取る」ことにしぼることができる。

着陸直後、突然中隊長に呼ばれ、一鈴木、五月三十日からレスキュー検定に向けて毎日訓練をやるからしかり頑むぞ、と下命された。「レスキュー、俺が？」中隊長は、他の隊員と間違えて私に言っていたのではなかと半信半疑だったが、確かに「鈴木、頑むぞ」と言っていたのだ。

治安の最後の砦

特車 大久保修介

五十八年十二月三十一日、西新井大尉の新年を告げる鐘が鳴り響いた。その瞬間から正月気分をゆるり味わり暇もなぐめまぐらしはかりの一年が始まった。

新年皇居参賀、北方領土の日狭山開き、メーデー、隅田川花火等の各種スケジューリングの警備に従事した。初めての経験であったが、六月十三日から二十一日までの九日間、炎天下の沖日で日教組大会警備にも従事した。

また、国際社会における日本の役割の高まりを反映し、各国からの国公賓の来日が相次いだ中で、史上最大の警備といわれた大韓民国全斗煥大統領夫妻一行の来日警備は、連日特機招集がつつき、特機連長伝令の私につけては、本日に印象に残る大警備であった。この「K警備」に向けては、特機もかなり早い時期から招集され、実査・訓練して徹夜の遊撃検閲等に従事し、士気はイヤが上にも高まっていた。

とするために、今後益々努力・体力の充実をはかると共に、苦しい時や困難な事柄に遭遇した

とすために、今後益々努力・体力の充実をはかると共に、苦しい時や困難な事柄に遭遇した

王滝村救助記録写真が長官賞

長野県警察機動隊

本官郡王滝村の奥西部地震被災現場で、県警のレスキュー隊員が歴々と泥に付きながら遺体を搬出している写真が、昨年末の警察庁の写真コンクールで長官賞(銀賞)に選ばれた。

長官賞(銀賞)を受賞。六十一年の警察庁カレンダーに採用された。

愛知県警察機動隊は、第十三回機動隊旗祭を開催するに当たって、機動隊員等を励ます会名主屋支部世話人多数の来賓を迎えた。

愛知県警察機動隊は、第十三回機動隊旗祭を開催するに当たって、機動隊員等を励ます会名主屋支部世話人多数の来賓を迎えた。

愛知県警察機動隊は、第十三回機動隊旗祭を開催するに当たって、機動隊員等を励ます会名主屋支部世話人多数の来賓を迎えた。

第十三回機動隊旗祭好評

愛知県警察機動隊

愛知県警察機動隊は、第十三回機動隊旗祭を開催するに当たって、機動隊員等を励ます会名主屋支部世話人多数の来賓を迎えた。

愛知県警察機動隊は、第十三回機動隊旗祭を開催するに当たって、機動隊員等を励ます会名主屋支部世話人多数の来賓を迎えた。

愛知県警察機動隊は、第十三回機動隊旗祭を開催するに当たって、機動隊員等を励ます会名主屋支部世話人多数の来賓を迎えた。



式開式を招いて世話人会を励ます

時、お互いに助け合える友を一人でも多く作りたいと思う。(警備係員)

時、お互いに助け合える友を一人でも多く作りたいと思う。(警備係員)

責務を果たす

忍耐力の機動隊

忍耐力の機動隊

忍耐力の機動隊

- 鈴木 木 實
- 津田 鋼材 (株)
- 周東 商会 (株)
- 亨和 興業 (株)
- (学) 嘉悦 学園
- 大野 興業 (株)
- 高周 波熱 錬 (株)
- 西野 公 庸
- 竹之上 誠 剛
- 浅田 弥 三 郎
- 光洋 商 事 (株)
- 加納 保 成
- 宮崎 精 鋼 (株)
- 豊田 通 商 (株)
- 岡谷 鋼 機 (株)
- 丸橋 正 彦
- 内外 運 輸 (株)
- 自見 産 業 (株)
- 新潟 鋼 機 (株)
- 大川 鉄 工 所 (株)
- 仙台 運 送 (株)



読者の広場

GNPプラス 人間環境

石原 幸 男

地下鉄の車内で、不法な若者に注意した老人が、若者から殴られて二週間休むのをした。丸の内署では十八人からなる専従捜査班を作り、ピラ二枚を配布して目撃者を探した。

「大げさだ」と思ふかも知れないが、ともかく暴力の芽は、早いうちに摘むべきである。

アメリカでは、時を同じくしてというよりは、ニューヨークの地下鉄で、黒人の少年四人組に金をゆすられた白人の中年男が、四人をビストルで撃つ。この男は四年前に地下鉄で強盗にあって以来、護身用にビストルを携帯していたのだが、この事件に對して新聞社やテレビ局には、男の行為を称賛する市民の声が殺到し、男は一躍ヒーローにまつりあげられているという。

少年の一人は半身不遂の重傷を負ったと報ぜられているが、事の次第はともかく、いかにもやり切れない殺伐とした話である。これに比べると日本の暴力は、ヤル力もヤレル方も、まだマンナなかと思ふが、これも教育の差とか、警察力の行き届きかたの差でもあるのだから、そこそこでは、人間の生活のしやすさとは何だろうか。普通、その地域の住民の幸福の度数は、一人当たりの所得額で判断されることが多いが、それはかりではない筈だ。——この点に關しては

スを入れたもの一つに、宮崎県の開発したTLP (Town Level of Province — 総合地域指標) がある。

宮崎県によれば、これは「県勢発展の総合的なバロメーター」としては、従来からGNP概念の所得水準があるが、TLPはこれら経済的な豊かさのほか、安全、健康、快適、便利、文化……など県民をとりまくさまざまな環境もと入れ、八住民の福祉Vを評価の基準とした幅広い概念体系を持つ、いわばGNPプラス人間環境Vの指標……なのだからである。

宮崎県の分析によると、宮崎県自体は、県民一人当たり所得が全国でピリから何番目というところだが、生活空間のゆとり、生活の安全さ、公害の状況などを加味すると、TLPは全国でも中間程度にランクされるという。

いささか牽強附会の感なきにしもあらずだが、しかしたしかに、いかに経済力があっても、命あつての物産である。だいたい、宮崎県には地下鉄がない。——こう考へて行くと、やはり世界の最先端を行かなくとも、ビストルを持たずに歩ける世の中の方が、つくづく有難いのではないかと思ふ。『はげまし』にも力が入る次第である。

足と健康

中村 是 一

人間にとってなにが大切かといつても、生命ほど大切なものはありません。生命の根源は健康であり、よい仕事や事業を成し遂げるためには健康でなければならぬといはうまでもないことです。

長寿の方々の長生きの秘訣について話を新聞等の記事を見ますと、簡潔な食事、適宜な運動、そして物事に楽天的な考え方を持たれていることであり、至極単純な生活態度に思えますが、ごく自然の道理に叶つたものです。

やはり心の持ち方、物の見方によるものであり、平常心を保持できる精神力ではないでしようか。そして日常それを継続している事が、健康の基になつてゐるものと云われています。飽食の時代とか云われている昨今、栄養に片寄らぬバランスの取れた食事養生が、かえつてむしろかくなつてゐるとも云えましようか。

昔から「歩け、歩け。火に当るより日に当たれ」とか、「頭を使へ」と健康の教えを示して

いますが、人間の体は動くようにはできて、筋肉は使えば使えばほど血のめぐりよくなり、特に歩くことは足の力か、足の芯、つま先に対して力を与えらることであつて、歩くことは足を鍛えることになりなす。

歩くことでの刺激の度合には医学上の法則で「弱い刺激は生命活動を振り起こし、中程度の刺激は生命活動を促進させ、強い刺激は生命活動を抑制する云々」とあります。従つて刺激があまり強くては逆効果ですから、中程度の刺激で全身の生命活動を適度に刺激することがよいと云うです。

「健康への最上の道は歩道にあり」とも云われる如く、楽しく歩くことは単純な方法ですが、続けて実行することが肝要であります。足を鍛えそして大切にしましょう。



昔と今

小川 郁 雄

会員の皆様方の中にもまだ記憶しておられる方も多しと思ふが、昭和二十七年五月一日の皇居前で起つた流血の騒動事件の事である。日米平和条約が発効し、新しい日本がスタートした。天皇陛下立上禁止区域となつて、千人が立ち入り禁止区域となつた。それを阻止しようと警察隊約六千人が正面衝突、大騒動となり、約千人の死傷者を出した事件である。

当時私は、大学一年生の血気盛んな若者であつた。また私の高校時代の同級生であつた某氏は都学連の闘士となり、当日このメーデーに参加し、この大騒動事件に加わり行動した。ところが警察隊と乱闘の末、官隊の警棒で殴られ負傷し、病院に収容されたが、意識を回復することなく数日後病院で死亡したのである。

仮にこの行為が正当であるかないかは別として、現実には我々のこの若い級友を死に至らしめた警官隊の行為は決して許さるべき事ではないと考へ、仲間や警察に對する不信感と憤りを感したものであつた。

それから数十年の歳月が過ぎ、私も世間では「オジン」と呼ばれる年代となり、我々の学友もそれぞれ分野に進み、それぞれに要職に就き活躍してゐるが、誠に結構な話を話したと嬉しく思つてゐる。

私も当初は恥づかしいことだが、機動隊員等を励ますようなものかどんな会でも、どのような仕事をされてゐるのかもわからない状態のまま、この会の一員となり、度々毎に出席し、隊員の皆様方の本来の業務の実際を知るようになるにつれ、当時の事件に對する自分の考え方を回想し、著しい時代の変化に自分自身が驚いてゐる。

無秩序に行動するデモ隊と、極く限られた行動範囲の中で、しかもほぼ同年代の機動隊が自分の感情を抑え、組織によってその鎮圧に務めなければならぬ。

い苦勞は察して余りあるものと感銘するところである。

過去に淺間山荘事件、成田空港事件等、時と場合によつては尊い命を奪われるような任務にも、その危険を顧みず、固く、国民のために昼夜を問わず明日への明るい社会を作り出すに貢献されてゐる機動隊員の諸氏に對し、ただただ頭の下がる思いである。

今では、当時の都学連や全学連も各セクトに分散して地下に潜り、より凶悪な事件を引き起すべく、その機会を窺つてゐるかのようにも思ふ。

時代の流れと共に発する事件の規模も多様化、複雑化し、凶悪な犯罪が後をたたないが、昨今ではグリコ・森永事件のような卑劣な手段による犯罪事件の悪化に、連日多数の機動隊員の皆様方や警察関係の方々も動員され、一日早く犯人を逮捕すべく、一生懸命努力されてゐる状況を知る度に、ただただ敬服の念で心がいっぱいになる。

昔と今とは、人間考へ方もその立場、その環境によつてこんなにも變つて行くものかと思つたり、若い時代の自分の扱ひはかな思慮分別が恥づかしくてならない。

これからは隊員の皆様方の益々のご健闘、ご活躍を心から期待してやまない。

文壇の登竜門

芥川 準 一

ずいぶん久しく、長い文章を書かない。そのため長文ものになるとまとまりがつかない。電話の普及によつて手紙を書くことが少なくなつた。挨拶や



また、OA機器の情報化社会では、手紙そのものや文章そのものに、従来の個性あふれるものが埋没されて、パターン化されるように思ふ。

小生の場合、何かにつけて社内文書や事務文書に多く携つてゐるが、何を書かしてでも書き出しが同じで、やはりパターン化してゐる。中身をほんの少し変えるだけで大差がない。しかし、だからといってこうした文章に一掃を、つづけて書くわけにもいかず、何を書くかにも困るので、下書きには一掃を入れ、近しい友人に出す手紙のようにして書くことにしてゐる。

たゞ、葉書は苦手だ。小さい文字にすると余白が大きすぎる。大きい文字にするとは供の手紙のように具合が悪。おまけに拙筆が、不特定多数の人に恥を書いてしまふのだからできるだけ封書にする。

この頃自分で感ずることだが、文章には起承結があるのに、小生が書く中間の二つが監視されて「一次は何を書こうか」という気持ちになる。

こうした最近のプロセスで結論を導き出すとする思考回路は、推理小説の犯人を探してから「ナルホド」とうなずいてゐるようなものだと自戒してゐるが、効果はない。

小説家はそれぞれて、自分の作り出した言葉を持つてゐる。たゞそれは、そのときには自分の感覚から作り出された「感字」であつても、大多数の人が認めることによつて、文字にはつきりとした存在感が出てくる。

現在の学生は、漢字を知らないけれども感字は知つてゐるとマスコミによく紹介されるが、感字のほうがあるときはそれらしく見えるから不思議だ。文章上手になるには、慣れることと名文に親しむことと云われる。また、小説は書き出し一行、結び一行だとも言われる。小生のような駄文生徒には及びもつかないが、ひとつだけ名作家になれる要素はある。

それはラブレターを書くときだ。ラブレターはどんな小説よりも素直らしいものだといふ相手への思いやりひとつと名作家かそつてないかの分岐点だといふ気がする。

文章を生む若しはは盗作を生み、盗作が名作家への登竜門なら、この文章を生む若しはは、その階段をひとつさげに登つてゐると思つたいものだ。

お知らせ

▽佐藤康一 東北支部世話人代表が去る一月三日逝去されました。故人は当励ます会東北支部の発展に並々ならぬ貢献をされました。改めて敬意を表するとともに御冥福をお祈り申しあげます。

▽東北支部世話人代表に新田次男氏が選出されました。同支部の運営に卓抜なる指導力を発揮されることを期待すると同時に、会員各位のご協力をお願いいたします。

▽九州支部総会および懇親会を三月六日(水)十五時から福岡市博多区博多駅前三二一八住友生命ビルで開催致します。多数奮つてのご参加お待ちしております。

▽住所変更の際は、お手数ですが事務局へご一報いただければ幸いです。



今月の言葉

よく思うのだが、時速一〇〇キロで疾走する新幹線の車中で、乗客のある人は雑誌や新聞を読んでいる。ある人は缶ビールを一杯やちやちやと飲んでいる。また居眠りしている人も居る。まことに皆安心して身を任せている姿は一体何かくるのだからか。

二〇〇キロといえ地上を移動する乗り物としては大変なスピードである。それは外でもない、新幹線の諸設備や運行している鉄道職員を無意識のうちに信用しているからである。

世間には、俺は他人を絶対に信用しないと人間的に居るが、現在の共同社会において人間は一日たりとも他人を信用せずに自分自身の公私の生活を成り立たせることが不可能であり、自覚するか否かに拘わらず

暖かい支援に感謝

第10回名古屋支部総会



当会が一月六日十七時から名古屋支部総会が、一月六日十七時から名古屋郵便貯金会館で盛大に開催された。

式次第にしたがって国歌斉唱で始まり、小野目・名古屋支部世話人代表が「任意団体でスタートした当会が、社員法人に衣替え、一万二千名を超える会員数まで発展したことは、各会員の熱意に支えられたものであると同時に、機動隊員の努力が励まし甲斐のある存在になっている」と挨拶。

来賓として石崎昭・中部管区警察局長と佐藤政善・愛知県警察本部長はそれぞれ「機動隊が任務を果していくためには国民の理解と支援が必要である。当会がかけ橋となっていて、国民の理解と支援がなくてはならない」と感謝する。隊員はさらに頑張っていくが、会員の引き続きの支援をお願いする」と祝辞を述べた。

鈴木實・当会副理事長の乾杯の首領で懇親会に移り、隊員による歌や寸劇などが披露されて和気あいあい裡に終了した。太田豊實・愛知県警察機動隊長が「当会を始めてから、国民の支援に感謝すると共に、これからも責務を全うしていく」と謝辞。

最後は嘉悦康人・当会副理事長の熱情溢れる万歳三唱で幕を閉じたが、こうした暖かい励ましに招かれた若い隊員達はいずれも顔を紅潮させていた。

はげまし

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

暖簾を大切に

社会組織の絆として機能している信用なるものを無視しては生きられない。人は皆時々刻々社会を支えている誰かのお世話になって自分を存在させているのである。ということば、

逆に自分自身もまた人様のお役に立つ存在でなければならぬ。つまり人から信用される存在でなければならぬということである。

親は子供に、世間の人から後指を指されたい人間になれと願う。信用される人間になれという当然の親心

である。論語に「子曰く人にして信なくんば其の可なるを知らざる也」とある通り、信用がなければ、人間はその社会において何事もなすを得ないことを孔子が二千五百年余昔に真理として喝破している。

俗に「暖簾を守る」とか「暖簾に傷がついた」とか言うが、これは昔の商家から出た言葉で、現在では企業に当てはめて使われている。暖簾とは即ち信用のことである。長年わたって営々と積みあげた会社の信用も僅かひとつの不祥事で崩れ去

り、その回復に第一歩からの出直しを余儀無きされた例は多い。個人にせよ企業その他の組織体にはその社会において何事もなすを得ないことを孔子が二千五百年余昔に真理として喝破している。

世の中には、世の中の中には大変な強運に恵まれて頭角を現す人や企業があるが、信用を失う行動に出た時、運命の女神は逃げ去ってしまふのである。心すべきことである。わが国は、外国に比較して極めて国内治安の良い国であると言われる。

そして国民性として水と安全は只のものと思っているようだが、これは無自覚のうち、国民が警察力を信用し信頼している姿であって、警察の力強さの証明に外ならない。外国では治安出動隊が出ることも珍しくはないが、わが国では自衛隊の出動は災害や緊急の人命救助に限られており、その分警察と機動隊に負うところ極めて大である。

国民としては、意識的に機動隊の皆さんの活躍に感謝の念を表明すべきであると痛感すると共に、機動隊の皆さんのご負担に応え、より高い士気のもとに益々信用と信頼を得て、社会の安全と平和維持に向けて邁進されることを期待する次第である。

北から南から

右翼街宣活動で警戒警備増加

愛知県警察機動隊

第十四支部総会を無事終了、世話人一同は次の十年間へ向け、更に大きく発展させていくべく決意を新たにしている。

一、沿革
昭和二十七年八月一日、国家地方警察愛知県本部の付置機関として特別機動隊が発足。その後の治安情勢の変化により幾多の変遷を経て四十二年一月一日「愛知県警察機動隊」と改称し、現在に至っている。

二、日常の勤務及び訓練状況
(一) 日常の勤務
日常の勤務は特別勤務制(毎日勤務制)をとり、各日一個小隊を当番小隊としている。警察本部庁舎及び名古屋空港の警備勤務に出動するほか、情勢に応じて空港関連施設、領事館等の重防警戒、さらには暴力団警戒、暴走族取締り、公営競技場、各種祭礼行事等の雑警備等に従事している。

最近の特徴として、大韓航空機墜落事件以来、右翼の街宣活動が活発化し、これに伴う警戒警備が増加している。

(二) 訓練状況
午前九時日朝点検、隊員の「一口教養(基礎法堂)」「逮捕一技訓練」、隊周辺の「四キロかけ足」に始まり、「月間教養訓練計画」に基づいて治安警備訓練や災害警備訓練等の各種警備訓練のほか、柔剣道、速捕術や一般教養等を実施し、体力・気力の充実と士気の高揚を図っている。

また、午後五時十五分の国旗降納時には「隊員五誓」の一、「責任を自覚し、任務を完遂し守る」と、二、「礼儀を正しくし、規律を守る」と、三、「技をみがき、体力・気力を充実し、規則を厳守し、融和団結しよう」と、四、「国民の信頼に恥じない人格の養成に努めよう」との唱和で、一日の反省と明日への決意を新たに、「県民から信頼される精進した機動隊」の確立に努めている。

三、最近の主な出動事例

(一) はじめに
この世を花にするために、昭和四十三年、米海軍原子力空母エンタープライズ佐世保入港阻止闘争/監視行並びに近畿以西機動隊の先遣方の御支援をいただき、幾多の苦難を乗り越えて守りぬいた。最後の業、今に継ぐ我々として諸先輩の偉業に負けじと頑張っている。

二、沿革
昭和二十七年八月十五日、国警、警ら交通課主管のもと発足。三十七年長崎県警察本部警備部へ所属、四十四年長崎市中町(庁舎移転等幾多の変遷を経て、四十五年七月に新編成で現在に至っている。

三、日常の勤務及び訓練状況
隊員の日常勤務は、午前中に朝礼及び四キロランニングとサーキットトレーニング、更に一般学科と実務能力向上のための教養訓練を行ない、午後は治安警備訓練(アクトラング、レンジャー、爆発物処理等)及び柔剣道・速捕術訓練を行っている。

長崎県警機動隊は世帯が小さいことから、機能別部隊では一人の隊員が二ないし三の部隊を兼務している。したがって各部隊には必然的に厳しい訓練の一環として、講師を招いての

四、出動
佐世保市に米海軍基地及び石本ダム建設等多くの警備対象を擁していることから、毎年数多くの出動事故があるが、主な出動を拾いあげてみると、
昭和三十三年鐘早大水害(死者不明八百五十八人)。三十五年三池争議応援出動。三十九年米原争議応援出動。三十九年米原争議応援出動。四十二年米原入港阻止闘争。四十四年米原入港阻止闘争。四十四年長崎大学闘争(火災に四千人)。五十二年バスジャック事件。五十三年新東京国際空港開港警備応援。五十二年原子力船むつ佐世保入港阻止闘争。五十七年から石本ダム建設反対闘争。五十七年日教組大会警備(鳥居)。五十九年長崎大水害(死者百五十九人)。五十八年米原原子力空母エンタープライズ並びにカールビンソン佐世保寄港阻止闘争。五十九年右翼団体正気塾員による裁判官ら致害事件などがある。

隊員達は訓練である。融和団結のもと、忍耐・努力・根性をもって、県民の信頼に応える強、明るく、親切な警察官を目指している。機動隊魂で、国民のやすらぎの源をより大きくすることの努力を惜しまない。

機動隊魂発揮した厳しい訓練

(一) 昭和五十五年十二月六日から昭和五十六年二月十九日、女子大生誘拐事件(戸谷小百合さん事件)捜査に延べ千四百九十八人が従事した。

(二) 昭和五十六年四月二日から四月八日、境川流域下水道終末処理場建設反対に伴う代執行警備に、延べ千二百九十九人が出動した。

(三) 昭和五十七年七月十日から七月十八日、全通第三十六回全国定期大会及び第二回青年部中央委員会開催に伴う右翼警戒に、延べ五百四十六人が出動した。

(四) 昭和五十七年十月二十七日から昭和五十八年五月二十六日、警察庁指定第一二三号事件(勝田事件)捜査に延べ三千八百四十八人が従事した。

(五) 昭和五十八年七月三十一日から八月四日、昭和五十八年度全国高校総合体育大会の開催及び反対運動に伴い、延べ七百四十九人が出動した。

(六) 昭和五十九年五月八日から六月十九日、トモホク配備阻止斗争に伴う警戒警備に延べ四百八十五人が出動した。

昭和還暦担うは我ら

自己への挑戦

警視庁機動隊

一層の磨きをかけている。機動隊は、青春を完全燃焼させ、自らの可能性を求めめる男の職場といわれる。可能性に挑戦し続けることが前進の原動力でもある。

激しい冬の寒さも峠をこえ、春便りがきかれる季節となった。「呀え返り呀え返りつつ春なかば」とまさに躍動の季節である。この中で機動隊員は自己研鑽に

新しい仕事に 向かって

一機 福田 剛

私は機動隊に着隊して一年余、SNA C警備、K警備等数々の大警備を経験し、この度、庶務係会計担当を命ぜられた。中隊では、やっと新隊員生活も終わり、これから後輩の指導並びに先輩・後輩とのパイプ役として、益々充実した仕事に取り組みようとするところである。このように未熟者の私に、会計係担当という仕事がかやっていたのか、又、備品担当とでも不安な仕事なのか、とてつもない不安が吹きこんでしまった。というのは、次に舞い込んでくる書類の処理、整備資

器材の貸し出し、簿冊の点検等目の回るような忙しさを覚える。つまり、不安を抱えている余裕すらなく、「前任の備品担当の先輩から、前この仕事は大変な仕事だ。おまえが動かなくては、一機が動けなくなるのだぞ。それだけは肝に銘じておけ」と言われた言葉が、重くのしかかってくる。

仕事の具体的な内容はまだまだわからないことが多い。上司・先輩の指導と協力のもとで、ひとつひとつ仕事を覚えていく段階である。トイレットペーパーひとつから機動隊の機動力の源である全ての整備器材、燃料、暖房の燈油等ありとあらゆる物の請求、返納、修理、供用等一連の仕事の第一段階が私の仕事と

居は氣を移す

二機 篠原豊孝

新米中隊長として、昭和六十年還暦の新春を迎えた。六十年の歳月は、やっと開始されたラジオ放送から宇宙通信衛星へと技術を進歩させ、幾多の節目を経て今日の高度に発展した日本社会を誇りに思っている。

治安の面においても、戦後の混乱、第一次・第二次安保闘争等の試練を乗り越え、世界に冠たる良さを誇っている。諸先輩の努力に心から敬意を表するとともに、「今を担う者」の一人として、先人の偉業を継承し発展すべく決意を新たにす次第である。警察官として、機動隊員として、最も根本的な「個々の充実強化」を図り、組織力へと反映させて行きたい。

一、精神面での充実

過日子供の授業参観で、「最近の子供は足で靴をかける」と驚かされた。先生は、親として恥ずかしさと行く末に憂いを感ぜられる。私も含め九割以上の隊員がいわゆる戦後に生まれ、急激な社会変化の中で育ち、先人の「足踏み」の流れの中で、何らの危機感も無く、日々の事を怠り無く過ごしているのではないだろうか。警視庁発足以来百余年に亘って先人の根柢を流れ続け、今まさに日本人的心と心とを携え、志願、節約、忍耐等々現代にも通用し、かつ大切なものを捉え、確固不動の思考基準を養って行きたい。

二、体力面での充実

今日の社会は、何事につけても人力を省き、利便と能率を追

求めている。しかし、我々機動隊の仕事は、対象が人である限り、機械やロボットが常に相手になり勝つていなければならない。ここに機動隊の一味違った優秀性もあることを考えたい。

我々隊員は、自分の生体機能を維持するためにではなく、治安の道に生かすために体を鍛えることを心し、日々体力の充実を図って行きたい。

三、知識面での充実

機動隊も警察官であり、その一挙手一投足は法によるコントロールによる。これなくしてはただの空勇と化し、ましてや攻めて出ることも不可能である。日頃「カールヒンツ」と「カールルイス」の混同認識を、あながち笑ってばかりはいられない。法の理解、意味内容の熟知その基礎となる社会常識、新鮮な知識の吸収、寸暇を惜しんで貪欲に取り組んで行きたい。

それぞれ入隊事情の差こそあれ、今、昭和の還暦を機動隊員として迎えた。機動隊は首都の治安を預かる警視庁の不時に備える貯蓄であり、職員としての向上の源泉であるとするならば、丑のごとく職責にしっかりと足をつまみ、個々を磨き、力を結集して首都の治安を担って行こうではないか。「居は氣を移す」私の平和の戒めである。(第四中隊長)

乱にいて

三機 福田吉彦

昨年秋、私はかねてからの希望が実現し、歴史と伝統に輝く三機隊員として勤務することになった。警視庁の歴史の中で、「昭和の鎮めの先駆」である。機動隊の前身である昭和八年創設の「昭和新選組」と呼ばれた「特別機動隊」に始まり、そ



の後、戦後の混乱の守護神として、昭和二十三年「警視庁予備隊」の誕生に至り、我が第二機隊も「予備隊第三中隊」と機體改正とも名称が変更なり現在に至っている。

本年は、昭和還暦であるが、歴に立ち返る必要があると思ふ。「昭和の鎮め」のため、ある時は命までかけた先人の教えを、現在も我々の一人ひとりが心に刻み、生かしていかねければならぬ。

「治にいて乱を忘れず」、まさに今、我々に必要なことはこの言葉の実践である。

本年はさらに訓練に勉学に励み、有身に任職に備わっていきたく、そして操縦の機に恥じることなく、太陽の如く輝く第三機動隊員として、首都東京の治安維持を担って行きたい。(小隊長)

新春に思う

四機 島津俊二

トフラーの「第三の波」が話題になったのが、確か五年前である。警察社会にも、昨年は、各所属にワープロが配備され、事務面においても大きな変革がなされたようである。僅か五年の間に大きな変革の波が、社会や生活面に表われてきている。今や力と汗を流しておればそれで良い、という訳にはいかない時代になった。

現実を見ながら

私は正太郎先生の『俠客』の中に、戦国時代活躍した武村の子孫、いわゆる旗本が、ただ武力のみで生きようとして、社会の邪魔者となり流れの中に取り残されていく場面がある。いつの時代でもそうであろうが、過去の栄光のみに頼っているようでは進歩の努力。

常に自分の足元を見つめて新しい知識、技能を習得して知恵を磨かなければならない。機動

隊現場で心身を鍛え、知力・気力・体力の充実を図ることが何よりも大事なことでたと痛感している。

私が初めて機動隊の門をくぐったのは、いわゆる第二次安保の真・最中だった。当時は毎日が荒れ場の警備の連続であった。気が休まらぬ任務を遂行して汗を流せばそれで任務を達成できた。

しかし、今は違う。レスキュー、S班、ヒルジャック、ハイジャック等の特殊部隊が編成され、整備器材の種類や取扱いにおいても格段の差がある。今までの私は、「機動隊は治安警備ができればいいんだ」の考えに偏りすぎた。専務係となつた今、「旗本奴」の考えは払拭し、あらゆる技術や整備器材の取扱いに精通すべく、真剣に取り組んでいるところである。

むすび

私は機動隊が大好きである。その理由は若者の集団であるから。若者だけが持つ元気と情熱、そして団結力。こういう環境において非力な自分を少しでも向上させ、輝く伝統を築いて行く一員となりたい。(技術主任)

警備のプロとしての道

五機 平野力三

どの分野でもプロの道は険しい。それゆえに、プロとしての生きがいもある。そして、その生きがいも誇りともなっている。私は、昨年以上の飛躍を念じて、警備のプロとしての道を歩いていきたいと考えている。

そこで、その道の第一は、歴史の教訓から学ぶということである。

「反省のないうちのころに前進はない」とよく言われている。自分自身が経験したことを、自ら反省を加えて、次の段階ではよりよいものとするのが出来る。しかし、将来予測される問題点に対して、自ら経験したことのないことを対しての対応策は、容易に考えつけないものである。

このようにするとき、歴史から教訓を吸収していた場合として

いない場合としては、自ら対応策も違ってくる。したがって、歴史の教訓から学ぶという心構えを持ち続けたい。

第二は、最良の方策を導き出すことである。

人間というのは弱いものである。安易に妥協したくなる。特に、このことが顕著に表れる場合が、厳しい条件を与えられたときである。しかし、これではプロとしての価値をなくしてしまふ結果になる。

プロとしての誇りは、厳しい条件下であればあるほど、闘志を奮い立たせて目的を完遂するものである。妥協点に自己満足することなく、より一歩前進した方策を導き出した。

第三は、真摯な態度で都民に接することである。

都民の心温まる激励と協力は、警備に於いては必ずしもそれが当てはまらないこともある。前例を踏襲したばかりに失敗することも少なくない。これらの失敗をして、決しておぼろげな警備をしていっては思われない。経験則から緻密な計画が練られ、万全な警備態勢が敷かれていたものと思ふ。

警備計画は、緻密さの中にも抜群の技量を持っていくなくてはならない。アマチュアと違って常に自らの技量の向上に精進し、プロとしての誇りを維持することが必要である。私は、プロとしての誇りを胸に秘め、目指す道を着実に歩いていきたい。(警備本部付)

緻密さと奇抜さ

六機 森野覚志

警備はよく生きものだとよく言われている。いかに緻密な警備計画を立て、あらゆる問題点を把握し、対処方法を考へていく。たつとも、警備を終了し、反省点を拾ってみると、必ず、二つの反省点が出てくるものである。これは警備が生きものであるから、まったく同じということはない。この鉄則を忘れたら、大きな失敗を招くことになるであろう。警備のプロである我々としては、決して失敗は許されない。これらの点

を踏まえて、警備主任としての決意の一端を述べたい。

「緻密さ」と「奇抜さ」

警備は計画の段階で苦勞し、緻密な計画をこせよと上げ、万全な警備実施ができる。これは警備の常識である。ところが同様の警備が繰り返されると、安易に前回と同じ方法を踏襲しがちである。

技量の向上には、経験が何よりも大きなウエートを占めるが、警備に於いては必ずしもそれが当てはまらないこともある。前例を踏襲したばかりに失敗することも少なくない。これらの失敗をして、決しておぼろげな警備をしていっては思われない。経験則から緻密な計画が練られ、万全な警備態勢が敷かれていたものと思ふ。

警備計画は、緻密さの中にも抜群の技量を持っていくなくてはならない。アマチュアと違って常に自らの技量の向上に精進し、プロとしての誇りを維持することが必要である。私は、プロとしての誇りを胸に秘め、目指す道を着実に歩いていきたい。(警備本部付)



新米主任としては、まだまだ学ばなければならぬことが多々あるが、このポストについて

からには、期待に応えるべく不
断の努力を怠らず、身を粉に
して重責を果たしていく覚悟であ
る。(警備主任)

私の抱負

七機 佐々木慶三

私は現在、特務係員として機
動隊生活を送っているが、日も
また浅く戸惑いの連続である。
機動隊は初めてだが、着隊以来
仕事をすれば「特務係」と
密かに決めていた。念願が
叶い身の引き締る思いである。
第七機機動隊員としての抱負は
第一に、一日も早く立派な特
務係員になることだ。
特務係は、他の係と違い地味
だが、非常に厳しいものがある
と思ふ。主として警備現場にお
ける情報収集や探偵活動などが
これからの警備活動においては
いかに多くの情報を得るかとい
うことが決まらぬと思う。
事故が発生し、部隊を投入する
に際して、それに対する事前情
報等がなければ、効果的に対処
することはできない。そのため
にも常にあらゆるものに関心
し、目を通し情報収集に努め
たい。また、頼りがいのある
特務係員といわれるよう日々
努力していく。

楽しい思い出 を作りたい

八機 神之田祐二

昨年十月、着隊以来二年目に
して操車係という大任を命ぜら
れた。毎日の積み重ねが大切な
操車係員として第一に、素直
な気持ちで人の話を聞き、自ら
のペースにしていきたい。第二
に、初心を忘れず貫き通す。初
心を忘れ、マンネリ化した生活
では、自分自身の進歩にはつな
がらない。どの様な困難に突き
当たろうとも初心を忘れず、常
に新鮮な感覚を持って、何事
にも前向きな姿勢で取り組む決意
である。

真の九機隊員と なるために

九機 合谷洋吉

栄えある九機隊員として着隊
してから五ヶ月が過ぎようとし
ており、自然に備わっているも
のではなく、非番の日、あるい
は休日に、そして雨風の日も
こつこつと訓練に励み、ひたむ
きな努力をしているからだと思
う。
具体的抱負として
(一) 昇任試験合格
昭和五十九年度は、私にとっ
て初めて巡査部長昇任試験を受
験する記念すべき年である。昇
任試験に合格することは、単に
階級を上げるだけではなく、自
分自身に打ち勝って、自分をひ
と回り大きくすることもあ
る。昨年来の勉学の計画を
もう一度見直し、自分で自分の
時間を管理し、日々の努力を怠
ることなく勉学に励み、昇任試
験合格を目指す。

仕事への精進

新米操車係員としての私は、
まず、地理を徹底して頭に叩き
込まなければならぬ。地理を
覚えることは、操車係の基本だ
からである。基本なくして応用
はなく、発展もない。机上の勉
強を含め現場実感を徹底し、地
理を覚えたい。そして、操車の
事だつたら、あいつに聞けばす
べてわかる、と言われるように
なりたい。
武道小隊で二年間過ごした経
験からも、苦勞は過ぎたれば
楽しい思い出として残るもので
ある。中隊員として、そして、
武道小隊員として培ってきた気
力・体力をもとに、日進月進に



努め、精神的な面も益々磨き
自分自身の意志を確立して抱負
を全うしていく覚悟である。
(操車係員)

「光陰矢の如し」といわれる
ように、月日の経つのは早いも
ので、私は着隊以来四年近くな
り、古参隊員になりました。今
年、古参隊員になる中で最も充
実する年に入ることから、自
分であらう目標が計画倒れとな
らないよう、随時自己点検を行
ない、目標に向かって計画を実
践していきたい。
一、仕事のプロとなること
私は、昨年度免されたばかり
の新米特務係員として悪戦苦闘
しているが、園内には五千本の桜
が植えられ、満開の頃は二百
万人の観光客が訪れる。
春は桜の名所、弘前公園があ
る。津軽藩祖津軽為信が計画
二代目信牧が築城したもので、
昭和二十七年、史跡に指定され
ているが、園内には五千本の桜
が植えられ、満開の頃は二百
万人の観光客が訪れる。
冬は八甲田山は映画「八甲
田山」でも有名になったが、樹
木が美しく、山岳スキーのメッ
カで県外からも多くのスキーヤ
が訪れる。しかし、その秀麗
な姿からは想像もできないよう
な冬山の厳しさも持っている。
特に明治三十五年一月、青森
の「歩兵第五連隊」が雪中行軍
中、雪風のため遭難、百九十九
人の将兵が凍死するといわれ、
「努力を怠らぬ」という訓
言が、まさしく「努力を怠らぬ」と
いうことが誕生している。また今年
昇任試験に合格することから昇任
試験に是非とも合格し、社会人

として、幅広い知識と教養を
もった人間になりたい。
三、体力・気力の練磨
日々発生する警備事象を的確
に処理し、都民の平和と安全を
守っていくのが、集団警備力の
中核である機動隊である。厳し
い警備を完遂していくうえで、
強靱な体力と不屈の精神は、機
動隊を編成する一人ひとりにと
って重要なものであると思う。
(特務係員)

郷土自慢

筆頭の十和田湖・八甲田山

青森県警察警務部秘書課

青森県の名所・旧跡や郷土の
偉人、特産物等を紹介する。
一、観光の名所・旧跡
県内の筆頭は十和田湖である。
周囲五十一キロメートルあり、
海抜四百一メートルある二重
カルデラ湖で、水深は国内で第
三位、湖東端の「子の口」から
「焼山」までの十四キロメー
ルの奥入瀬渓流は、風光明媚で
特に秋の紅葉シーズンは観光客
でにぎわう。湖畔御前ヶ浜には
高村光太郎作の「乙女の像」が
建てられている。
春は桜の名所、弘前公園があ
る。津軽藩祖津軽為信が計画
二代目信牧が築城したもので、
昭和二十七年、史跡に指定され
ているが、園内には五千本の桜
が植えられ、満開の頃は二百
万人の観光客が訪れる。
冬は八甲田山は映画「八甲
田山」でも有名になったが、樹
木が美しく、山岳スキーのメッ
カで県外からも多くのスキーヤ
が訪れる。しかし、その秀麗
な姿からは想像もできないよう
な冬山の厳しさも持っている。
特に明治三十五年一月、青森
の「歩兵第五連隊」が雪中行軍
中、雪風のため遭難、百九十九
人の将兵が凍死するといわれ、
「努力を怠らぬ」という訓
言が、まさしく「努力を怠らぬ」と
いうことが誕生している。また今年
昇任試験に合格することから昇任
試験に是非とも合格し、社会人

中核である機動隊である。厳し
い警備を完遂していくうえで、
強靱な体力と不屈の精神は、機
動隊を編成する一人ひとりにと
って重要なものであると思う。
(特務係員)

一、はじめて
紀州和歌山県は本州最南端に
位置し、緑の山山、黒潮が打ち
寄せる海岸、きらめく太陽がそ
そく自然に恵まれた観光地とし
ての新しい歌、温泉の町白浜、
勝浦、滝で有名な那智山など多
数ある。そのうち歴史と文化の
宝庫、観光地としても名高い高
野山を紹介する。
二、高野山
大杉を霧がひっそりと包み、
しめやかな経読の音が流れてく
る。標高一千メートルある高
野山は、弘仁七年(八一六年)
弘法大師によって開かれた真言
密教の聖地であり、宗派をこえ
た霊場として、百七寺院群があ
る。
昭和三十五年高野山有料道
路の開通、同四十二年高野龍神
固定公園の指定によって年間約
百五十万人の参詣、観光客が訪
れている。みどころは
・金剛峯寺
水い歴史の間には戦乱に明け
暮れた時代も多かったが、いつ
も多くの人々の心のよりどころ
となってきた高野山。金剛峯寺は
高野山全体の総称であるが、今
は総本山金剛峯寺を指す。主殿
の「柳の間」は、関白秀次が切
腹した間といわれ、隣接する大
広間には、狩野探幽筆の群鶴図
模写がある。
・根本大塔
高野山の伽藍にそそり立つ大
塔は、真言密教のシンボルであ
り、大杉を背に白壁と朱のコン
トラストが鮮やかに美しい。
・奥の院
うっそうと茂る杉、檜の老樹
の下に靈感に打たれた石だたみ
の参道が続く。その両側には無
数の墓石がならぶ。上杉謙信、
豊臣秀吉、真田幸村、大岡越前
...。その数は数万といわれ
が、居はなぞない。この参道周辺
は国の史跡であり、月の夜はこ
このほかに、無明橋を渡ると、
大小の燈籠が明滅する燈籠宮で
ある。
・霊宝館
高野山内の諸寺院に伝わる国
宝、重要文化財の仏像、仏画、
仏具、工芸品、経古文書などの
密教美術の粋を収蔵、展示して
いる。常時一般拝観できるが、
毎年五月十五日、八月十五日、
十一月一日の三期に一周間ずつ
特別拝観が催される。
・その他、貧女の燈、金堂
女人堂、町石道、不動堂、平維
盛と流石入口道、御影堂、大門
など多数のみどころがある。
コースのご案内
・新大阪(地下鉄) 難波(一
) 南海高野線 一徳楽橋(一
) プール 一高野山(新大阪上
野山約二時間)
・高野山巡拝コースの一例
高野山駅(バス) ↓ 一の橋
↓ 奥の院 ↓ 金剛峯寺 ↓ 霊宝館 ↓
金堂 ↓ 根本大塔 ↓ 大門(〇の
) ↓ 徒歩で約三時間

読者の広場



マラツカの今昔

滋岡長平

去る一月末、小人数のツアーに参加してマレーシアを訪れた。アラルランブルに一泊し、翌日午後のバスでマラツカに向う。ゴムと油桐子の植林が果てしなく続いて居るハイウェイをひた走ること二時間、マラツカに着く。

スルタンの権力は強く、錫や香料の貿易港として王国は繁栄し、また同教神学を中心地でもあった。

一五二一年、「胡椒と霊魂のため」この港に目を付けたポルトガルの印度総督アルブケルクはサルタン、マフムドを艦砲の威力で放逐し、一三〇年の間支配することとなる。

一六四一年、和蘭攻囲軍は葡軍を破り一八〇年領有する。その後英・蘭の長い角争のあと一八二四年に協約成立、英領となり、一九四七年の日本占領をはさんで一九五七年マレーシアは独立をから取ることとなる。

マラツカ右岸北部で古い物と云えば、三四〇年前に中国の甲比丹連に依って創建された青雲寺で、儒道三教を混濁して祭って居るのが面白い。

左岸南部には、ダッチスタエア等蘭、英の遺構もよく保存されて居るが、最も興味を覚えるのはポルトガルのサンティエゴ岩の城門と、その丘の上に立つサンパウロ教会の遺構である。彼の耶穌会の創始者、聖ヤウエルは一五四三年ゴアより此

の地に来て、弥次郎なる日本の亡命武士と遇い、相携えて一五四九年来朝し、我國に初めて西教を伝えたのである。二年余の滯居の後中国に赴き客死したが、その遺骸を安置した場所が保存されて居る。

さて大理石のザヴィエル像の立つ岡の上から西北にマラツカ海峡を望むと、岸から数料の海面は浅瀬で、沖合遠く小さなタンカーが見える。浜辺に下り立つと、干潟には無数の「ムツゴロウ」が跳びはねて居る。

海峡の最狭部は五六料。安全水深は二料。我國の原油輸入量は近年約一億一千万吨に減つたが、その七五割は中東依存で



あり、その大部分を二〇万吨以上のタンカーで運ぶとすれば、この海峡がロンボク海峡しかない。

ロンボク迂回は約一三〇〇哩の遠廻りで、片道四日以上の上のロスとなり、運賃の増加と輸送能力の低下を来すものと思われる。昨今の緩和した石油事情では、海峡の安全性、効率性は軽視され勝ちであるが、他に鉱石、石油等もあり、その重要度が失われることはないと思う。

歴史の回顧が現実問題に急転してつたが、夕方、我々はタンパンを巻いたシンター人の駅長に見送られ、タンビールから国際列車でシンガポールに向つた。

雑感

滝上俊一

今年は新春から寒気の厳しい日が多く、ともすれば感情に流れる気持ちを引き締めるには恰好の年と言えらるかも知れない。恒例の如く年頭感を纏めてから早くも、如く、亦生と、光陰は誠如の如く過ぎ、省みれば己の成果に担ねたる想いが否めないが、凡庸の身には致し方のない事である。

とは言い乍ら、自らが定めた目標に対し、今後も邁進努力する事に変わりはないのだが、結果は必ずしも努力の度合いに正比例しては行かないのである。此の点を大いに悩むわけである。我々は当面の目標設定に当り、必ずと言ってよい程、過去の実績に対して上廻る結果を期待して、多かれ少なかれこれに拘泥して悩むのだが、果して結果のみが意義の総てなのであろうかと考える。

「結果」は大変重要であり、且つ目標設定の前提として重視する事は間違いないと思えないが、目標に対して努力する事の価値・評価を大いに重視すべきではないだろうか。

感

遠藤孝義

私は「機動隊員等を励ます会」の発足当年から参加して、今日まで十一年に及ぶが、隊員諸氏の有事に際しての行動・功績に賛辞と謝意を贈るのみならず、日常訓練に対する態度、特に一貫した理念と精進に接して、考えさせられた如が多い。

ひたすらに努力に次ぐ努力の毎日、強靱な体力と冷静な判断に支えられた心身の涵養を自指して、斯くも細密に打ち込める若い方々の姿勢に、只々頭の下がる思いである。

一部に横行する心ない同世代の若者達の行動には腹も割れず、使命感に燃えて自らの目標に向かって努力を重ねる人達の姿こそ、此の世の中で最も美しい姿の一つと言えらるべきであらうか。

私は、この人達を見るからに爽快な健闘振りを、私自身の精神昂揚のために、いつまでも見守り続けたいと願ひ、自らの節制と精進に完全を期すのはもとより、現世に生をうけた者として、此の世に聊なりと報いたいと願う今日此の頃である。

父の願い

山形県山形市 遠藤孝義

父行も早いもので警察官を拜命してからすでに六年になり、すっかり東京の人になっていくことである。次から次に新たな形骸の犯罪が発生し、特にタリコ・森永事件など、毎日忙し日々を過ごしていることと思います。また京都での現職警察官の痛ましい殉職事件。殉職された方は山形市出身の警察官でした。ご遺族のことを考えると身近なことだけに断腸のおもいです。今後ともいろいろな事件、事故が発生することでしょう。また都民の警察に対する期待と信頼にこたえるためにも、警察学校を卒業した時のあの決意を再び呼び起こし、「初心にかえって、自分で考え、行動し、責任を持つ」、この基本をよく守つて

自衛隊に入隊して

福岡県警察第二機動隊 吉野洋一

私はこの度、福岡県警察第二機動隊レンジャー隊員の中から選抜され、陸上自衛隊第一九普通科連隊に入隊した。二週間におよぶ訓練をふり返って、以下四点について学ぶことが出来たと確信している。

まず第一は、技術の向上である。災害における救出・救助活動を主眼とする警察レンジャーと自衛隊の遂行のための自衛隊レンジャーとは、自ずから性格・目的を異にする。しかし、過酷な状況下において活動を強いられる状況下において活動する迅速・的確・安全に活動するための技術的な裏付けがあり、特に実施前の安全点検、ロープ、スリング管理、ザイル技術等



て、警備隊長の訓示に、「災害時における警察レンジャー部隊に対する県民の期待は大きい。一朝有事の際には、如何なる困難をも克服して任務を全うしなければならぬ。そのために、日々技術の向上と体力の養成に努めなければならない」と組織機動隊員の中から選抜されて組織されたという自覚と、何が起ころうとも大丈夫だという自信が必要である」とあった。若し訓練に耐えられるのも、レンジャー隊員としての自覚を保持しているからにはならない。私は「我々の命は綱であり、綱は生と死の境界線である。しかし、その綱のゆくには、もう一つの命が我々を待っている」と座右の銘としている。

最後に連帯感の醸成である。二週間同じ釜の飯を食し、苦しみと共に九州管内九州各県警察レンジャー、さらには自衛隊指導員との間には、同じ目的を持つ者同士の間には、生じた。今後、これらの仲間にはよき友人として、またよきライバルとして交流を深めていきたいと思っている。

入隊により得たものは大きい。これから私は、福岡県警察第二機動隊中堅隊員として、上司や先輩を補佐し、後輩を育成し、強靱なレンジャー部隊作りを頑張りたいと思つている。終わりにこの機会を与えていただいたことを心より感謝している。

事務局より

▽会員 隊員およびご家族の投稿歓迎。テーマ、字数は自由です。

▽会員各位の住所変更時は、お手数でも事務局へ一報いただければ幸いです。

- 栄えある任務 貫く機動隊
- 山陽特殊製鋼(株)
- 東鋼業(株)
- (株)三榮商会
- 奥村武正
- 村山文雄
- 大洋製鋼(株)
- 栗田工業(株)
- 高周波熱錬(株)
- (株)上野百貨店
- 石原幸男
- 木村利秋
- 谷本鉄鋼(株)
- 東海レバー鋼業(株)
- 中京製線(株)
- 東海鋼材工業(株)
- 広島シャリング工業(株)
- 豊鋼材工業(株)
- 藤田金属(株)
- 早達運送(株)
- 金森藤平商事(株)
- (株)柴田鉄店